Panasonic

# 取扱説明書

デジタルカメラ

## 品番 DMC-FX700

**本書では、本機の操作方法を説明しています。**
**別冊の「パソコン接続編 取扱説明書」もあわせてお読みください。**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

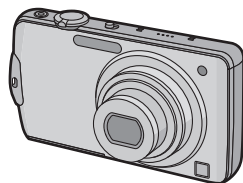
HDMI

保証書別添付

VQT2X82-2


安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用・撮影
応用・再生
他の機器との接続
その他Q&A

# 大切な瞬間を 楽しく カンタンに 撮る・

# 撮る P33

## おまかせで撮る(P33)

● カメラが自動でシーンを判別
「インテリジェントオートモード」

● 被写体のブレをおさえる
「ブレピタモード」

## 連写で撮る(P61)

● 自動で連写速度を調整
「i□ おまかせ連写」

## タッチパネルを使って撮る(P38、39)

● ピントを合わせたい被写体を直接タッチ操作
「タッチシャッター」、「タッチAF/AE」など

## ズームで撮る

(P40)

● 遠くの人も大きく
「光学5倍ズーム」

● 超解像技術を利用してズームをさらに伸ばす
「iAズーム」など

## 動画を撮る

(P72)

● ボタンひとつで動画撮影

● フルハイビジョン動画を長時間撮影
「AVCHD」(1920×1080画素)

● 動画撮影中でもズーム操作可能

---

各機器にSDカードスロットがある場合は、カードを直接スロットへ!

● SDHCメモリーカード(別売)
→SDHCメモリーカード対応機器および
SDXCメモリーカード対応機器で使用できます。

● SDXCメモリーカード(別売)
→SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。

# 見る・残す LUMIX（ルミックス）

## 見る P125

- テレビで見る

（SDカード）（AVケーブル）
（HDMIミニケーブル（別売））

## 残す P136

- ご家庭のプリンターで手軽にプリント
  （PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンター）
- お店でカードを渡してプリント
- 画像に日付を入れてプリント（P139）

（SDカード）（USB接続ケーブル）

## さらに 活かす、残す！ P131

付属のソフトウェア
「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って…

- 画像をパソコンに保存
- 画像をDVDに書き込む
- 複数の画像をパノラマ合成
- お好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成
- パソコンで画像をメール送信
- パソコンで画像を直接操作してプリント

（SDカード）（USB接続ケーブル）

- ハードディスク・BD/DVDレコーダーで保存

※詳しくは、各機器の取扱説明書をお読みください。

（SDカード）（AVケーブル）
（ACアダプター（別売））

# もくじ

## はじめに



## 準備



## 基本



## 応用・撮影

→「安全上のご注意」を必ずお読みください（6～ 9ページ）



## 応用･再生



## 他の機器との接続



## その他･Q & A




安全上のご注意
はじめに
準備
基本
応用・撮影
応用・再生
他の機器との接続
その他Q&A

# 安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | | |
|---|---|---|
|  | **危険** | 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。 |
|  | **警告** | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  | **注意** | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)**

| | | | |
|---|---|---|---|
|  | してはいけない内容です。 |  | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠危険

**バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する**(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

**バッテリーは、正しく使う**

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

**バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない**(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

# ⚠警告

## 異常・故障時には直ちに使用を中止する

## 異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

## チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

## 電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

## 分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

## 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

## ⚠警告

### 乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

### 運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

### 電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

### メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

### 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

### 雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

# ⚠注意

## フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離(数cm)で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

## フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

## フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

## 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

## 次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

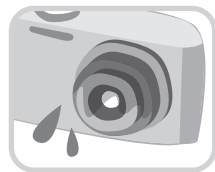
- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

## 次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

## レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

# ご使用の前に

## ■ 本機の取り扱いについて…

- レンズ部や端子部を汚れた手で触らないでください。
  また、レンズやボタンのすき間から液体や砂、異物などが入らないようにお気をつけください。
- **本機を落としたり、ぶつけたりして、強い振動や衝撃を与えないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますので、お気をつけください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **本機は防水構造ではありません。万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**
  **正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。**

## ■ つゆつきについて(レンズや液晶モニターがくもるとき)…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニター汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

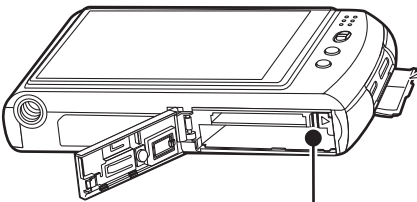
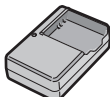
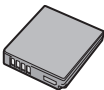
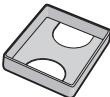
## ■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

## ■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

## ■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

## ■ 「使用上のお願い」も、あわせてお読みください(P155)

# 付属品

**付属品をご確認ください。**

記載の品番は2010年 7月現在のものです。変更されることがあります。

□ CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。

□ ハンドストラップ
VFC4297

□ **AVケーブル**
K1HA08CD0028

□ **USB接続ケーブル**
K1HA08AD0002

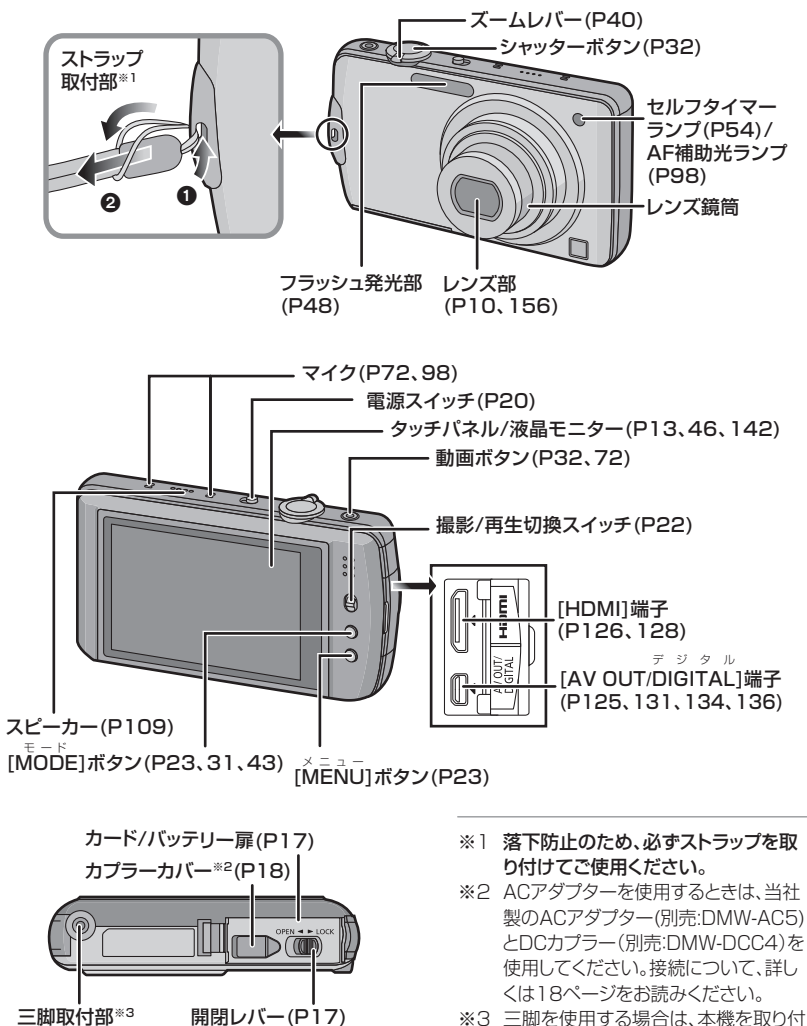
□ **バッテリーチャージャー**
DE-A59A
(本文中では**チャージャー**と表記します)

□ **バッテリーパック**
DMW-BCF10
(本文中では**バッテリー**と表記します)
- 充電してからお使いください。

□ **バッテリーケース**
VGQ0D56

□ **タッチペン**
VGQ0C14

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については140ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

# 各部の名前

※1　**落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**

※2　ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とDCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。接続について、詳しくは18ページをお読みください。

※3　三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

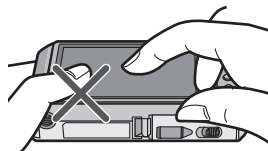
# タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。
指や付属のタッチペンで液晶モニター(タッチパネル)に表示されるアイコンを、直接タッチしたり、タッチパネルを押したまま動かす(ドラッグ)ことで操作や設定をします。

| **画面をタッチする**<br>タッチパネルを押して離す動作です。 | **ドラッグする**<br>タッチパネルを押したまま動かす動作です。 |
|---|---|
|   |  |
| タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。<br>画面に表示される項目をタッチすると、設定することができます。<br>[戻る]をタッチすると、設定せずに終了します。<br>●複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しない恐れがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。 | 画面を水平にドラッグして画像を送ったり、表示している画像の範囲を変更するときなどに使います。<br>また、スライドバーを操作して画面を切り換えるときなどにも使います。<br>●選択するアイコンを間違えたときは、そのまま他のアイコンまでドラッグして指を離すと、そのアイコンを選択できます。 |

**お知らせ**
- 液晶モニター消灯時、タッチパネルは動作しません。
- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
(液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります)
- 市販の保護シートをはり付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、**少し強めにタッチしてください。**
- 本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- 付属のタッチペン以外の先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 液晶モニターが指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 液晶モニターを強い力でこすったり、押したりしないでください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、142 ページの「液晶モニターの表示」をお読みください。

## ■ タッチペンについて

指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン(付属)が便利です。
- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 収納時はタッチペンと液晶モニター(タッチパネル)を重ねないようにしてください。強い圧力がかかると、液晶モニター(タッチパネル)が壊れる原因になります。

# バッテリーを充電する

## ■ 本機で使えるバッテリー(2010年7 月現在)

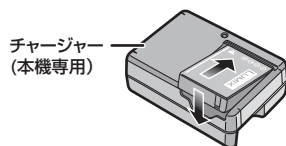
本機で使えるバッテリーはDMW-BCF10です。

| パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。<br>なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。 |
|---|

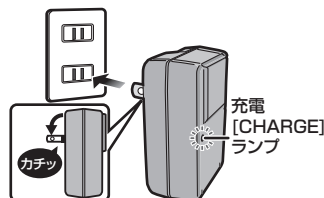
- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー(DMW-BCF10)は、この機能に対応しています。(この機能に対応していない従来のバッテリーは使用できません)(P157)

## ■ 充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。
- 充電は周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをおすすめします。

**1** バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

チャージャー
(本機専用)

**2** 電源コンセントに差し込む

- 充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

## ■ 充電ランプの表示について

[点灯する]:充電が開始され充電ランプが点灯します。
[消灯する]:充電が正しく完了すると、チャージャーの[CHARGE]ランプが消灯します。

- 点滅するときは
  - ・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをおすすめします。
  - ・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

## ■ 充電について

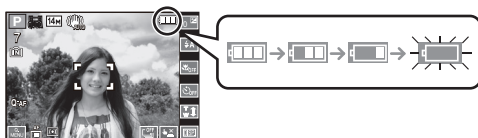
| 充電時間 | 約130分 |
| --- | --- |

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

別売のバッテリーパック(DMW-BCF10)の充電時間と記録可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

## ■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。
[ACアダプター(別売)につないで使用するときは表示されません]

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

### お知らせ

- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はおすすめできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- **チャージャーは海外でも使うことができます。(P141)**
- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**

# バッテリーを充電する（つづき）

## 使用時間と撮影枚数のめやす

### 写真記録

| 記録可能枚数 | 約300枚 | 条件はCIPA規格でプログラムAEモード時 |
|---|---|---|
| 撮影使用時間 | 約150分 | |

### CIPA規格による撮影条件
- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正[AUTO]使用）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

**記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]**

### 動画撮影

| | AVCHD（画質設定を[FSH]（[FSH]）で撮影） | MOTION JPEG（画質設定を[HD]（[HD]）で撮影） |
|---|---|---|
| 連続撮影可能時間 | 約80分 | 約90分※ |
| 実撮影可能時間 | 約45分 | 約50分※ |

- 温度23 ℃/湿度50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源スイッチの[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

※ **[MOTION JPEG] で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。**画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

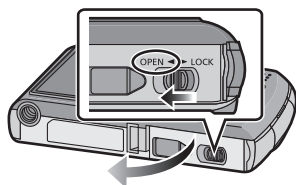
### 再生

| 再生使用時間 | 約200分 |
|---|---|

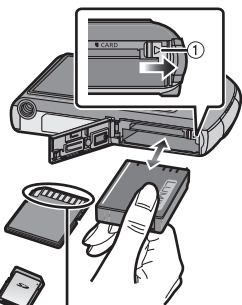
### お知らせ
- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は短くなります。
  - ・スキー場などの低温下
  - ・[オートパワーLCD] または [パワーLCD]（P26）使用時
  - ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返した場合
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

# バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

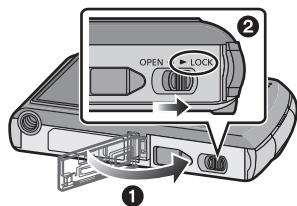
**1** 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

**2** バッテリー:
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、
バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード:
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

向きを確認

接続端子部
端子部には触れないでください。

**3** ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

- カード/バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出し、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

# バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す（つづき）

### お知らせ

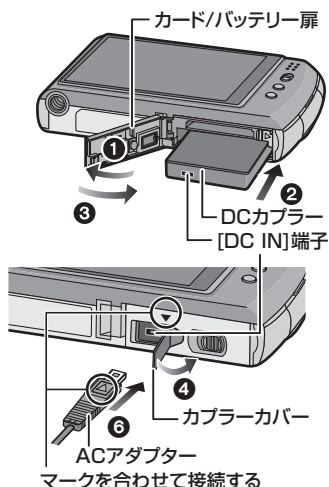
- 使用後は、バッテリーを取り出して、バッテリーケース（付属）に収納してください。
- 液晶モニターが点灯した状態でバッテリーを取り出さないでください。カメラの設定が正しく保存されない可能性があります。
- 付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。
- バッテリーは当社製のものをお使いください。
- バッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。
- カードやバッテリーの取り出しは、電源スイッチを切り、液晶モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

## ■ バッテリーの代わりにACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）を使う

**ACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC4）は必ずセットでお買い求めください。ACアダプター（別売）は単独では使用できません。**

❶ カード/バッテリー扉を開く
❷ DCカプラーを向きに気をつけて入れる
❸ カード/バッテリー扉を閉じる
- カード/バッテリー扉は確実に閉じてください。

❹ カプラーカバーを開ける
- 開けにくい場合は、カード/バッテリー扉を開いた状態で、内側からカプラーカバーを押して開けてください。

❺ ACアダプターを電源コンセントに差し込む
❻ ACアダプターをDCカプラーの[DC IN]端子に接続する
- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。

### お知らせ

- 三脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- ACアダプター接続時にカード/バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。
- 別売品については、140ページをお読みください。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターの使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

# 内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合：**
  **内蔵メモリーで画像の記録・再生**
- **カードを挿入している場合：**
  **カードで画像の記録・再生**

内蔵メモリーの場合
IN　IN（アクセス表示※）
カードの場合
（アクセス表示※）
※アクセス表示は赤く点灯します。

## 内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。（P124）**
- **容量：約40 MB**
- **記録できる動画：QVGA（320×240画素）のみ**
- カードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

## カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。（本書では、これらを**カード**と記載しています）

| 本機で使えるカードの種類 | 備考 |
|---|---|
| SDメモリーカード（8 MB～2 GB）/ miniSDカード※1/microSDカード※1 | ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。<br>● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。<br>● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。<br>http://panasonic.jp/support/sd_w/ |
| SDHCメモリーカード（4 GB～32 GB）/ microSDHCカード※1 | |
| SDXCメモリーカード（48 GB、64 GB） | |

※1　本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。（アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、カードを入れてお使いください。）

- 4 GB～32 GBのカードはSDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GBのカードはSDXCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用できます。
- ［AVCHD］で動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。
  また、［MOTION JPEG］で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。

※2　SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

### お知らせ

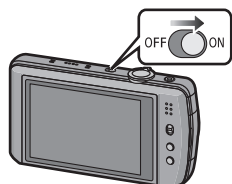
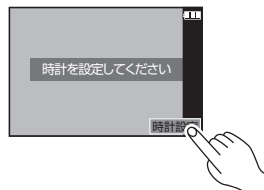
- **アクセス表示点灯中［画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット（P30）中など］は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター（別売）を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。**
  **カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  **振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P30）

書き込み禁止スイッチ
SD 2GB

# 時計を設定する

● お買い上げ時は、時計設定されていません。

## 1 電源スイッチを[ON]にする

● 「時計を設定してください」が表示されます。(再生モード時は表示されません)

## 2 [時計設定]をタッチする

## 3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[▲]/[▼]で設定する

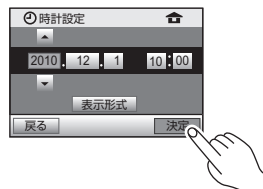
● [▲]/[▼]をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。
● [戻る]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

:ホームの時間
:旅行先の時間(P85)

### [表示順・時刻表示形式]を設定する場合

● [表示形式]をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。
● 表示順を変えると、以下のように表示されます。
(例:2010年12月1日10時00分)
・[月.日.年]:10:00 DEC. 1.2010
・[日.月.年]:10:00 1.DEC.2010
・[年.月.日]:2010.12. 1 10:00

● 時刻表示形式は[24 時間]または[AM/PM]から選択します。
● 時刻表示形式を[AM/PM]に設定すると、午前0:00はAM12:00、午後 0:00 はPM12:00で表示されます。この表示はアメリカなどで一般的に使用されている表示方法です。
● [戻る]をタッチすると、表示順・時刻表示形式を設定せずに前の画面に戻ります。

## 4 [決定]をタッチして決定する

## 5 [決定]をタッチする

- [戻る]をタッチすると、設定画面に戻ります。
- 時計設定終了後、一度電源を入れ直して、設定どおり表示されているか確認してください。

## 時計設定を変更する

**撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P23)**

- 手順**3**、**4**の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3ヵ月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に24時間入れてください)**

### お知らせ

- 撮影時に[ DISP. ]を数回タッチすると、時計が表示されます。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込み(P113)を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

準備

# メニューを使って設定する

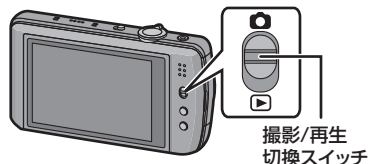
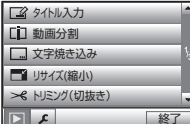
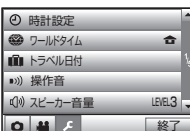
お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

## ■ 撮影モード時

### [📷]（撮影メニュー）(P86～98)

- 色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。

### [🎥]（動画撮影メニュー）(P99)

- 撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。

## ■ 再生モード時

### [▶]（再生メニュー）(P111～124)

- 画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

### [🔧]（セットアップメニュー）(P25～30)

- 時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。
- [セットアップメニュー]は撮影モード、再生モードのどちらからでも設定できます。

お知らせ

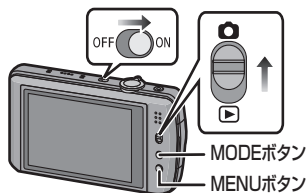
- 本機では仕様上、お使いの状況により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

## メニュー項目の設定方法

ここでは、プログラムAEモードの設定方法を説明していますが、動画撮影メニューや再生メニュー、セットアップメニューも同じ方法で設定できます。
例）プログラムAEモードで、[オートフォーカスモード]を[■]（1点）から[顔]（顔認識）に設定する

### 1 電源スイッチを[ON]にする

### 2 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

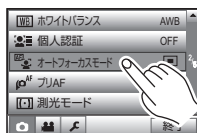
- 再生メニューを設定するときは、撮影/再生切換スイッチを[▶]にして、手順**4**へ進んでください。

### 3 [プログラムAE]をタッチする

### 4 [MENU]を押してメニューを表示させる

- 次の画面に切り換えるには、[▲]/[▼]をタッチするか、ズームレバーを回してください。

| 他のメニューとの切り換え |
|---|
| 例）セットアップメニューとの切り換え<br>セットアップメニューアイコン[🔧]をタッチする<br>● 続けてメニュー項目を選んで設定してください。 |

# メニューを使って設定する（つづき）

**5** [オートフォーカスモード]をタッチする

**6** [ ] をタッチする

- 項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされかたが異なるものがあります。

**7** [終了]をタッチしてメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

## クイックメニューを使う

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

- モードによっては、設定できない項目もあります。

**1** 撮影状態で、[ Q.MENU ] をタッチして クイックメニューを表示する

**2** 項目をタッチする

**3** 設定内容をタッチする

**4** [ Q.MENU OFF ] をタッチして、 クイックメニューを終了する

# セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

- インテリジェントオートモード時は、[時計設定]、[ワールドタイム]、[操作音]、[手ブレ補正デモ](P30)のみ設定できます。

**セットアップメニューの設定方法はP23へ**

| 項目 | 設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ |
|---|---|
| **時計設定**<br>日付や時刻を変更するときに設定します。 | ● 詳しくは、20ページをお読みください。 |
| **ワールドタイム**<br>お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 | [旅行先]: 旅行先の地域<br>▶[ホーム]: お住まいの地域<br>● 詳しくは、85ページをお読みください。 |
| **トラベル日付**<br>旅行の出発日と帰着日を設定します。 | [トラベル日付設定]:<br>▶[OFF]<br>[設定]<br>[旅行先]:<br>▶[OFF]<br>[設定]<br>● 詳しくは、83 ページをお読みください。 |
| **操作音**<br>操作音やシャッター音を設定します。 | [操作音音量]:<br>[ ]: なし<br>▶[ ]: 小<br>[ ]: 大<br>[シャッター音音量]:<br>[ ]: なし<br>▶[ ]: 小<br>[ ]: 大<br>[操作音音色]:<br>▶[❶]<br>[❷]<br>[❸]<br>[シャッター音音色]:<br>▶[❶]<br>[❷]<br>[❸] |
| **スピーカー音量**<br>スピーカーの音量を7段階に調整します。 | ▶[LEVEL3]<br>● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。 |

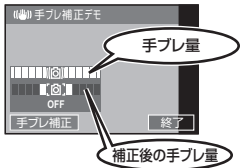
# セットアップメニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定（▶はお買い上げ時の設定です）・お知らせ |
| --- | --- |
| LCD 液晶モード<br><br>屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。 | ▶ [OFF]<br>[（オートパワーLCD）]：周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。<br>[（パワーLCD）]：液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。<br>●液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。<br>●[パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。<br>●太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。<br>●[オートパワーLCD]または[パワーLCD]時は記録可能枚数が減少します。<br>●再生モードでは、[オートパワーLCD]は選択できません。 |
| ガイドライン表示<br><br>撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報をあわせて表示するかしないかを設定します。(P46) | [撮影情報]：<br>▶ [OFF]<br>[ON]<br>[パターン]：<br>▶ [ ]<br>[ ]<br>●インテリジェントオートモード時、[パターン]は[ ]に固定されます。 |
| ヒストグラム表示<br><br>ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。(P47) | ▶ [OFF]<br>[ON] |
| 動画記録枠表示<br><br>動画撮影時の画角を確認できます。 | ▶ [OFF]<br>[ON]<br>●動画記録枠表示は目安です。<br>●記録画素数の設定によっては、T 側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。<br>●インテリジェントオートモード時は設定できません。 |

## セットアップメニューの設定方法はP23へ

| 項目 | 設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ |
| --- | --- |
| ECO エコモード<br><br>設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。<br>また、液晶モニターを暗くすることでバッテリーの消耗を防ぎます。 | [スリープモード]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。<br>[OFF]<br>[2分]<br>▶[5分]<br>[10分]<br><br>[液晶パワーセーブ]: 液晶モニターの輝度を下げます。撮影中※はさらに液晶モニターの画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。<br>※デジタルズーム領域は除く。<br>▶[OFF]<br>[ON]<br><br>● [スリープモード]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。<br>● インテリジェントオートモード時、[スリープモード]は[5分]に固定されます。<br>● 以下の場合、[スリープモード]は働きません。<br>・ACアダプター使用時 ・パソコンまたはプリンター接続時<br>・動画撮影 / 動画再生時 ・スライドショー時<br>・自動デモ<br>● デジタルズーム領域では光学ズーム領域と比べて、[液晶パワーセーブ]の効果が低減します。<br>● [液晶パワーセーブ]の効果は、撮影される画像には影響しません。<br>● 液晶モニターの輝度は[液晶パワーセーブ]よりも[液晶モード]の設定が優先されます。 |
| オートレビュー<br><br>撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。 | [OFF]<br>[1秒]<br>▶[2秒]<br>[ホールド]:ボタンを押すまで表示<br><br>● オートブラケット撮影(P60)、シーンモードの[自分撮り](P64)、[手持ち夜景](P66)、[フラッシュ連写](P69)、[フォトフレーム](P71)、[連写](P61)、音声付き写真(P98)時は、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。オートレビューの設定はできません。<br>● インテリジェントオートモード時は[2秒]に固定されます。<br>● 動画撮影では働きません。 |

# セットアップメニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ |
| --- | --- |
| **番号リセット**<br><br>次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。 | ● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。(P135)<br>● フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P30)することをおすすめします。<br>● フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。 |
| **設定リセット**<br><br>設定をお買い上げ時の状態に戻します。 | **撮影設定**<br>**セットアップ設定**<br><br>● 撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。<br>● 撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。<br>● セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの[回転表示](P118)は[ON]になります。<br>・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2](P67)、[ペット](P68)の誕生日設定、名前設定<br>・[トラベル日付](P83)の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）<br>・[ワールドタイム](P85)の設定内容<br>● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。 |
| **USBモード**<br><br>USB接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。 | ▶ **[接続時に選択]**：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。<br>**[PictBridge(PTP)]**：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。<br>**[PC]**：パソコンに接続する場合に設定します。<br><br>● [PC]に設定すると、USBのMass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。<br>● [PictBridge(PTP)]に設定すると、USBのPTP(Picture Transfer Protocol（ピクチャー トランスファー プロトコル）)通信方式で接続されます。 |

セットアップメニューの設定方法はP23へ

| 項目 | 設定(▶はお買い上げ時の設定です)・お知らせ |
| --- | --- |
| **TV画面タイプ**<br>テレビの種類に合わせて設定します。(再生モードのみ) | ▶ [16:9]: 画面が16:9のテレビと接続時<br>[4:3]: 画面が4:3のテレビと接続時<br>●AVケーブル接続時に働きます。 |
| **HDMI出力解像度**<br>HDMIミニケーブル(別売)を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI出力の映像方式を設定します。 | ▶ [AUTO]: 接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。<br>[1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力します。<br>[720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力します。<br>[480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力します。<br>**インターレース方式/プログレッシブ方式について**<br>1/60秒ごとに有効走査線を半分に分けて交互に流すi=インターレース(飛び越し走査)に対し、1/60秒ごとに有効走査線を同時に流す高密度な映像信号をp=プログレッシブ(順次走査)といいます。<br>本機の[HDMI]端子はハイビジョン映像出力[1080i]に対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。<br>●[AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[1080i]、[720p]または[480p]に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)<br>●HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。<br>●詳しくは、126ページをお読みください。 |
| **ビエラリンク**<br>本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。 | [OFF]: 本機での操作になります。<br>▶ [ON]: ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。(すべての操作はできません)<br>本機での操作は制限されます。<br>●HDMIミニケーブル(別売)接続時に働きます。<br>●詳しくは、128ページをお読みください。 |
| **★ お気に入り機能**<br>画像にマークを付け、お気に入り画像として設定することができます。 | [OFF]<br>▶ [ON]<br>●[ON]に設定すると、再生時に[★]をタッチして、お気に入りを設定/解除できます。また、再生メニューからも、お気に入りを設定できます。詳しくは、118ページをお読みください。<br>お気に入り表示 |
| **Ver. バージョン表示** | ●本体のファームウェアバージョンを確認できます。 |

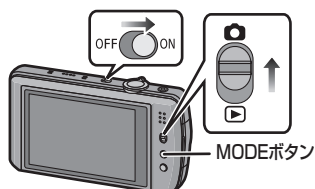
準備

# セットアップメニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定（▶ はお買い上げ時の設定です）・お知らせ |
|---|---|
| **フォーマット**<br><br>内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（初期化）します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。** | ●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。<br>●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。<br>●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。<br>●カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。<br>●フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |
| **タッチパネル調整**<br><br>タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。 | **1 [開始]をタッチする**<br>**2 画面に表示されるオレンジ色の＋マークを、タッチペン（付属）で順番にタッチする（5カ所）**<br>●位置調整が完了するとメッセージが表示されます。<br>戻る<br>**3 [終了]をタッチして終了する**<br>●正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。＋マークをタッチし直してください。 |
| **デモモード**<br><br>[手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。 | **[手ブレ補正デモ]**：カメラが感知した手ブレ量を表示<br>**[自動デモ]**<br>[OFF]<br>▶ [ON]：本機の特長をスライドショーで表示<br>●[手ブレ補正デモ]中に[手ブレ補正]をタッチするごとに、手ブレ補正が ONとOFFに切り換わります。<br>●再生モード時に[手ブレ補正デモ]は表示できません。<br>●[手ブレ補正デモ]は目安です。<br>●[手ブレ補正デモ]を終了する場合は、[ 終了 ]をタッチしてください。<br>●再生モード時でも[自動デモ]はテレビ出力されません。<br>●[自動デモ]を終了する場合は、[MENU] を押してください。<br>手ブレ補正デモ<br>手ブレ量<br>OFF<br>手ブレ補正<br>終了<br>補正後の手ブレ量 |

# 撮影モードを選び、写真または動画を撮影する

**1** 電源スイッチを[ON]にする

**2** 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

準備

基本

## 撮影モード一覧

**iA [インテリジェントオート]** P33

カメラにおまかせで撮影します。

**P [プログラムAE]** P36

お好みの設定で撮影します。

**A [絞り優先AE]** P55

絞り値を決めて撮影します。

**S [シャッター優先AE]** P56

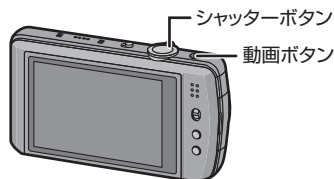
シャッタースピードを決めて撮影します。

**M [マニュアル露出]** P57

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

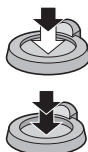
**SCN [シーンモード]** P63

撮影シーンに合わせて撮影します。

# 撮影モードを選び、写真または動画を撮影する（つづき）

### 写真を撮影する

**1** シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

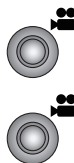
**2** シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- タッチシャッター機能（P38）を使って、写真を撮影することもできます。

詳しくは、各撮影モードの説明をお読みください。

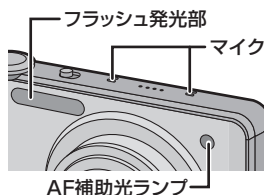
### 動画を撮影する

**1** 動画ボタンを押して撮影を開始する

**2** 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画ボタンを押すと動画撮影開始 / 終了を知らせる音が鳴ります。
  音量は [操作音音量]（P25）で設定することができます。

各撮影モードに適した動画が撮影できます。
詳しくは、72ページ「動画を撮る」をお読みください。

## ■ 本機の構えかたについて

- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイクを指などでふさがないでください。
- 両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- レンズ部には触らないでください。

# カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者におすすめです。

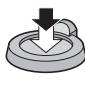
- 以下の機能が自動的に働きます。
  - ・自動シーン判別／手ブレ補正／インテリジェントISO／顔認識／クイックAF／暗部補正／デジタル赤目補正／逆光補正／超解像／iAズーム

## 1 撮影／再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

## 2 [インテリジェントオート]をタッチする

## 3 シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる

フォーカス表示

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。
- ピントが合う範囲は3 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞です。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。

## 4 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示（P19）が赤く点灯します。
- タッチシャッター機能（P38）を使って、写真を撮影することもできます。

### ■ フラッシュを使って撮影するときは（P48）

- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]または[i⚡S◎]の場合は、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

### ■ ズームを使って撮影するときは（P40）

### ■ 動画を撮影するときは（P72）

### ■ 個人認証機能（よく撮る人の顔を名前や誕生日などの情報とともに登録する）を使って撮影するときは（P78）

# カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）（つづき）

撮影モード：iA

## 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA →

| | | |
|---|---|---|
| i人物 | i風景 | iマクロ |
| i夜景＆人物<br>・[i⚡A]選択時のみ | i夜景 | i夕焼け |
| i赤ちゃん※ | | |

- どのシーンにもあてはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景＆人物]、[i赤ちゃん]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**（顔認識）**（P92）
- [i夜景]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8 秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i人物]、[i夜景＆人物]、[i赤ちゃん]の右上に[R]が表示されます。

※ [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が３歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

### お知らせ

- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗／被写体の大きさ・色／被写体までの距離／被写体の濃淡／被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ／朝焼け／低照度／手ブレが発生した場合／ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

## 追尾AF機能

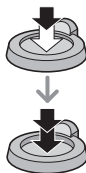
指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。さらに、被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。

**1　被写体を選び、タッチする**

- 追尾AF枠が黄色で表示され、AF ロックした被写体に最適なシーンを判別します。
- [OFF]をタッチすると、追尾AFは解除されます。

**2　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する**

### お知らせ

- 追尾 AF時、[個人認証]は働きません。
- 追尾AFは、タッチシャッター機能（P38）を解除した状態で行ってください。
- 93ページの追尾AFのお知らせをお読みください。

# インテリジェントオートモード時の設定内容

## ■ 撮影メニュー

[記録画素数]※1(P86)/[カラーエフェクト]※1(P96)/[個人認証](P78)/[ブレピタモード]

- [カラーエフェクト]は[標準]、[Happy]、[白黒]、[セピア]の色彩効果を設定できます。[Happy]選択時は、自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。
- [ブレピタモード]を[ON]に設定すると、画素数が減少する場合がありますが、被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレをおさえます。設定時は、撮影画面に[((👤))]が表示されます。

## ■ 動画撮影メニュー

[撮影モード](P75)/[画質設定]※1(P75)

## ■ セットアップメニュー

[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]/[手ブレ補正デモ]

- 以下の設定項目は固定されます。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| ガイドライン表示(P26) | 田([撮影情報]は[OFF]) |
| エコモード(スリープモード)(P27) | 5分 |
| オートレビュー(P27) | 2秒 |
| フラッシュ(P48) | i⚡A/⊘ |
| クオリティ(P87) | ▪ |
| ISO感度(P88) | iISO(インテリジェントISO)(最高ISO感度は[ISO1600])※2、3 |
| ISO 感度上限設定(P89) | 1600※2 |
| ホワイトバランス(P89) | AWB |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| オートフォーカスモード(P91) | 顔(顔が認識されないときは[▦])※4 |
| プリAF(P94) | Q-AF |
| 測光モード(P94) | [(•)] |
| 暗部補正(P95) | 中 |
| 超解像(P96) | iA ZOOM※5 |
| 手ブレ補正(P97) | AUTO※6 |
| AF補助光(P98) | ON |
| デジタル赤目補正(P98) | ON |
| AF 連続動作(P99) | ON |
| 風音低減(P99) | OFF |

※ 1 他の撮影モード使用時と設定できる内容が異なります。
※ 2 [ブレピタモード]を[ON]に設定した場合、ISO 感度は最高[ISO6400]になります。
※ 3 動画撮影時は、[AUTO]に固定されます。
※ 4 動画撮影時に顔が認識されないときは、[[■]]になります。
※ 5 [ブレピタモード]を[ON]に設定した場合、iAズームは働きません。
※ 6 動画撮影時、連写設定時は[MODE 1]に固定されます。

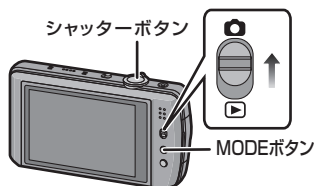
- 以下の機能は使えません。
  - [動画記録枠表示]/露出補正/オートブラケット/フラッシュ発光量調整/ホワイトバランス微調整/[下限シャッター速度]/[デジタルズーム]/[画質調整]/[音声記録]/[ヒストグラム表示]
- セットアップメニューのその他の項目は、プログラムAEモードなどで設定することができます。設定した内容はインテリジェントオートモードに反映されます。

基本

# お好みの設定で撮る（P：プログラムAEモード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

## 1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

## 2 [プログラムAE]をタッチする

- 撮影時の設定を変更したいときは、86ページの「撮影メニューを使う」をお読みください。

## 3 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

## 4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- ピントが合う範囲は50 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。
- さらに近づいて撮影するときは、52ページの「近づいて撮る(AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影)」をお読みください。
- タッチシャッター機能(P38)が[ ]の場合、タッチAF/AE機能を使ってピントや露出を合わせることもできます。

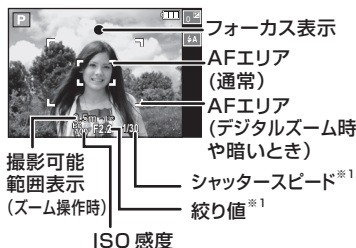
## 5 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

- 内蔵メモリー(またはカード)に画像を記録しているときは、アクセス表示(P19)が赤く点灯します。
- タッチシャッター機能(P38)を使って、写真を撮影することもできます。

### ■ 画像が暗く写るときなどに、露出を補正して撮影するには(P59)

### ■ 画像が赤っぽく写るときなどに、色を調整して撮影するには(P89)

### ■ 動画を撮影するときは(P72)

## ピントの合わせかた

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

●タッチシャッター機能(P38)が[ ]の場合、タッチAF/AE機能を使ってピントや露出を合わせることもできます。

| ピント | 合っている | 合っていない |
|---|---|---|
| フォーカス表示 | 点灯 | 点滅 |
| AFエリア | 白→緑 | 白→赤 |
| 音※2 | ピピッ | ピピピピッ |

※1 適正露出にならないときは、赤くなります。(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)

※2 音量は[シャッター音音量](P25)で設定することができます。

## ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

**1** 被写体にAFエリアを合わせ、**シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

**2** **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
● タッチシャッター機能(P38)が[ ]の場合、タッチAF/AE機能を使ってピントや露出を合わせることもできます。

**人物を撮影するときは、顔認識機能をお使いいただくことをおすすめします。(P91)**

### ■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/撮影可能範囲表示が赤く表示されているとき/ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/暗いときや手ブレしているとき/被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

## 手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正(P97)、三脚、セルフタイマー(P54)などをお使いください。

● 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモード(P63)の[パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]/[ハイダイナミック]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

## 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P118)を[ON]に設定している場合のみ)

● 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
● 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

# タッチシャッター機能を使って写真を撮影する

撮影モード：iA P A S M SCN

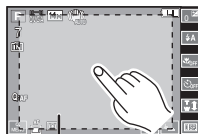
ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

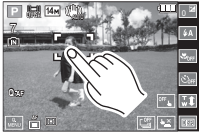
## 1 撮影状態で、[ ]をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

## 2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

タッチシャッターで
ピントが合う範囲

- タッチした場所にオートフォーカスモードの[■]と同じ働きのAFエリアが表示され、ピントが合うと撮影されます。(画面の端には設定できません)

## 3 [ ]をタッチして、タッチシャッター機能を解除する

### お知らせ

- 意図せずにタッチパネルに触れた場合にもタッチシャッター機能が働きますのでお気をつけください。
- [測光モード]が[⊡]のときは、タッチした場所で測光を行います。(P94)
- タッチシャッターで動画を撮影することはできません。

# 狙った被写体にピントや露出を合わせて撮る (タッチAF/AE)

撮影モード: P A S M SCN

タッチパネルを使って、指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。
また、[オートフォーカスモード](P91)を[ ](追尾AF)に設定しているときは、被写体が動いても自動でピントや露出を合わせ続けます。

## 1 撮影メニューから[オートフォーカスモード](P91)を設定する

| オートフォーカスモード | タッチしたときの動作 |
|---|---|
| [ ](顔認識)/<br>[ ](11点)/<br>[ ](1点高速)/<br>[ ](1点)/<br>[ ](スポット) | ● [ ](顔認識)では、タッチするとAFエリアが黄色になります。<br>● [ ](スポット)以外を設定した場合は、AFエリア [ ](1点)が表示されます。<br>● [ ](スポット)設定時は、AF エリア [ ](スポット)が表示されます。<br>例)AF エリア [ ](1点)の場合 |
| [ ](追尾AF) | ● AFエリアが黄色になり被写体がロックされます。被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)<br>詳しくは92ページをお読みください。 |

● AFエリアは画面内の自由な位置に設定できます。(画面の端には設定できません)
● [ OFF ]をタッチすると、元のフォーカスモードに従います。

## 2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

## 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

### お知らせ

● 以下の場合など、撮影状況によっては、タッチ AF/AE に失敗することがあります。
- ・被写体が小さすぎる
- ・動きが速い
- ・手ブレしている
- ・撮影場所が暗い
- ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
- ・ズーム使用時

● インテリジェントオートモード時は、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。

# ズームを使って撮る

撮影モード：iA P A S M SCN

## 光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大10.5倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9/1:1)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。
iAズームを使うと超解像技術によって画像をほとんど劣化させずに、約1.3倍ズーム倍率を上げることができます。
また、撮影メニューで[デジタルズーム]を[ON]に設定すると、より拡大が可能になります。

**大きく撮るには(望遠)**
**ズームレバーをT側へ回す**

**広く撮るには(広角)**
**ズームレバーをW側へ回す**

### ■ ズームの種類

| 種類 | 光学ズーム | EX光学ズーム(EZ) |
|---|---|---|
| 最大倍率 | 5倍 | 10.5倍※ |
| 画質 | 劣化しない | 劣化しない |
| 条件 | なし | EZ付きの記録画素数(P86)を選ぶ |
| 画面表示 | W T | EZ W T<br>EZを表示 |

| 種類 | iAズーム | デジタルズーム |
|---|---|---|
| 最大倍率 | 6.5倍 (光学ズーム5倍含む)<br>13.7倍(EX光学ズーム10.5倍含む) | 20倍 (光学ズーム5倍含む)<br>42.2倍(EX光学ズーム10.5倍含む)<br>26倍 (光学ズーム+[iA ZOOM]6.5倍含む)<br>54.8倍 (EX光学ズーム+[iA ZOOM]13.7倍含む) |
| 画質 | ほとんど劣化しない | 拡大するほど劣化する |
| 条件 | 撮影メニューの[超解像](P96)を[iA ZOOM]に設定する | 撮影メニューの[デジタルズーム](P96)を[ON]に設定する |
| 画面表示 | iA ZOOM W T<br>EZ iA ZOOM W T<br>iA ZOOMを表示 | W T<br>EZ W T<br>iA ZOOM W T<br>EZ iA ZOOM W T<br>デジタルズーム領域を表示 |

● **ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m－∞)**

※ 記録画素数や画像横縦比により変わります。

### ■ EX光学ズームの仕組み

例えば[3M](300万画素相当)に設定すると、MOSセンサーの持つ14M(1410万画素相当)の領域のうち、3M(300万画素相当)分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

### お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。
- 電源[ON]時はW端(1倍)です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P54)を使って撮影することをおすすめします。
- インテリジェントオートモード(ブレピタモード[OFF]設定時)またはシーンモード※時、[超解像]は[iA ZOOM]に固定されます。
  ※[手持ち夜景]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]時、[iA ZOOM]は使えません。
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - インテリジェントオートモードの [ブレピタモード]
  - ズームマクロ撮影時
  - シーンモードの[変身]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - 動画撮影時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]
  - インテリジェントオートモード

## タッチ操作でズームを使う

### 1 [T/W] をタッチする

液晶画面にズームレバーが表示されます。

### 2 画面上のズームレバーのT側またはW側をタッチする

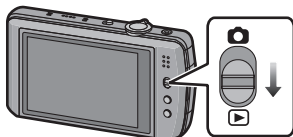
- [T] をタッチすると、自動でズーム位置がT端まで、[W] をタッチすると、W端まで移動します。
  移動中にもう一度タッチすると、途中で停止します。
- 約5秒間何も操作しないと撮影画面に戻ります。
  またシャッターボタンを半押しでも、撮影画面に戻ることができます。

基本

# 画像を見る（通常再生）

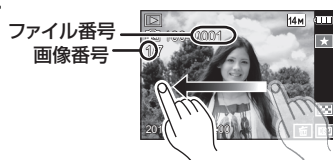
再生モード：[▶]

## 1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にする

- 以下の場合は自動的に通常再生になります。
  - ・撮影モードから再生モードに切り換えたとき
  - ・撮影/再生切換スイッチが[▶]時に、電源スイッチを[ON]にしたとき
- 連写グループ情報を再構成中は情報取得中アイコン[ ]が表示されます。
  詳しくは101ページの「連写グループ情報の再取得について」をお読みください。

## 2 画面を水平にドラッグ(P13)して画像を送る

ファイル番号
画像番号

次の画像へ送る：右から左にドラッグ
前の画像に戻す：左から右にドラッグ

- 画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）

### お知らせ

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。

## 複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

### [ ]をタッチして12画面表示に切り換える

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - ・[ ]⇨1画面　・[ ]⇨12画面
  - ・[ ]⇨30画面　・[CAL]⇨カレンダー検索(P106)
- ズームレバーを[ ](W)側に回しても切り換えることができます。
  - ・1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー検索(P106)
- ズームレバーを[Q](T)側に回すと、1つ前に戻ります。
- 連写アイコン[ ]が付いた画像を選ぶと、連写グループ内の画像がマルチ再生されます。
- スライドバーを上下にドラッグ(P13)すると画面を切り換えることができます。
- 画面を上下にドラッグ(P13)すると少しずつ画像を切り換えることができます。
- 回転表示はされません。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

## 再生画面を拡大する(再生ズーム)

### 1 拡大したい部分をタッチする

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- タッチした部分が拡大されます。
- ズームレバーを[Q](T)側に回しても画像を拡大することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。

### 2 画面をドラッグ(P13)して、拡大部分の位置を移動する

- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- [Q×1.0]をタッチすると、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- [Q]をタッチ、またはズームレバーを[■](W)側に回しても倍率は小さくなります。

**お知らせ**

- 撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミング(切抜き)を行ってください。(P116)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。
- ズーム倍率とズーム位置は、電源が切れると(スリープモードを含む)解除されます。
- 動画再生時または音声付き写真再生時は再生ズームは使えません。

## 再生モードを切り換えるには

**1 再生時に[MODE]を押す**

**2 モードを選び、タッチする**

**[通常再生](P42)**
すべての画像を再生します。

**[スライドショー](P104)**
画像を順番に再生します。

**[カレンダー検索](P106)**
撮影した日付ごとに画像を再生します。

**[モード別再生](P106)**
[写真]、[AVCHD]※1 または[MOTION JPEG]を選び、再生することができます。
※1 高精細なハイビジョン映像を記録･再生するための規格です。

**[カテゴリー再生](P107)**
カテゴリーで分類した画像を再生します。

**★[お気に入り再生](P107)※2**
お気に入りの画像を再生します。
※2 セットアップメニューの[お気に入り機能]を[ON]に設定していないときは、[お気に入り再生]は選択できません。(P29)

基本

# 画像を消去する

再生モード：[▶]

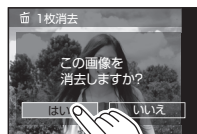
**画像は一度消去すると元に戻すことができません。(例えば、[連写]が付いた連写グループを消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)**

● 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

## 1枚消去

**1** 消去する画像を選び、[ 🗑 ]をタッチする

**2** [1枚消去]をタッチする

**3** [はい]をタッチする

## 複数(100 枚まで)/全画像消去

**1** [ 🗑 ]をタッチする

**2** [複数消去]または[全画像消去]をタッチする

- [全画像消去]→手順**5**へ

**3** **消去したい画像を選ぶ**(繰り返す)

- 設定した画像に[ 🗑 ]が表示されます。もう一度タッチすると設定が解除されます。

**4** [実行]をタッチする

**5** [はい]をタッチする

### ■ [お気に入り](P118)設定時に[全画像消去]を選んだときは

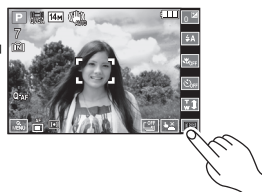
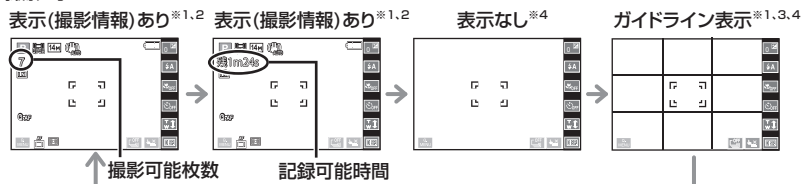
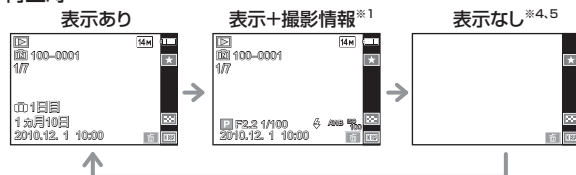
再度、選択画面が表示されます。[全画像消去]または[★以外全消去]を選び、[はい]を選んで画像を消去してください。([お気に入り]設定した画像がない場合は、[★以外全消去]を選択できません)

**お知らせ**

- 消去中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。また、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使用してください。
- [複数消去]、[全画像消去]または[★以外全消去]中に[中止]をタッチすると、途中で消去が中止されます。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- DCF規格外または[プロテクト]設定(P122)された画像の場合は、[全画像消去]または[★以外全消去]をしても消去されません。

# 液晶モニターの表示を切り換える

## [DISP.]をタッチして切り換える

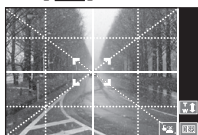
- 再生ズーム時(P43)、動画再生中(P108)、スライドショー中(P104)は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。
※2[ DISP. ]をタッチすると撮影可能枚数と記録可能時間の表示が切り換わります。
※3セットアップメニューの[ガイドライン表示]で、表示するガイドラインのパターンを設定できます。
また、ガイドライン表示時に、撮影情報を合わせて表示する/表示しないを設定できます。
※4一定時間何も操作をしないと、以下のアイコンが残ります。
撮影時：[ ]/[ DISP. ]/[ ]　再生時：[ ]/[ DISP. ]
※5[ DISP. ]をタッチすると個人認証で登録されている人物の名前が表示されます。

### お知らせ

- シーンモード(P63)の[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]、[花火]では、ガイドラインはグレーで表示されます。
- シーンモード(P63)の[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。

## ■ ガイドライン表示について

[ 田 ]選択時

[ ⊠ ]選択時

被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

田：画面全体を3等分にして、バランスのよい構図の撮影を行いたい場合に使います。

⊠：画面の中心に被写体を配置したい場合に使います。

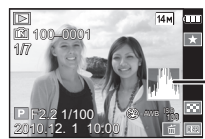
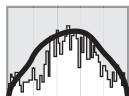
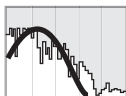
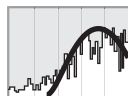
## ■ ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

ヒストグラムの表示例

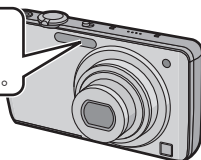
❶ 適正な明るさの画像

ヒストグラム

❷ 暗い画像

❸ 明るい画像

### お知らせ

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合はヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - ・露出補正時またはマニュアル露出モード時、マニュアル露出アシストが 0 EV 以外のとき
  - ・フラッシュが発光するとき
  - ・シーンモード（P63）の[星空]、[花火]のとき
  - ・暗いところで、液晶モニターの明るさが正確に表示できないとき
  - ・適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・再生ズーム
  - ・シーンモードの[フォトフレーム]
  - ・マルチ再生
  - ・カレンダー検索
  - ・HDMI ケーブル接続時

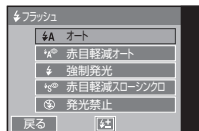
# フラッシュを使って撮る

撮影モード：iA P A S M SCN

## フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

### [ ⚡A ] をタッチする

### 項目を選び、タッチする

- 選択できるフラッシュ設定については、49ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をお読みください。
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

| 項目 | 設定内容 |
| --- | --- |
| ⚡A：オート | 撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。 |
| ⚡A◎：赤目軽減オート※ | 撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。<br>● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。** |
| ⚡：強制発光<br>⚡◎：赤目軽減強制発光※ | フラッシュを強制的に発光させます。<br>● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**<br>● **シーンモード(P63)の[パーティー]、[キャンドル]時のみ、[⚡◎]になります。** |
| ⚡S◎：<br>赤目軽減スローシンクロ※ | フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。<br>● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** |
| ⊛：発光禁止 | どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。<br>● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。** |

※フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P98)を[ON]に設定すると、アイコンに[ ✎ ]が表示されます。

## ■ デジタル赤目補正について

[デジタル赤目補正](P98)を[ON]に設定し、赤目軽減([⚡A⊙]、[⚡⊙]、[⚡S⊙])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。([オートフォーカスモード]が[顔]で顔認識しているときのみ)

- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- 以下の場合は、デジタル赤目補正が働きません。
  - ・フラッシュが[⚡A]、[⚡]、[⊘]のとき
  - ・[デジタル赤目補正]が[OFF]のとき
  - ・[オートフォーカスモード]が[顔]以外のとき

## ■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○: 設定可、×: 設定不可、◎: シーンモード初期設定)

| | ⚡A | ⚡A⊙ | ⚡ | ⚡S⊙ | ⚡⊙ | ⊘ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| iA | ○※ | × | × | × | × | ○ |
| P | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| A | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| S | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| M | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | ◎ | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | × | ◎ | ○ | ○ |

| | ⚡A | ⚡A⊙ | ⚡ | ⚡S⊙ | ⚡⊙ | ⊘ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | × | × | × | ○ | ○ | ◎ |
| 1 | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| 2 | ○ | ◎ | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ○ | × | ○ | × | × | ◎ |
| | × | × | ◎ | × | × | × |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | × | × | ◎ | × | × | ○ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | × | × | ◎ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | ◎ | × | ○ | × | × | ○ |
| | × | × | × | ○ | × | ◎ |
| | ◎ | ○ | ○ | × | × | ○ |

※ [i⚡A]と表示されます。被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A⊙]、[i⚡S⊙]、[i⚡S]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。

# フラッシュを使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M SCN

## ■ ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

| ISO感度 | フラッシュ撮影可能範囲 | |
|---|---|---|
| | W端時 | T端時 |
| AUTO | 約60 cm～約7.4 m | 約1.0 m～約 2.8 m ※1 |
| ISO100 | 約60 cm～約1.8 m | ※2 |
| ISO200 | 約60 cm～約2.6 m | 約1.0 m |
| ISO400 | 約60 cm～約3.7 m | 約1.0 m～約 1.4 m |
| ISO800 | 約80 cm～約5.2 m | 約1.0 m～約2.0 m |
| ISO1600 | 約1.15 m～約7.4 m | 約1.0 m～約2.8 m |

※1 [ISO感度上限設定](P89)が [AUTO] に設定時
※2 ズーム倍率４倍まで撮影可能です。T端時は撮影した画像が暗くなる場合があります。

- シーンモードの[高感度](P68)では、[ISO1600]～[ISO6400]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時：約1.15 m～約14.9 m T端時：約1.0 m～約5.6 m
- シーンモードの[フラッシュ連写](P69)では、[ISO100]～[ISO3200]の間で自動的に変化し、撮影可能範囲も異なります。W端時：約60 cm～約 5.1 m T端時：約1.0 m～約1.9 m

## ■ フラッシュの発光量を調整する

被写体が小さい、反射率が極端に高い、または低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

**1** [ ⚡A ]をタッチして、[ ⚡± ]をタッチする

**2** スライドバーをタッチしてフラッシュの発光量を設定する
- –2 EV から +2 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“0 EV” を選んでください。

**3** [決定]をタッチして終了する

**4** [戻る]をタッチして終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

### お知らせ

- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面上にフラッシュ発光量調整値が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源スイッチを [OFF] にしても記憶しています。
- 以下の場合、[フラッシュ発光量調整]は設定できません。
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモードの[風景]、[パノラマアシスト]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[空撮]

## ■ フラッシュモード別のシャッタースピード

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡A | 1/60 ※1～1/2000秒 |
| ⚡A👁 | |
| ⚡ ⚡👁 | |

| フラッシュモード | シャッタースピード |
|---|---|
| ⚡S👁 | 1 ※1～1/2000秒<br>1～または1/4～1/2000 秒※2 |
| Ⓢ | |

※1 [下限シャッター速度]設定(P95)によって変わります。
※2 [下限シャッター速度]設定(P95)で[AUTO]選択時

- ※2でシャッタースピードが最大 1 秒になるのは、以下の場合です。
  ・[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ・[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

### お知らせ

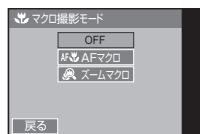
- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

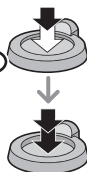
# 近づいて撮る（AFマクロ撮影/ズームマクロ撮影）

撮影モード：PASM

## 1 [ ] をタッチする

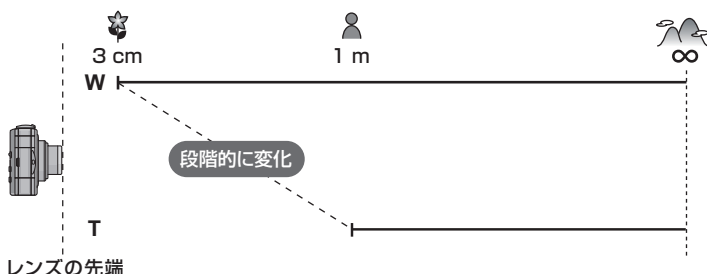
## 2 項目を選び、タッチする

● シャッターボタン半押しでも終了できます。

## 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

● AFマクロ撮影時は[ ]、ズームマクロ撮影時は[ ]が表示されます。
● 解除するには手順**2**で[OFF]を選んでください。
● ズーム操作時は、ズーム領域と撮影可能範囲、ズーム倍率が表示されます。

## AFマクロ撮影

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W端）にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。

● ピントが合う範囲はズーム位置によって段階的に変化します。

### ■ AFマクロ撮影時のピントの合う範囲

## ズームマクロ撮影

被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(3 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。

- ズームの位置にかかわらず、ピントの合う範囲は3 cm～∞になります。
- ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
- 通常撮影時よりも画質が劣化します。
- [オートフォーカスモード]の[ ]設定時はズームマクロ撮影できません。
- 以下の機能は働きません。
  - ・EX光学ズーム
  - ・iAズーム

### お知らせ

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[ ]にすることをおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
- 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

# セルフタイマーを使って撮る

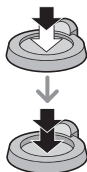
撮影モード: iA P A S M SCN

## 1 [ ]をタッチする

## 2 項目を選び、タッチする

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

## 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。
- セルフタイマー動作中に[中止]をタッチすると、セルフタイマー設定が解除されます。

### お知らせ

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光(P98)として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- [連写]の撮影枚数は、3枚に固定されます。
- シーンモードの[フラッシュ連写]の撮影枚数は、5枚に固定されます。
- シーンモードの[自分撮り]時は10秒に設定できません。
- 動画撮影時は、セルフタイマーの設定はできません。

# 絞りを決めて撮る（A：絞り優先AE）

撮影モード：A

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

## 1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

## 2 [絞り優先AE]をタッチする

## 3 絞り値をタッチする

## 4 絞り値設定バーをドラッグする

| 設定可能な絞り値 (W端 )<br>（1/3 EV ごと） | 本機で設定される<br>シャッタースピード(秒) |
|---|---|
| F2.2 ～ F6.3 | 8 ～ 1/2000 |

- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。
- 上記絞り値は、W端時の値です。

## 5 [Q.MENU OFF]をタッチして、クイックメニューを終了する

## 6 撮影する

### お知らせ

- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- 明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

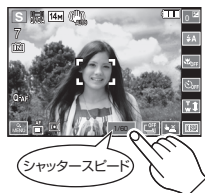
# シャッタースピードを決めて撮る（S：シャッター優先AE）

撮影モード：S

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

2 [シャッター優先AE]をタッチする

3 シャッタースピードをタッチする

4 シャッタースピード設定バーをドラッグする

| 設定可能なシャッタースピード(秒)（1/3 EV ごと） | | | | 本機で設定される絞り値 (W端) |
|---|---|---|---|---|
| 8 | 6 | 5 | 4 | F2.2 ～ F6.3 |
| 3.2 | 2.5 | 2 | 1.6 | |
| 1.3 | 1 | 1/1.3 | 1/1.6 | |
| 1/2 | 1/2.5 | 1/3.2 | 1/4 | |
| 1/5 | 1/6 | 1/8 | 1/10 | |
| 1/13 | 1/15 | 1/20 | 1/25 | |
| 1/30 | 1/40 | 1/50 | 1/60 | |
| 1/80 | 1/100 | 1/125 | 1/160 | |
| 1/200 | 1/250 | 1/320 | 1/400 | |
| 1/500 | 1/640 | 1/800 | 1/1000 | |
| 1/1300 | 1/1600 | 1/2000 | | |

5 [Q.MENU OFF]をタッチして、クイックメニューを終了する

6 撮影する

お知らせ

- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。
- ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをシャッター優先AEに切り換えると、ISO感度は[AUTO]になります。

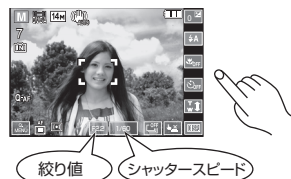
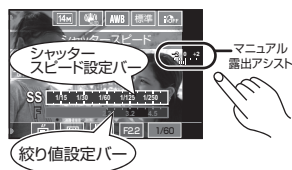
# 手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

撮影モード：M

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します。

## 1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

## 2 [マニュアル露出]をタッチする

## 3 絞り値またはシャッタースピードをタッチする

## 4 絞り値設定バーまたはシャッタースピード設定バーをドラッグする

| 設定可能な絞り値（W端）（1/3 EV ごと） | 設定可能なシャッタースピード(秒)（1/3 EV ごと） |
|---|---|
| F2.2 ～ F6.3 | 60 ～ 1/2000 |

- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。
- 上記絞り値は、W端時の値です。

## 5 [Q.MENU OFF]をタッチして、クイックメニューを終了する

## 6 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出の状態の目安を示すマニュアル露出アシストが、約10秒間表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

# 手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）（つづき）

撮影モード：M

## ■ マニュアル露出アシストについて

| 表示 | 説明 |
| --- | --- |
| -2 -1 0 +1 +2（0の位置） | 適正露出になります。 |
| -2 -1 0 +1 +2（+1の位置） | シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。 |
| -2 -1 0 +1 +2（-1の位置） | シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。 |

- マニュアル露出アシストは目安です。再生画面で確認しながら撮影することをおすすめします。

### お知らせ

- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- ISO感度が[ISO]のときに、撮影モードをマニュアル露出に切り換えると、ISO感度は [AUTO] になります。

# 露出を補正して撮る

撮影モード：PASSCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

## [0] をタッチする

## 2 スライドバーをタッチして露出を補正する

- 露出を補正しない場合は、“0 EV”を選んでください。

## [終了]をタッチして終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

### お知らせ

- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、右上のタッチアイコンに表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時は、露出補正は使えません。

# 露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

撮影モード：P A S M SCN

１回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に３枚撮影します。露出が異なる３枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目

±0EV

2枚目

−1EV

3枚目

＋1EV

## 1 59 ページ手順2の露出補正の画面で［ ］をタッチする

●マニュアル露出モード時は、59ページの手順1の［ ］が［ ］に切り換わります。

## 2 ［ ］/［ ］をタッチして露出の補正幅を設定する

●オートブラケット撮影をしない場合は、“0”（OFF）を選んでください。

## 3 ［終了］をタッチして終了する

●シャッターボタン半押しでも終了できます。

### お知らせ

●オートブラケットを設定すると、画面に［ ］が表示されます。
●露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面右上のタッチアイコンに露出補正値が表示されます。
●電源スイッチを［OFF］（スリープモードを含む）にするとオートブラケットの設定が解除されます。
●オートブラケットを設定すると、［オートレビュー］の設定にかかわらずオートレビューされます。セットアップメニューで［オートレビュー］の設定はできません。
●被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
●シャッター優先AEまたはマニュアル露出時は、シャッタースピードが１秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
●**オートブラケットを設定すると、フラッシュは［ ］になります。**
●**オートブラケットを設定すると、連写は解除されます。**
●以下の場合、オートブラケットの設定はできません。
・シーンモードの［変身］、［パノラマアシスト］、［手持ち夜景］、［フラッシュ連写］、［星空］、［ピンホール］、［サンドブラスト］、［フォトフレーム］
・動画撮影時

# 連写する

撮影モード：iA P A S M SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。撮影後、お気に入りの画像を選んでください。
連写速度を撮影状況や被写体に合わせて選択できます。
連写撮影された画像はひとつの連写グループ（P101）として、記録されます。

## 1 [ ]をタッチする

## 2 項目を選び、タッチする

- 項目を選んで、[ i ]をタッチすると、選んだ項目の説明が表示されます。
- 連写を設定しない場合は、[OFF] を選んでください。

| 連写速度 | 特徴 |
|---|---|
| [ ]※1：2コマ/秒、5コマ/秒、10コマ/秒 | 人やペットなどの動きに合わせて連写速度を自動で調整します。<br>**最大記録枚数**：　100 枚 |
| [ ]※2：2コマ/秒<br>[ ]※2：5コマ/秒 | バッティングなど、人の動きを撮影するのに適しています。<br>**最大記録枚数**：　100 枚 |
| [ ]：10コマ/秒 | 鳥の羽ばたきなど、速い動きを撮影するのに適しています。<br>**最大記録枚数**：　15 枚 |
| [ ]：40コマ/秒<br>[ ]：60コマ/秒 | 水しぶきなど、肉眼ではとらえられない一瞬の動きを撮影するのに適しています。<br>**最大記録枚数**：　50 枚（[ ] 設定時）<br>60 枚（[ ] 設定時）<br>● [ ]、[ ]設定時は選択できる[記録画素数]が以下になります。<br>● [ ] 設定時は撮影できる範囲が狭くなります。 |

| 画像横縦比 | [ ] (40) | [ ] (60) |
|---|---|---|
| [4:3] | [5M]、[3M]、[0.3M] | [2.5M]、[0.3M] |
| [3:2] | [4.5M]、[2.5M]、[0.3M] | [3M]、[0.3M] |
| [16:9] | [3.5M]、[2M]、[0.2M] | [3.5M]、[0.2M] |
| [1:1] | [3.5M]、[2.5M]、[0.2M] | [2M]、[0.2M] |

※1 [ ] はインテリジェントオートモード時のみ設定できます。
※2 動画撮影中の連写撮影では、ピントは1枚目に固定されます。

## 連写する(つづき)

撮影モード：iA P A S M SCN

### 3 [終了]をタッチして終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

### 4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

**お知らせ**

- [2AF]、[5AF]選択時は、連写速度を優先するため、可能な範囲でのピント予測を行います。そのため、高速で動く被写体を追いながら撮影した場合、ピントが合いにくかったり、またピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- インテリジェントオートモード時は、[i]、[2AF]、[5AF]、[10] のみ選択できます。
- シーンモードの[高感度]時は、[2AF]、[5AF]、[10] のみ選択できます。
- [2AF]、[5AF]選択時は、撮影中に連写速度が遅くなることがあります。
- [2AF]、[5AF]選択時は、撮影ごとにピント、露出、ホワイトバランスを調整して連写します。連写中、オートレビュー表示は行わず、ライブビュー表示を行います。
- [40]、[60]選択時は、電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。(P150)
- [10]、[40]、[60]選択時は、ピント、露出、ホワイトバランスは 1 枚目の設定に固定されます。被写体の明るさの変化によっては、2 枚目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- セルフタイマー使用時の連写枚数は、3枚に固定されます。
- 屋内外など明暗差の大きい場所(風景)で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、最適な露出にならないことがあります。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度(コマ/秒)が遅くなる場合があります。
- 連写設定は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは[⚡]になります。**
- **連写を設定すると、オートブラケットは解除されます。**
- シーンモードの[パノラマアシスト]、[手持ち夜景]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[フォトフレーム] では連写できません。
- 連写設定時は、[手ブレ補正]の[AUTO]または[MODE2]は設定できません。
- 個人認証での撮影時は、連写画像の先頭画像にしか、個人認証情報がありません。(ただし、カテゴリー再生時は、連写グループ全体が個人認証画像として扱われます)

# 撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）

撮影モード：SCN

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

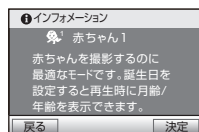
## 1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

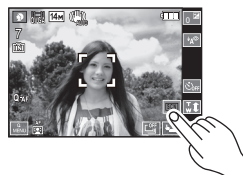
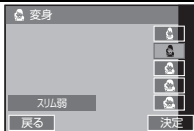
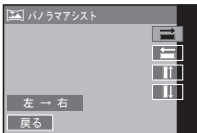
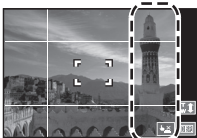
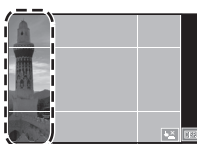
## 2 [シーンモード]をタッチする

## 3 シーンモードを選び、タッチする

- [▲]/[▼]をタッチすると、メニュー画面を切り換えることができます。
- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

## ■ ℹ インフォメーションについて

- [ℹ]をタッチすると、[ℹ]が点灯し、手順**3**でタッチしたときに、選んだシーンモードの説明が表示されます。

## ■ シーンモードを変更するには

- シーンモードの撮影画面で[SCN]をタッチすると、手順**3**に戻ります。

### お知らせ

- シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[ISO感度上限設定]、[測光モード]、[暗部補正]、[下限シャッター速度]、[超解像]、[カラーエフェクト]、[画質調整]の設定はできません。
- タッチシャッター機能(P38)を使って、写真を撮影することもできます。
- タッチシャッター機能(P38)が[]の場合、タッチAF/AE機能を使ってピントや露出を合わせることもできます。

撮影モード：SCN

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **人物**<br><br>昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。 |
| **美肌**<br><br>昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。（胸から上を撮りたいときに効果的です） | **撮影のテクニック**<br>●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。<br>●背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。<br>●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。 |
| **変身**<br><br>スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。 | **変身レベル設定**<br>**1　変身のレベルを選び、[決定]をタッチする**<br>**2　撮影する**<br>（画面表示：変身／スリム弱／戻る／決定）<br>●[記録画素数]と[画像横縦比]は以下のように固定されます。<br>・4:3のとき[3M]、3:2のとき[2.5M]、16:9のとき[2M]、1:1のとき [2.5M]<br>●[クオリティ]は自動で[ ]になります。<br>●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。<br>●[スリム強]または[グラマラス強]に設定時、顔認識が働きにくくなります。<br>●個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。<br>●公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。<br>●被写体の利益を損なうような利用はしないでください。 |
| **自分撮り**<br><br>自分を撮りたいときに合わせてください。 | **撮影のテクニック**<br>●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。<br>●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。<br>●撮影後は自動的にレビューされます。<br>●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。<br>●ピントが合う範囲は約30 cm～約1.2 m（W端時）です。<br>●音声付きで自分撮りすることができます。(P98)このとき、音声記録中にセルフタイマーランプが点灯します。<br>●選択すると、ズームは自動的にW端の位置へ移動します。<br>●セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。[2秒]に設定すると、電源スイッチを[OFF]にするかシーンモードや撮影モード、再生モードを切り換えるまで、セルフタイマーの[2秒]設定は保持されます。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **自分撮り（つづき）** | ●[手ブレ補正]は[MODE2]に固定されます。(P97)※<br>※連写設定時は[MODE1]に固定されます。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 |
| **風景**<br><br>広がりのある風景を撮影できます。 | ●**フラッシュは[ ]になります。**<br>●ピントが合う範囲は5 m～∞です。 |
| **パノラマアシスト**<br><br>パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。 | **撮影する方向の設定**<br>**1 撮影する方向をタッチする**<br>●水平/垂直ガイドが表示されます。<br>（画面表示：パノラマアシスト／左 → 右／戻る）<br>**2 撮影する**<br>●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。<br>**3 [次の撮影]をタッチする**<br>●シャッターボタン半押しでも[次の撮影]になります。<br>●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。<br>**4 透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する**<br>●3枚目以降を撮影するときは、手順**3**、**4**を繰り返してください。<br>●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。<br>**5 [完了]をタッチする**<br><br>●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**<br>●**フラッシュは[ ]になります。**<br>●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。<br>●三脚の使用をおすすめします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。<br>●撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使ってパノラマ画像に合成することができます。 |

# 撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）（つづき）

撮影モード : SCN

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| **スポーツ**<br><br>スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。 | ●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。<br>●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。<br>●インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。 |
| **夜景＆人物**<br><br>人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>●**フラッシュをお使いください。([ ]に設定できます)**<br>●被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。<br>●**動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。**<br>●ピントが合う範囲は50 cm(W端時)/1.2 m(T端時)～5 mです。<br>●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。<br>●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 |
| **夜景**<br><br>夜景を鮮やかに撮影できます。 | ●**動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。**<br>●**フラッシュは[ ]になります。**<br>●ピントが合う範囲は5 m～∞です。<br>●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。<br>●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 |
| **手持ち夜景**<br><br>夜景を高速連写で撮影し、合成します。<br>手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。 | ●**10 枚の画像を連写撮影し、1 枚の画像に合成します。**<br>●**動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。**<br>●**フラッシュは[ ]になります。**<br>●ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。<br>●超解像は [ON] に固定されます。<br>●[手ブレ補正] は [MODE1]に固定されます。<br>●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。 |
| **料理**<br><br>レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。 | ●ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| パーティー<br><br>結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>● **フラッシュをお使いください。([ ]または[ ]に設定できます)**<br>● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>● ズームをW端(広角)にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。<br>● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 |
| キャンドル<br><br>ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>● フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。<br>● ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。<br>● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>● [手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。<br>● [オートフォーカスモード]の初期設定は[ ]になります。 |
| 赤ちゃん1/<br>赤ちゃん2<br><br>赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。<br>[赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P113)で撮影画像に焼き込むことができます。 | **誕生日/名前を設定する**<br>**1 [月齢/年齢]または[名前]の[設定]をタッチする**<br>赤ちゃん1 / 月齢/年齢 / 名前 / OFF / ON / 設定 / 戻る / 終了<br>**2 誕生日/名前を入力する**<br>誕生日: 各項目の[▲]/[▼]をタッチして年·月·日を設定し、[決定]をタッチする。<br>名前: 文字入力の方法については100ページの「文字を入力する」をお読みください。<br>● 誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。<br>● 誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。<br>**3 [終了]をタッチして終了する**<br>**月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには**<br>手順**1**で[OFF]に設定してください。 |

# 撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）（つづき）

撮影モード : SCN

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 赤ちゃん1/<br>赤ちゃん2<br>（つづき） | ●**動画撮影時は、[人物]の設定が反映された動画になります。**<br>●CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。<br>●誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。<br>撮影前に[月齢/年齢]または[名前]を[ON]にしてください。<br>●ピントが合う範囲は3 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞です。<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。<br>●インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO1600]になります。<br>●電源を入れたときに約5秒間、月齢/年齢と名前が現在日時とともに画面に表示されます。<br>●月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。<br>●[設定リセット]で誕生日設定と名前設定のリセットができます。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[顔]になります。 |
| ペット<br><br>犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P113）で撮影画像に焼き込むことができます。 | [月齢/年齢]、[名前]については、67ページの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。<br>●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**<br>●[AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。<br>●[オートフォーカスモード]の初期設定は[追尾]になります。<br>●その他のお知らせについては、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。 |
| 夕焼け<br><br>夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。 | ●**フラッシュは[発光禁止]になります。** |
| 高感度<br><br>薄暗い室内で被写体のブレをおさえて撮影できます。（高感度処理を行い、自動的に[ISO1600]から[ISO6400]の間で変化します） | **記録画素数・画像横縦比設定**<br>**1　記録画素数・画像横縦比をタッチする**<br>●記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1）からの選択となります。<br>**2　撮影する**<br>●[超解像]は[ON]に固定されます。<br>●[クオリティ]は自動で[スタンダード]になります。<br>●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。<br>●ピントが合う範囲は3 cm（W端時）/1 m（T端時）～∞です。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| フラッシュ連写<br><br>フラッシュ発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。撮影された画像は、ひとつの連写グループとして記録されます。 | **記録画素数・画像横縦比設定**<br>**1 記録画素数・画像横縦比をタッチする**<br>●記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)からの選択となります。<br>**2 撮影する**<br>●シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。<br>連写枚数: 最大 5 枚<br>**●動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**<br>●[超解像]は[OFF]に固定されます。<br>●[クオリティ]は自動で[]になります。<br>●Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。<br>●ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)〜∞です。<br>●ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1枚目の設定に固定されます。<br>●インテリジェントISOが働き、最高ISO感度は[ISO3200]になります。<br>●[フラッシュ連写]を使うときは、51 ページのお知らせをお読みください。 |
| 星空<br><br>星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。 | **シャッタースピード設定**<br>シャッタースピードを15秒、30秒、60秒から選択します。<br>**1 設定したい秒数をタッチする**<br>**2 撮影する**<br>●シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。<br>●撮影中に[中止]をタッチすると、撮影が中止されます。<br>**撮影のテクニック**<br>● 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>**●動画撮影時は、薄暗い室内や夕暮れ時でもきれいに撮影できるローライト設定( )の動画になります。**<br>**●フラッシュは[]になります。**<br>●[手ブレ補正]は[OFF]に固定されます。<br>●[ISO感度]は[ISO100]に固定されます。 |

# 撮影シーンに合わせて撮る（SCN: シーンモード）（つづき）

撮影モード : SCN

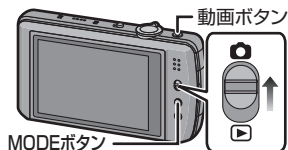
| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| 花火<br><br>夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。 | **撮影のテクニック**<br>● シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。<br>● **動画撮影時は、通常の動画撮影になります。**<br>● **フラッシュは [ ] になります。**<br>● 被写体までの距離が 10 m以上のときに最適です。<br>● シャッタースピードは以下のようになります。<br>・手ブレ補正 [OFF] 設定時：2秒<br>・手ブレ補正 [AUTO]、[MODE1] または [MODE2] 設定時：1/4秒または2秒（シャッタースピードが2秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです）<br>・露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。<br>● [ISO感度] は [ISO100] に固定されます。 |
| ビーチ<br><br>海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。 | ● [オートフォーカスモード] の初期設定は [ ] になります。<br>● ぬれた手で触らないでください。<br>● 砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。 |
| 雪<br><br>スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。 | ― |
| 空撮<br><br>飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。 | **撮影のテクニック**<br>● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト（濃淡）の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。<br>● **フラッシュは [ ] になります。**<br>● ピントが合う範囲は5 m～∞です。<br>● **離着陸時は電源スイッチを [OFF] にしてください。**<br>● **ご使用の際は、搭乗員の指示に従ってください。**<br>● 窓への映り込みにお気をつけください。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| ピンホール<br><br>被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。 | ●右のような画像を撮影できます。<br>●[超解像]は[OFF]に固定されます。<br>●ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。<br>●画面周辺の暗い部分では、顔認識機能(P92)が正常に働かない場合があります。 |
| サンドブラスト<br><br>砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。 | ●[ISO感度]は[ISO1600]に固定されます。<br>●ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。 |
| ハイダイナミック<br><br>逆光の風景や夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真を簡単に撮影することができます。 | **効果の設定**<br>**1 設定したい効果をタッチする**<br>[STD]:自然な色合いの効果<br>[ART]:コントラストと色を強調した印象的な効果<br>[B&W]:白黒の効果<br>**2 撮影する**<br>●[ISO感度]は[ISO400]に固定されます。<br>●撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。<br>●ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。<br>●暗いときは、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>●[手ブレ補正]設定時にブレの量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大8秒になります。<br>●撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。<br>●暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。 |
| フォトフレーム<br><br>画像にフレームをつけて撮影します。 | **使用するフレームの設定**<br>**1 使用するフレームをタッチする**<br>●記録画素数は2M(4:3)に固定されます。<br>**2 撮影する**<br>●**動画撮影時は、通常の動画撮影になります。フレームは表示されません。**<br>●[オートレビュー]は2秒に固定されます。<br>●画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。 |

# 動画を撮る

撮影モード：iA P A S M SCN

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、Motion JPEGで記録される動画を撮影できます。音声はステレオで記録されます。

## 1 撮影/再生切換スイッチを[📷]にし、[MODE]を押す

## 2 モードを選び、タッチする

### ■ 動画撮影できるモードについて

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>iA [インテリジェントオート]</td><td>被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に動画を撮影できます。</td></tr>
<tr><td>P、A、S、Mモード</td><td>絞りやシャッタースピードを自動で設定して動画を撮影できます。</td></tr>
<tr><td>SCN [シーンモード]</td><td>一部のシーンモードでは、以下のような分類で撮影されます。
<table>
<tr><th>選択されているシーンモード</th><th>動画撮影時のシーンモード</th></tr>
<tr><td>[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]</td><td>人物モード</td></tr>
<tr><td>[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]</td><td>ローライトモード</td></tr>
<tr><td>[パノラマアシスト]、[スポーツ]、[ペット]、[フラッシュ連写]、[花火]、[フォトフレーム]</td><td>通常動画</td></tr>
</table>
上記以外では、それぞれのシーンに合った動画を撮影できます。(P63 ～ 71)</td></tr>
</table>

## 3 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 本機内蔵のマイクより、音声も同時に記録されます。(音声なしで動画を記録することはできません)
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 画面が一瞬暗くなり、表示を調節してから撮影が開始されます。

記録可能時間　記録動作表示

記録経過時間

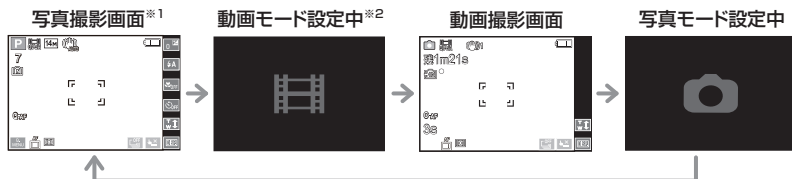
## 4 再度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 動画ボタンを押すと動画撮影開始 / 終了を知らせる音が鳴ります。
  音量は [操作音音量](P25)で設定することができます。
- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

## ■ ピント合わせについて

[AF連続動作](P99)を[ON]に設定していると、一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF]に設定してください。

### お知らせ

● 72ページの手順 **3**、**4** で動画ボタンを押したときに、以下のように画面の表示が変わります。

※1 動画撮影前に記録可能時間を表示するには、[DISP.]をタッチしてください。(P46)
※2 動画モード設定中に表示される画面は、[撮影モード]の設定によって異なります。

- **動画撮影メニューについては 99 ページをお読みください。**
- **フラッシュは [⊛] になります。**
- 記録可能時間については 162ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画撮影中、バッテリーの消耗を防ぐため時間経過により画面が暗くなることがありますが、撮影された動画に影響はありません。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示](P26)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影時は、[手ブレ補正](P97)は[MODE1]に固定されます。
- 動画撮影時は、以下の機能は使えません。
  - ・オートフォーカスモードの[▦][▣][⊡]([▪] に切り換わります)
  - ・縦位置検出機能
  - ・EX光学ズーム
  - ・[個人認証]
  - ・[ISO 感度上限設定]

(例)[AVCHD](1080i)の 16:9 選択時

動画では記録されない部分

- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)の使用をおすすめします。
- ACアダプターを使用して動画を撮影している最中に、停電やACアダプターを抜くなどして電源の供給がとだえると、撮影途中の動画は記録されません。

# 動画を撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M SCN

## 動画撮影中に写真･連写撮影する

動画撮影中でも写真を撮影することができます。また連写撮影することもできます。

### ■ 動画撮影中に写真を撮影する

**動画撮影中にシャッターボタンを全押しして、撮影する**

### ■ 動画撮影中に連写撮影する

**1 動画撮影前に連写を設定する**

**2 動画撮影中にシャッターボタンを押したままにする**

- [40]、[60]設定時は、[10]に自動で設定されます。
  [2AF]、[5AF]設定時は、ピントは１枚目の設定に固定されます。

#### お知らせ

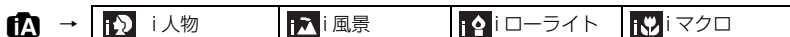
- 動画撮影中にシャッターボタンの半押しまたはタッチシャッターでの写真撮影を行うと、ピントを合わせ直すため、撮影中の動画にもピント合わせの動きが記録されます。動画の映像を優先する場合は、シャッターボタン全押しによる写真撮影、または動画撮影後に写真を作成することをおすすめします。(P110)
- 意図せずにタッチパネルに触れた場合にもタッチシャッター機能が働きますのでお気をつけください。
- シャッターボタンを半押しすると、記録画素数と記録可能枚数が表示されます。
- 写真撮影後は動画撮影が続きます。
- 電子シャッターでの撮影になるため、撮影された画像にゆがみが生じる場合があります。(P150)
- 同時記録の写真は、画像横縦比[16:9]、記録画素数(3.5 M)で記録されます。通常の写真の(3.5 M)とは画質が異なる場合があります。
- 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大40枚までです。
- **フラッシュは[⊛]になります。**
- ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まる場合があります。
- [AVCHD(720p)] 設定時、同時記録はできません。
- [MOTION JPEG]の[VGA]、[QVGA]設定時、同時記録はできません。
- 動画撮影中に写真撮影をすると、シャッターボタンの操作音が記録される場合があります。

#### インテリジェントオートモードに設定した場合

- 72ページの手順 **2** でインテリジェントオートモードを選ぶと、被写体や撮影状況に合わせた動画撮影を行うことができます。

### ■ 自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

iA → | i 人物 | i 風景 | i ローライト | i マクロ |

- どのシーンにもあてはまらない場合は [iA]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**(P92)

**お知らせ**

- インテリジェントオートモード時の設定内容については 35 ページをお読みください。
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗、被写体の大きさ･色、被写体までの距離、被写体の濃淡、被写体が動いている場合
  - ・撮影条件
    夕暮れ、朝焼け、低照度、手ブレが発生した場合、ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをおすすめします。

## 撮影モードと画質設定を変更する

### 1 動画撮影メニューの[撮影モード]をタッチする(P23)

### 2 項目を選び、[決定]をタッチする

| 記録形式 | 特徴 |
| --- | --- |
| [AVCHD(1080i)]<br>[AVCHD(720p)] | ●ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。高精細な動画を長時間記録できます。<br>●AVCHD対応機器にカードを入れて、そのまま再生できます。詳しくは、お使いの機器の説明書で対応を確認してください。<br>●SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。<br>●[AVCHD(1080i)]は[AVCHD(720p)]よりも高解像度、高画質の動画を撮影できます。 |
| [MOTION JPEG] | ●パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。小さな画像サイズでも記録できるので、メモリーカードの容量が残り少ないときや、あとでパソコンからメールに添付するときなどに便利です。<br>●SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードを使用してください。 |

※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

# 動画を撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M SCN

## 3 [画質設定]をタッチする

## 4 設定したい項目をタッチする

**手順2で[AVCHD(1080i)]を選んだ場合**

| | 項目 | 画質（ビットレート）※1 | | コマ数 | 画像横縦比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 高画質 | ([FSH]) | 1920×1080画素<br>約 17 Mbps※2 | フルハイビジョン | 60i<br>（センサー出力30コマ/秒） | 16:9 |
| 長時間 | ([FH]) | 1920×1080画素<br>約 13 Mbps※2 | | | |

**手順2で[AVCHD(720p)]を選んだ場合**

| | 項目 | 画質（ビットレート）※1 | | コマ数 | 画像横縦比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 高画質 | ([SH]) | 1280×720画素<br>約 17 Mbps※2 | ハイビジョン | 60p<br>（センサー出力60コマ/秒） | 16:9 |
| 長時間 | ([H]) | 1280×720画素<br>約 13 Mbps※2 | | | |

※1 「ビットレート」とは
一定時間あたりのデータの量で、この場合は数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータの量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。

※2 「Mbps」とは
「Megabit Per Second」の略で、転送される速度を表します。

- [AVCHD(720p)] 設定時、以下の機能は使えません。
  - ・追尾 AF 機能
  - ・動画撮影中の写真または連写撮影
- 以下のシーンモードでは、[AVCHD(720p)] 設定時、[AVCHD(1080i)] に自動で切り換わります。（[SH] 時は [FSH] に、[H] 時は [FH] に切り換わります）
  - ・[変身]/[夜景&人物]/[夜景]/[手持ち夜景]/[高感度]/[星空]/[ピンホール]/[サンドブラスト]/[ハイダイナミック]

**手順2で[MOTION JPEG]を選んだ場合**

| | 項目 | 記録画素数 | コマ数 | 画像横縦比 |
|---|---|---|---|---|
| 高画質 | ([HD]) | 1280×720画素 | 30コマ/秒 | 16:9 |
| ↓↑ | ※1<br>([WVGA]) | 848×480画素 | | |
| | ([VGA]) | 640×480画素 | | 4:3 |
| 長時間 | ([QVGA]) | 320×240画素 | | |

※1インテリジェントオートモード設定時、[MOTION JPEG]の[ ]は設定できません。

- [AVCHD]または[MOTION JPEG]の[ ]では、HDMIミニケーブル(別売)を使用すると高画質な動画をテレビでお楽しみいただけます。詳しくは126ページの「HDMI端子付きテレビで見る」をお読みください。
- [ ] 以外は内蔵メモリーには記録できません。

## 5 [終了]をタッチしてメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

### お知らせ

- [AVCHD]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。(P16)
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 以下のようなカードを使用すると動画撮影が途中で終了する場合があります。
  ・記録·消去が何度も繰り返されたカード
  ・パソコンやその他の機器でフォーマットされたカード
  撮影前に、本機でカードをフォーマット(P30)することをおすすめします。フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンなどに保存しておいてください。
- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できない場合があります。
- **[AVCHD]および[MOTION JPEG]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。この場合は、本機で再生してください。AVCHD対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。**
  **http://panasonic.jp/support/dsc/**
- [AVCHD]で撮影された動画はDCF/Exifに準拠していないため、再生時に一部の情報が表示されません。
- **本機では、音質の改善を目的として、音声の記録仕様を変更しました。そのため[MOTION JPEG]で撮影した動画を、当社製デジタルカメラ(LUMIX)※2で再生することができない場合があります。(当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です)**
  **※2 2008年12月以前発売分、および2009年発売分の一部(FS、LSシリーズ)**

# 個人認証機能を使って撮る

撮影モード：iA P A S M SCN

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

**お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。**
**顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。**

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

**撮影時**

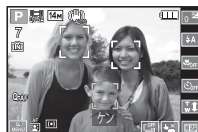
・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
（名前を設定している場合）

・撮影回数の多い顔をカメラが記憶し、自動的に登録画面を表示
（[自動登録]を[ON]に設定している場合）

**再生時**

・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）

・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー再生]（P107））

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

## お知らせ

- オートフォーカスモードは[ ]に固定されます。
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- シャッターボタンを半押ししたあとで、違う被写体にカメラを向けて撮影をした場合、異なる人物の撮影情報が付加される場合があります。
- 以下のシーンモードで、[個人認証]を使用できます。
  ・[人物]/[美肌]/[自分撮り]※/[風景]/[スポーツ]/[夜景&人物]/[パーティー]/[キャンドル]/[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]/[ペット]/[夕焼け]/[高感度]/[ビーチ]/[雪]/[ピンホール]/[ハイダイナミック]/[フォトフレーム]
  ※[自動登録]は[OFF]に固定されます。
- 個人認証は、登録した顔に近い顔を探しますので、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合（P81）でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
  例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー再生]の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入換え]（P123）を行ってください。

## 顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(一登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

### ■ 顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

### ■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P81)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- [感度]の設定を変更する。(P82)
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。

**認証されにくい例**

- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
  - ・髪の毛が目や眉にかかっている(Ⓐ)
  - ・暗い/斜めから光が当たっている(Ⓑ)
  - ・斜めや横を向いている
  - ・上を向いている/下を向いている
  - ・目を閉じている
  - ・極端に明るいまたは暗い
  - ・サングラス、光で反射している眼鏡、髪、帽子などで隠れている
  - ・小さく写っている
  - ・顔全体が画面に収まっていない
  - ・年齢と共に顔の特徴が変化したとき
  - ・親子･兄弟姉妹など顔の特徴が似ている
  - ・表情が大きく違っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時

(Ⓐ)

(Ⓑ)

# 個人認証機能を使って撮る（つづき）

撮影モード：iA P A S M SCN

## 新規登録

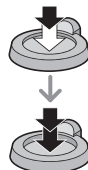
**1** 撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(P23)

**2** [登録]をタッチする

**3** [新規登録] をタッチする

- すでに6人登録されているときは、[新規登録]が表示されません。追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

**4** ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- 認識に失敗したときは、メッセージが表示され、撮影画面に戻ります。もう一度撮影してください。

**5** [はい]をタッチする

**6** 編集項目をタッチする

- 顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。<br>1 [設定]をタッチする<br>2 名前を入力する<br>● 文字入力の方法については、100ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。<br>1 [設定]をタッチする<br>2 各項目の[▲]/[▼]をタッチして年・月・日を設定し、[決定]をタッチする</td></tr>
<tr><td>フォーカスアイコン</td><td colspan="2">ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。<br>フォーカスアイコンを選び、タッチする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。<br>1 [追加登録] をタッチする<br>2 「新規登録」の手順4、5を行う<br>3 [戻る]をタッチする</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を一枚消去します。<br>1 解除したい顔画像をタッチする<br>2 [はい]をタッチする<br>3 [戻る]をタッチする<br>● 画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

**7** シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する

## ■ [i] インフォメーションについて

- 80 ページ手順4の撮影画面で[ i ]をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。
  ([戻る]をタッチすると撮影画面に戻ります)

### 登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

**1** **撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(P23)**
**2** **[登録]をタッチする**
**3** **編集または解除したい顔画像をタッチする**
**4** **設定したい項目をタッチする**

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **情報編集** | すでに登録している人物の情報を変更します。<br>**「新規登録」の手順6を行う** |
| **登録順** | 登録順にピントや露出を合わせます。<br>**動かしたい登録順の位置をタッチする**<br>**[決定]をタッチする** |
| **解除** | すでに登録している人物の情報を消去します。<br>**[はい]をタッチする** |

**5** **シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する**

撮影モード：iA P A S M SCN

## 自動登録/感度を設定する

個人認証の自動登録や感度の設定ができます。

**1　撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(P23)**

**2　[設定]をタッチする**

**3　設定したい項目をタッチする**

| | |
|---|---|
| **自動登録** | [OFF]/[ON]<br>● [自動登録]を[ON]に設定すると自動的に[個人認証]が[ON]になります。<br>● 詳しくは「自動登録について」をお読みください。 |
| **感度** | [高]/[標準]/[低]<br>● 認証されにくいときは[高]を選んでください。認証されやすくなりますが、異なる人物を認証する可能性も高くなります。<br>● 異なる人物を認証することが多いときは[低]を選んでください。<br>● 設定を元に戻したいときは、[標準]を選んでください。 |

**4　シャッターボタンを半押ししてメニューを終了する**

## 自動登録について

[自動登録]を[ON]に設定すると、撮影回数の多い顔に対して、撮影後、自動的に登録画面が表示されるようになります。

● 登録画面が表示される目安は3回です。（オートブラケット、[連写]、[音声記録]、シーンモードの[自分撮り]を除く）

● 自動登録だけでは極端に認証されにくい場合があります。あらかじめ撮影メニューの[個人認証]から顔画像登録を行ってください。

### ■ 自動登録画面から登録する

**1　[はい]をタッチする**

● 登録している人物が1人もいない場合は、手順**3**へ進んでください。

● [いいえ]を選ぶと再度選択画面が表示されます。
[はい]を選ぶと、[自動登録]が[OFF]に設定されます。

**2　[新規登録]または[顔画像追加登録]をタッチする**

| | |
|---|---|
| **新規登録** | ● すでに6人登録されているときは、登録人物の一覧が表示されます。入れ換える人物を選んでください。 |
| **顔画像追加登録** | 登録済みの人物に顔画像を追加登録します。<br>**追加登録する人物を選ぶ**<br>● すでに顔画像が３枚登録されている場合は、画像入れ換えの画面が表示されます。入れ換える顔画像を選んでください。 |

● 顔画像の追加登録や入れ換えを行ったあとは、自動的に撮影画面に戻ります。

**3　「新規登録」の手順6以降の操作を行う**

**お知らせ**

● 登録画面がなかなか表示されない場合は、同じ環境や表情で撮影すると表示されやすくなります。

● 登録したにもかかわらず認証されない場合は、その場で撮影メニューの[個人認証]から登録し直すと認証されやすくなります。

● すでに登録した人物に対して登録画面が表示される場合は、そのまま追加登録を行うと認証されやすくなります。

● フラッシュ撮影された画像が登録されると、認証されにくくなる場合があります。

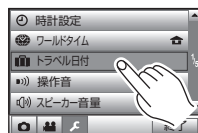
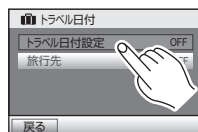
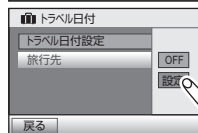
# 旅行先で便利な機能（トラベル日付/ワールドタイム）

撮影モード：iA P A S M SCN

## 旅行の経過日数を記録する（トラベル日付）

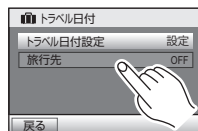
旅行の出発日や旅行先を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）などが記録されます。記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み]（P113）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。
- **あらかじめ[時計設定]（P20）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

**1** セットアップメニューから[トラベル日付]を選ぶ（P23）

**2** [トラベル日付設定]をタッチする

**3** [設定]をタッチする

**4** 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で出発日を設定し、[決定]をタッチする

**5** 年・月・日をタッチして[▲]/[▼]で帰着日を設定し、[決定]をタッチする

- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[決定]をタッチしてください。

**6** [旅行先]をタッチする

# 旅行先で便利な機能(トラベル日付/ワールドタイム)(つづき)

撮影モード：iA P A S M SCN

## 7 [設定]をタッチする

## 8 旅行先を入力する

- 文字入力の方法については、100ページの「文字を入力する」をお読みください。

## 9 [戻る]をタッチしてメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

## 10 撮影する

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。

### ■ トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順**3**、**7**の画面で[OFF]をタッチして、手順 **9** の操作を行ってください。
また、手順**3**で[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。

### お知らせ

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。
  ワールドタイム(P85)を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
- トラベル日付を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を[設定]にしても表示されません。
- 出発日より前は、オレンジ色で－(マイナス)付きで表示され、日付情報は記録されません。
- トラベル日付が白色で－(マイナス)付きで表示される場合は[ホーム]と[旅行先]との間に、日付をまたぐ時差があります。(記録されます)
- [AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]を設定できません。
- 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。
- インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

## 海外旅行先の日時を記録する（ワールドタイム）

旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

● **あらかじめ[時計設定]（P20）で、現在の時刻を合わせておいてください。**

### 1 セットアップメニューから[ワールドタイム]を選ぶ

● お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。[設定]をタッチして、手順**3**の画面から設定してください。

### 2 [ホーム]（お住まいの地域）をタッチする

### 3 [◀]/[▶]でお住まいの地域を選び、[決定]をタッチする

● ホームがサマータイム[ ]（夏時間）を採用している場合は、[ ]をタッチしてください。もう一度タッチすると元に戻ります。

● ホームでサマータイムを設定しても、現在の日時は進みません。時計設定を１時間進めてください。

### 4 [旅行先]をタッチする

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

### 5 [◀]/[▶]で旅行先のあるエリアを選び、[決定]をタッチする

● 旅行先がサマータイム[ ]（夏時間）を採用している場合は、[ ]をタッチしてください。（時計が１時間進みます）もう一度タッチすると元に戻ります。

### 6 [終了]をタッチしてメニューを終了する

**お知らせ**

● 旅行から戻ったら、手順**1**、**2**、**3**の操作を行って、設定をホームに戻してください。

● すでにホームを設定している場合は、旅行先のみ変更してお使いください。

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

● 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に[ ]が表示されます。

応用・撮影

# 撮影メニューを使う

| 項目 | 設定･お知らせ |
|---|---|
| 画像横縦比<br><br>プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。 | 使えるモード: P A S M SCN<br><br>[4:3]: 4:3テレビの横縦比<br>[3:2]: 一般のフィルムカメラの横縦比<br>[16:9]: ハイビジョンテレビなどの横縦比<br>[1:1]: 正方形横縦比<br><br>[4:3]設定時 [3:2]設定時 [16:9]設定時 [1:1]設定時<br><br>●プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P153) |
| 記録画素数<br><br>記録画素数を設定します。画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。 | 使えるモード: iA P A S M SCN<br><br>画像横縦比: [4:3]のとき<br><br>(下表参照)<br><br>画像横縦比: [3:2]のとき<br><br>(下表参照) |

画像横縦比: [4:3]のとき

| 項目 | 記録画素数 |
|---|---|
| 14M (14M) | 4320×3240画素 |
| 10M (10M EZ)※ | 3648×2736画素 |
| 7M (7M EZ)※ | 3072×2304画素 |
| 5M (5M EZ) | 2560×1920画素 |
| 3M (3M EZ)※ | 2048×1536画素 |
| 0.3M (0.3M EZ) | 640×480画素 |

画像横縦比: [3:2]のとき

| 項目 | 記録画素数 |
|---|---|
| 12.5M (12.5M) | 4320×2880画素 |
| 9M (9M EZ)※ | 3648×2432画素 |
| 6M (6M EZ)※ | 3072×2048画素 |
| 4.5M (4.5M EZ)※ | 2560×1712画素 |
| 2.5M (2.5M EZ)※ | 2048×1360画素 |
| 0.3M (0.3M EZ)※ | 640×424画素 |

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>記録画素数<br>(つづき)</td><td>
画像横縱比:[16:9]のとき

| 項目 | 記録画素数 |
|---|---|
| 10.5M(10.5M) | 4320×2432画素 |
| 7.5M(7.5M EZ)※ | 3648×2056画素 |
| 5.5M(5.5M EZ)※ | 3072×1728画素 |
| 3.5M(3.5M EZ)※ | 2560×1440画素 |
| 2M(2M EZ)※ | 1920×1080画素 |
| 0.2M(0.2M EZ)※ | 640×360画素 |

画像横縦比:[1:1]のとき

| 項目 | 記録画素数 |
|---|---|
| 10.5M(10.5M) | 3232×3232画素 |
| 7.5M(7.5M EZ)※ | 2736×2736画素 |
| 5.5M(5.5M EZ)※ | 2304×2304画素 |
| 3.5M(3.5M EZ)※ | 1920×1920画素 |
| 2.5M(2.5M EZ)※ | 1536×1536画素 |
| 0.2M(0.2M EZ)※ | 480×480画素 |

※インテリジェントオートモード時は設定できません。<br>
●EZとは「Ex. optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。<br>
●デジタル画像は画素という点が集まって作られています。画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコンの画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。<br>
画素が少ない(粗い) 画素が多い(きめ細かい)<br>
※画像は効果を説明するためのイメージです。<br>
●画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。<br>
●ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。<br>
●被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。<br>
●記録可能枚数については、160ページをお読みください。
</td></tr>
<tr><td>クオリティ<br><br>画像を保存するときの圧縮率を設定します。</td><td>
使えるモード: P A S M SCN<br>
[ファイン]: ファイン(画質を優先するとき)<br>
[スタンダード]: スタンダード(標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき)<br>
●記録可能枚数については、160ページをお読みください。
</td></tr>
</table>

# 撮影メニューを使う（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定･お知らせ</th></tr>
<tr><td>ISO ISO感度<br><br>光に対する感度(ISO感度)を設定できます｡数値を高く設定すると､暗い場所でも明るく撮ることができます｡</td><td>

使えるモード： P A S M

[AUTO]､[iISO]､[100]､[200]､[400]､[800]､[1600]

| ISO感度 | 100 ⇔ | 1600 |
|---|---|---|
| 撮影場所(おすすめ) | 明るいとき(屋外) | 暗いとき |
| シャッタースピード | 遅くなる | 速くなる |
| ノイズ | 少ない | 多い |

| ISO感度 | 設定内容 |
|---|---|
| AUTO | 明るさに応じて､自動的にISO感度を調整します｡ |
| iISO (インテリジェント) | 被写体の動きと明るさに応じて､ISO感度を調整します｡ |
| 100/200/400/800/1600 | それぞれの ISO 感度に固定します｡ |

**iISO(インテリジェントISO感度コントロール)とは**

被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して､被写体のブレをおさえます｡

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず､全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します｡実際のシャッタースピードは再生画像の情報表示でご確認ください｡

- [AUTO]を選ぶと､明るさに応じて最大[ISO400](フラッシュ使用時は[ISO1600])までの範囲で自動的に設定します｡
- [iISO]を選ぶと､明るさに応じて最大[ISO1600]までの範囲で自動的に設定します｡
- 動画撮影中は ISO 感度は [AUTO] の動作になります｡また､[ISO感度上限設定] は機能しません｡
- ISO感度を高い数値に設定するほど､被写体ブレをおさえる効果が得られますが､ノイズは増加します｡
- フラッシュで撮影できる範囲については､50ページをお読みください｡
- [iISO]を選んでも､明るさや被写体の動きの速さによっては､被写体ブレをおさえられない場合があります｡
- 動いている被写体が小さいときや動いている被写体が画面の端にあるとき､シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したときは､動きを検出できないことがあります｡
- シーンモードの [スポーツ]､[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]､[ペット]､[フラッシュ連写] では[iISO]に固定されます｡
- シャッター優先AEまたはマニュアル露出モード時は､[iISO] は選択できません｡
- ノイズが気になるときは､ISO感度を低くするか､[画質調整]の[ノイズリダクション]をプラス方向にする､または[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします｡(P97)

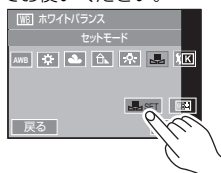
</td></tr>
</table>

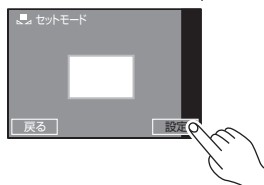
撮影メニューの設定方法はP23へ

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| ISO<br>ISO 感度上限設定<br><br>被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適なISO感度を設定します。 | 使えるモード：P A S M<br>[AUTO]、[200]、[400]、[800]、[1600]<br>●ISO感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレをおさえる効果が得られますが、ノイズは増加します。<br>●ISO感度が [AUTO] または [ISO] 時に働きます。 |
| WB ホワイトバランス<br><br>太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[AWB]：自動調整<br>[☼]：晴天の屋外での撮影時<br>[☁]：曇りの屋外での撮影時<br>[⌂]：屋外の晴天下の日陰での撮影時<br>[☀]：白熱灯下での撮影時<br>[■]：[SET]で設定した値を使用<br>[K]：あらかじめセットしている色温度設定を使用<br>●蛍光灯下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。<br>●電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）<br>●以下のシーンモードでは、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。<br>・[風景]　・[夜景&人物]　・[夜景]<br>・[手持ち夜景]　・[料理]　・[パーティー]<br>・[キャンドル]　・[夕焼け]　・[フラッシュ連写]<br>・[星空]　・[花火]　・[ビーチ]<br>・[雪]　・[空撮]　・[サンドブラスト] |

## ■ 手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

**1　[ ■ ]を選び、[ SET ]をタッチする**

**2　白い紙など白いものだけを枠内に写し、[設定]をタッチする**

●被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。

# 撮影メニューを使う（つづき）

## ■ ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

**1　ホワイトバランスから[AWB]/[☼]/[☁]/[⌂]/[☀]/[]/[K]を選び、[WB±]をタッチする**

**2　ホワイトバランス微調整枠内をタッチして、微調整する**

A（アンバー：オレンジ系）
B（ブルー：青系）
G＋（グリーン：緑系）
M－（マゼンタ：赤系）

**3　[決定]をタッチする**

**4　[決定]をタッチしてメニュー画面に戻る**

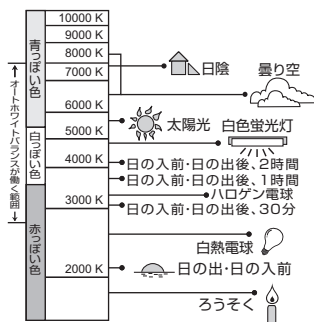
**5　[終了]をタッチしてメニューを終了します。**

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

### お知らせ

- ホワイトバランスをA（アンバー）またはB（ブルー）方向に微調整すると、液晶モニターに表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG+（グリーン）またはM−（マゼンタ）方向に微調整すると、液晶モニターに表示されるホワイトバランスアイコンに[+]（グリーン）または[−]（マゼンタ）が表示されます。
- ホワイトバランスを微調整しない場合は、中心点を選んでください。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 電源スイッチを[OFF]にしても設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したとき、また[K]で色温度を設定し直したときは、微調整レベルは標準（中心点）に戻ります。
- [カラーエフェクト]の[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]時はホワイトバランス微調整を設定できません。

## ■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

## ■ 色温度設定について

撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。色温度とは、光の色を数値[単位:K(ケルビン)]で表したもので、温度が高いほど青っぽく、低いほど赤っぽくなります。

**1** [ ] を選び、[色温度設定] をタッチする

**2** 色温度設定バーをタッチする
- [▲]/[▼] をタッチしても数値を設定することができます。
- [2500K] ～ [10000K] まで設定できます。

**3** [決定] をタッチする

**4** [決定]をタッチしてメニュー画面に戻る

**5** [終了]をタッチしてメニューを終了します。
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 個人認証<br><br>人物の顔を特定し、個人認証機能が働きます。 | 使えるモード: iA P A S M SCN<br><br>[OFF]、[ON]、[登録]、[設定]<br><br>● 詳しくは、78ページをお読みください。 |
| オートフォーカスモード<br><br>被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを選択できます。 | 使えるモード: P A S M SCN<br><br>[ ](顔認識): 人の顔を自動的に検知します。(最大15個)認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。<br>[ ](追尾AF): 指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。(動体追尾)<br>[ ](11点)※: 最大11点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。<br>[ ](1点高速)※: 中央のAFエリア内に高速でピントを合わせます。<br>[ ](1点): 中央のAFエリア内にピントを合わせます。<br>[ ](スポット)※: 限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。<br>※動画撮影中は [ ] になります。 |

# 撮影メニューを使う（つづき）

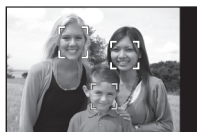
| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| オートフォーカスモード<br>（つづき） | ●[ ]でAFエリアが複数(最大11個)点灯した場合は、点灯したすべてのAFエリアにピントが合っています。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を[ ]、[ ]または[ ]に切り換えてください。<br>●[ ]に設定している場合は、ピントが合うまでAFエリアは表示されません。<br>●[ ]でピントが合いにくいときは、[ ]または[ ]に切り換えてください。<br>●人物以外の被写体をカメラが誤って顔と認識する場合は、オートフォーカスモードを[ ]以外に設定してください。<br>●[個人認証]が[ON]のときは[ ]に固定されます。<br>●シーンモードの[パノラマアシスト]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[星空]、[花火]、[空撮] では[ ]に設定できません。<br>●タッチシャッター機能(P38)を使って撮影した場合は、[ ]になります。 |

## ■ (顔認識)について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

●以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[ ]に切り換わります。
- ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
- ・顔の陰影が少ない
- ・動きが速い
- ・被写体が人物以外である
- ・手ブレしている
- ・デジタルズーム使用時

## ■ (1点高速)について

●他のオートフォーカスモードより速くピントを合わせることができます。
●シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

## ■ (追尾AF)を設定する

**1 被写体を選び、タッチする**

●AFエリアが黄色になり被写体がロックされます。
被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。(動体追尾)
●[ OFF ]をタッチすると、ロックは解除されます。

**2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する**

## 撮影メニューの設定方法はP23へ

### お知らせ

- 以下の場合など、撮影状況によっては、AFロックに失敗したり、動体追尾で被写体を見失ったり、他の被写体を追尾することがあります。
  - ・被写体が小さすぎる
  - ・動きが速い
  - ・手ブレしている
  - ・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
  - ・類似した色の他の被写体や背景があるとき
  - ・ズーム使用時
- AFロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤く点滅したあと消えます。もう一度AF ロックをやり直してください。
- AFロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[▦]で撮影されます。
- 追尾AF設定時は、[個人認証]は働きません。
- 追尾AF動作中は、[Q·AF]は働きません。
- タッチシャッターを [ ]にすると、追尾AFは解除されます。
- 以下の場合、[ ] に設定できません。
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ハイダイナミック]
  - ・[カラーエフェクト] の [ 白黒 ]、[ セピア ]、[ クール ]、[ ウォーム ]
- ピントが合う範囲は3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞です。

# 撮影メニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| プリAF<br><br>設定に応じて、カメラがピント合わせを自動的に行います。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]<br>[Q-AF]（クイックAF）：　画面に [Q-AF] が表示されます。<br>[C-AF]（コンティニュアスAF）※：画面に [C-AF] が表示されます。<br>※動画撮影時は、[C-AF]（AF連続動作）のみ設定できます。<br><br>**Q-AF/C-AFについて**<br>[Q-AF]はカメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。[C-AF]は常時ピント合わせを行います（AF連続動作）。カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。<br><br>● バッテリーの消耗は早くなる場合があります。<br>● 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。<br>● 追尾 AF 動作中は [Q-AF] は働きません。<br>● シーンモードの [夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]、[花火] 時は、[OFF] に固定されます。<br>● [C-AF] に設定しているとき、ズームレバーを W端から T端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。 |
| 測光モード<br><br>明るさを測る測光方式を切り換えることができます。 | 使えるモード：P A S M<br>[(・)]（マルチ測光）：　画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。<br>[( )]（中央重点測光）：　画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。<br>[・]（スポット測光）：　スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。<br>スポット測光ターゲット<br><br>● [(・)] 選択時、[オートフォーカスモード] を [顔] に設定すると、人の顔に合わせて露出を調整します。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 暗部補正<br>（インテリジェント暗部補正）<br>背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。 | 使えるモード：P A S M<br>[OFF]、[弱]、[中]、[強]<br>● [ISO感度]が[ISO100]のときでも、[暗部補正]有効時に撮影すると、[ISO感度]は[ISO100]より大きくなることがあります。<br>● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。<br>● [暗部補正]有効時は、画面の[ ]が黄色になります。<br>● [弱]、[中]、[強]は効果の最大範囲を表します。 |
| MIN 下限シャッター速度<br>下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。 | 使えるモード：P<br>[AUTO]、[1/250]、[1/125]、[1/60]、[1/30]、[1/15]、[1/8]、[1/4]、[1/2]、[1]<br>（下表参照）<br>● 通常は、[AUTO]に設定してお使いください。（[AUTO]以外を選択した場合、画面に[MIN]が表示されます）<br>● [AUTO]を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大1秒になります。<br>● [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。<br>● [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをおすすめします。適正露出でないとき、シャッターボタンを半押しすると[MIN]が赤く点滅します。 |

| 下限シャッター速度設定 | 1/250秒 ⇔ 1秒 | |
|---|---|---|
| 明るさ | 暗くなる | 明るくなる |
| 手ブレ | 少ない | 多い |

# 撮影メニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定･お知らせ |
| --- | --- |
| I.R超解像<br><br>超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。 | 使えるモード：PASM<br>[OFF]、[ON]<br>[iA ZOOM]：[超解像]が働き、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。<br>●iAズームについては40ページをお読みください。<br>●インテリジェントオートモード(ブレピタモード[OFF]設定時)時は[iA ZOOM]に固定されます。<br>●シーンモードの[手持ち夜景]、[高感度]では[ON]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]では[OFF]、それ以外のシーンモードでは[iA ZOOM]に固定されます。 |
| デジタルズーム<br><br>光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。 | 使えるモード：PASMSCN<br>[OFF]、[ON]<br>●詳しくは、40ページをお読みください。<br>●ズーム時に手ブレが気になるときは、[手ブレ補正]を[AUTO]または[MODE1]に設定することをおすすめします。<br>●ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。 |
| カラーエフェクト<br><br>画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。 | 使えるモード：iAPASM<br>[標準]：標準的な設定<br>[Happy]※1：明るさと鮮やかさが強調された画像<br>[白黒]：白黒画像<br>[セピア]：セピア色の画像<br>[クール]※2：青っぽい画像<br>[ウォーム]※2：赤っぽい画像<br>※ 1 インテリジェントオートモード時のみ設定できます。<br>※ 2 通常撮影モード時のみ設定できます。<br>●インテリジェントオートモード時は、別に設定することができます。 |

| 項目 | 設定・お知らせ |
|---|---|
| 画質調整<br><br>撮影する画像の画質を調整します。 | 使えるモード：PASM<br><br>[コントラスト]：<br>[+]：画像の明暗差を大きくします。<br>[−]：画像の明暗差を小さくします。<br>[シャープネス]：<br>[+]：画像の輪郭を強調します。<br>[−]：画像の輪郭を柔らかくします。<br>[彩度]：<br>[+]：派手で鮮やかな色になります。<br>[−]：落ち着いた色になります。<br>[ノイズリダクション]：<br>[+]：ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。<br>[−]：ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。<br><br>● 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整して撮影することをおすすめします。 |
| 手ブレ補正<br><br>撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。 | 使えるモード：PASM SCN<br>[OFF]<br>[AUTO]：撮影状況に応じて自動的に最適な手ブレ補正をします。<br>[MODE1]：撮影モード時、常に手ブレを補正します。<br>[MODE2]：シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。<br><br>● 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。<br>・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき<br>・デジタルズーム領域<br>・動きのある被写体を追いながら撮影するとき<br>・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき<br>シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。<br>● シーンモードの[自分撮り]では[MODE2]、シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。<br>● 動画撮影時またはシーンモードの[手持ち夜景]では、[MODE1]に固定されます。<br>● 連写設定時は、[OFF]または[MODE1]のみ設定できます。 |

# 撮影メニューを使う（つづき）

| 項目 | 設定･お知らせ |
| --- | --- |
| 音声記録<br><br>撮影と同時に音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]：録音されません。<br>[ON]：画面に[ ]が表示されます。<br>撮影と同時に録音を開始します。<br>（約５秒後に終了します）<br>●録音中に[中止]をタッチすると中止されます。<br>●音声は本機内蔵のマイクより録音されます。<br>●本機で記録した音声は他機で再生できない場合があります。<br>●本機で撮影した音声付き写真を、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ（LUMIX）で再生することはできません。<br>●以下の場合は、[音声記録]の設定はできません。<br>・オートブラケット撮影時<br>・連写時<br>・シーンモードの[パノラマアシスト]、[フラッシュ連写]、[星空] |
| AF補助光<br><br>撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]：点灯しません。<br>[ON]：暗い場所での撮影時、シャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。<br>（大きなAFエリアが表示されます）<br>●補助光の有効距離は1.5 mです。<br>●暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。<br>●シーンモードの[自分撮り]、[風景]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]では、AF補助光は[OFF]に固定されます。<br>AF補助光ランプ |
| デジタル赤目補正<br><br>赤目軽減（[ ]、[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]、[ON]<br>●赤目の状態によっては補正できない場合があります。<br>●[ON]に設定すると、アイコンに[ ]が表示されます。<br>●詳しくは、49ページをお読みください。 |
| 時計設定<br><br>年･月･日･時刻を設定、または変更することができます。 | セットアップメニューの[時計設定]（P25）と同じ機能です。 |

# 動画撮影メニューを使う

動画撮影メニューの設定方法はP23へ

| 項目 | 設定・お知らせ |
| --- | --- |
| 撮影モード<br><br>動画のデータ形式を設定します。 | 使えるモード：iA P A S M SCN<br>[AVCHD(1080i)]、[AVCHD(720p)]、[MOTION JPEG]<br>●詳しくは、75ページをお読みください。 |
| 画質設定<br><br>記録する動画の画質を設定します。 | 使えるモード：iA P A S M SCN<br>撮影モード：[AVCHD(1080i)]のとき<br>[FSH]、[FH]<br>撮影モード：[AVCHD(720p)]のとき<br>[SH]、[H]<br>撮影モード：[MOTION JPEG]のとき<br>[HD]、[WVGA]、[VGA]、[QVGA]<br>●詳しくは、75ページをお読みください。 |
| C-AF AF連続動作<br><br>一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]、[ON]<br>●[OFF]に設定時、動画記録が開始されるまで時間がかかる場合があります。<br>●動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF]に設定してください。<br>●シーンモードの[星空]、[花火]では[OFF]に固定されます。 |
| 風音低減<br><br>音声記録時の風雑音を記録しにくくします。 | 使えるモード：P A S M SCN<br>[OFF]、[ON]<br>●風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なります。<br>●音声付き写真時は、風音低減は働きません。 |

# 文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。
（ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます）
指で操作しにくい場合は、タッチペン（付属）をお使いください。

## 1 入力画面を表示する

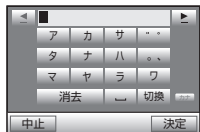
- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前]（P67、P68）
  - ・[個人認証]の[名前]（P80）
  - ・[トラベル日付] の[旅行先]（P83）
  - ・[タイトル入力]（P111）

## 2 文字を入力する

- [切換]をタッチすると、[かな]（ひらがな）、[カナ]（カタカナ）、[A]/[a]（アルファベット）、[1]（数字）、[&]（記号）に文字を切り換えることができます。
- 入力位置のカーソルは、[◀]をタッチすると左に、[▶]をタッチすると右に移動できます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、[▶]をタッチしてカーソルを移動してください。
- 空白を入れたいときは[␣]、入力した文字を消去したいときは[消去]をタッチしてください。
- 文字入力の途中で編集を中止したい場合、[中止]をタッチしてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・[かな]/[カナ]：　最大15文字（[個人認証]の名前設定時は最大6文字）
  - ・[A]/[a]/[1]/[&]※：最大30文字（[個人認証]の名前設定時は最大9文字）
  
  ※[＼]、[「]、[」]、[・]、[ー]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。

## 3 [決定]をタッチして終了する

- それぞれの設定画面に戻ります。

| 文字入力例 |
|---|
| 「パリ」と入力する場合：<br>❶ [切換]をタッチし、カナに切り換える<br>❷ 「ハ」をタッチする<br>❸ 「゛゜」を2回タッチし、「パ」にする<br>❹ 「ラ」を 2回タッチする<br>❺ [決定]をタッチする |

### お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。

# 連写画像を再生する

再生モード：[▶]

## ■ 連写グループについて

連写、フラッシュ連写で撮影された画像は、連写アイコン[連写]が付いた連写グループとして、まとめて記録されます。

連写アイコン

- グループ単位での連続再生、マルチ再生ができます。
- グループ単位での消去や編集ができます。（例えば、[連写]が付いた連写グループを消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）
- グループ内の画像を 1 枚ずつ消去･編集することもできます。
- 写真の合計が、50000枚を超えると、それ以降に撮影された連写画像はグループ化されません。
- 他機で撮影した連写画像は、連写グループ画像として認識されない場合があります。
- 時計設定を行わずに撮影した場合、連写画像はグループ化されません。

### 連写画像を連続再生する

**1** 連写アイコン[連写]が付いた画像を選び、[▶]をタッチする

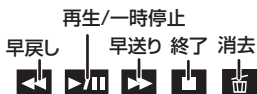
- 連写画像が連続再生されます。

**2** [■]をタッチして連続再生を終了する

- 連続再生を終了すると通常再生に戻ります。

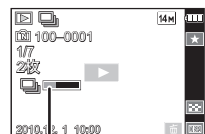
## ■ 連写グループ再生中の操作

・再生中に[▶▶]をタッチすると早送り再生（[◀◀]をタッチすると早戻し再生）になります。
・一時停止するとズーム操作ができます。
・一時停止して、[▦]をタッチすると、連写グループ内の画像がマルチ再生されます。

再生/一時停止
早戻し　早送り　終了　消去※1

**画面を水平にドラッグして画像を選ぶ**※1
次の画像へ送る:右から左にドラッグ
前の画像に戻す:左から右にドラッグ
※1　一時停止中のみ操作できます。

## ■ 連写グループ情報の再取得について

パソコン上で内蔵メモリー、パソコン上または他機でカードに保存されている画像を消去したりファイル名を変更したりすると、再度電源スイッチを入れたときに、カメラが自動的に新しい情報を取得して、連写グループを再構成します。情報取得中は再生画面に情報取得中アイコン[連写▬]が表示されます。その際、消去、再生モード※2または再生メニュー※3は使えません。

※2 [カレンダー検索]（P106）を除く。
※3 [回転表示]（P118）を除く。

情報取得中アイコン

**お知らせ**

- 情報取得できていない画像は連写グループではなく、1 枚の画像として認識されます。
- 情報取得中に電源スイッチを [OFF] にした場合、それまでに取得された情報は保存されます。再度電源を入れると情報取得が継続して再開されます。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。

# 連写画像を編集する

再生モード：[再生]

連写グループ内の画像を1枚ずつまたはグループ単位(グループ内すべての画像)で編集できます。

## ■ 連写グループ内の画像を 1 枚ずつ編集する

- 以下の編集メニューが使えます。

・[タイトル入力](P111)、[文字焼き込み](P113)、[リサイズ(縮小)](P115)、[トリミング(切抜き)](P116)、[傾き補正](P117)、[お気に入り](P118)、[プリント設定](P120)、[プロテクト](P122)、[画像コピー](P124)

連写画像の連続再生中に画像を選ぶ場合(連写再生メニュー)

**1** 連続再生中に画像を選び、[▶/II]をタッチして一時停止する

**2** [MENU]を押す

**3** 項目を選ぶ

**4** [1枚設定]または[複数設定]を選ぶ

- [トリミング(切抜き)]、[傾き補正]を選択した場合は、[1枚設定]または[複数設定]は選択できません。

**5** 画像を選び、編集を行う

**それぞれの編集方法について詳しくは、「再生メニューを使う」をお読みください。(P111)**

通常再生中に画像を選ぶ場合

**1** 通常再生中に[MENU]を押す

**2** 再生メニューから項目を選ぶ

**3** [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選ぶ

- [トリミング(切抜き)]、[傾き補正]を選択した場合は、[連写内複数設定]は表示されません。
- 連写アイコン[連写]が付いた連写グループのみが、一覧表示されます。

**4** 連写グループを選ぶ

- グループ内の画像が表示されます。

**5** 画像を選び、編集を行う

**それぞれの編集方法について詳しくは、「再生メニューを使う」をお読みください。(P111)**

## ■ 連写グループ単位で編集する

**連写グループ内のすべての画像を一括で編集できます。**

● 連写グループに対して以下の編集メニューが使えます。

・[タイトル入力](P111)、[文字焼き込み](P113)、[リサイズ(縮小)](P115)、[お気に入り](P118)、[プリント設定](P120)、[プロテクト](P122)、[認証情報編集](P123)、[画像コピー](P124)

**1** 通常再生画面で [MENU] を押す

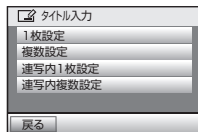
**2** 再生メニューから項目を選ぶ

**3** [1 枚設定] または [複数設定] を選ぶ

**4** 連写アイコン[]が付いた画像を選び、編集を行う

● 手順**3**で[複数設定]を選ぶと、連写グループとそれ以外の画像を複数選択できます。

連写アイコン

**それぞれの編集方法について詳しくは「再生メニューを使う」をお読みください。**

## ■ 連写グループ再生時の[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト]アイコン表示について

連写グループ内の一部の画像に[お気に入り](P118)、[プリント設定](P120)、[プロテクト](P122)設定をすると、グループの先頭画面に下記のアイコンが表示されます。

| 連写グループ先頭画面 | [ お気に入り ] | [ プリント設定 ] | [ プロテクト ] |
|---|---|---|---|
| 100–0001 1/7 2枚 Ⓐ | 100–0001 1/7 2枚 2 Ⓑ | 14M 2 6 Ⓑ Ⓒ | 100–0001 1/7 2枚 2 Ⓑ |

Ⓐ 連写グループ内に保存されている全画像の合計枚数
Ⓑ 連写グループ内で設定された画像の枚数
Ⓒ 連写グループ全体で設定されたプリント枚数
● 例えば、2 枚の連写画像それぞれに 3 枚ずつプリント設定しているときは 6 と表示されます。

### お知らせ

● [トリミング(切抜き)]、[傾き補正] では連写グループ単位での一括編集はできません。

● [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]、[傾き補正]を行った画像は、連写画像とは別に新規保存されます。

● 1 枚を残した状態で、それ以外の画像をすべて消去すると、連写グループではなく1枚の画像として扱われます。

# 画像を順番に再生する（スライドショー）

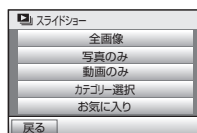
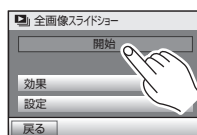
再生モード：▶

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみ、カテゴリーで分類した画像のみ、お気に入りに設定した画像のみをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。

**1** 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

**2** [スライドショー]をタッチする

**3** 項目を選び、タッチする

- [お気に入り]はセットアップメニューの[お気に入り機能](P29)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ、選択できます。
- [カテゴリー選択]時は、再生したいカテゴリーをタッチしてください。
  カテゴリーの詳細については107ページをお読みください。

**4** [開始]をタッチする

**5** [■]をタッチしてスライドショーを終了する

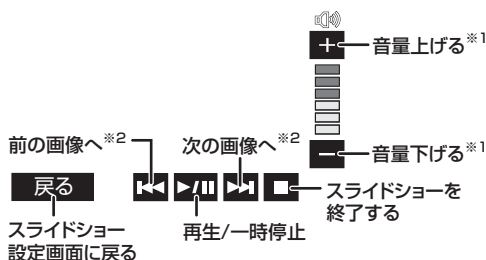
- スライドショーを終了すると、通常再生になります。

## ■ スライドショー中の操作

**1** 画面をタッチしてコントロールパネルを表示する

- 約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

コントロールパネル

**2** コントロールパネルをタッチして操作する

※1 ズームレバーでも音量を調整することができます。
※2 一時停止中および動画または連写グループ再生中のみ操作できます。

## ■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

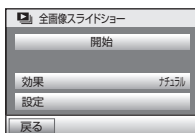
**[効果]**

画像切り換え時の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

- [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
- [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにおすすめの効果で再生します。
- [動画のみ]または[カテゴリー選択]の[ ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
- 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の [ 効果 ] は動作しません。

**[設定]**

再生間隔やリピートを設定できます。

| 項目 | 設定 |
| --- | --- |
| **[再生間隔]** | 1 秒、2 秒、3 秒、5 秒 |
| **[リピート]** | OFF、ON |
| **[音設定]** | [OFF]: 音を出しません。<br>[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画･音声付き写真再生時は音声を再生します。<br>[音楽]: 音楽を再生します。<br>[音声]: 音声(動画･音声付き写真のみ)を再生します。 |

- [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。

**お知らせ**

- 音楽を追加することはできません。

# 画像を選んで再生する

再生モード：[▶]

## カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

**1** 撮影/再生切換スイッチを[(▶)]にし、[MODE]を押す

**2** [カレンダー検索]をタッチする

● ズームレバーを数回[▪▪](W)側に回しても、カレンダー検索表示画面にできます。(P42)

**3** [▲]/[▼]をタッチして再生したい月を選ぶ

● 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

● [▦]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

**4** 再生したい日付を選び、[決定]をタッチする

**5** 再生したい画像を選ぶ

● スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。

● [CAL]をタッチすると、カレンダー検索表示画面に戻ります。

● 連写アイコン[▭]が付いた画像を選ぶと、連写グループ内の画像がマルチ再生されます。

### お知らせ

● はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。

● 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。

● カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

● [時計設定]を行わずに撮影した場合、2010年1月1日に表示されます。

● [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

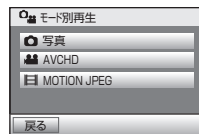
## モード別再生

[写真]、[AVCHD]または[MOTION JPEG]を選び、再生することができます。

**1** 撮影/再生切換スイッチを[(▶)]にし、[MODE]を押す

**2** [モード別再生]をタッチする

## 3 項目を選び、タッチする

## カテゴリー再生

シーンモードなどのカテゴリー(人物･風景･夜景など)を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。各カテゴリーごとに再生することができます。

## 1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

## 2 [カテゴリー再生]をタッチする

## 3 再生したいカテゴリーをタッチする

- 画像が見つかったカテゴリーのみ選択できます。
- 画像ファイルが多い場合は、検索に時間がかかることがあります。
- 検索中に[戻る]をタッチすると、途中で検索が中止されます。
- 分類されるカテゴリーは以下のとおりです。

| カテゴリー | シーンモードなどの撮影情報 |
|---|---|
| [個人認証アイコン] | 個人認証※ |
| [人物アイコン] | 人物、i人物、美肌、変身、自分撮り、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん、i赤ちゃん |
| [風景アイコン] | 風景、i風景、夕焼け、i夕焼け、空撮 |
| [夜景アイコン] | 夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景、手持ち夜景、星空 |
| [イベントアイコン] | スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮 |

| カテゴリー | シーンモードなどの撮影情報 |
|---|---|
| [赤ちゃんアイコン] | 赤ちゃん、i赤ちゃん |
| [ペットアイコン] | ペット |
| [料理アイコン] | 料理 |
| [トラベルアイコン] | トラベル日付 |
| [動画アイコン] | [AVCHD]、[MOTION JPEG] |
| [連写アイコン] | 連写、フラッシュ連写 |

※ 再生したい人物を選び、タッチして再生してください。
登録している人物でも、表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。
また、すでに登録している人物が複数写っている画像の場合には、登録順で1人だけに分類されます。

**お知らせ**

- 選択したカテゴリーにより使える再生メニューは異なります。

## お気に入り再生

[お気に入り]設定(P118)した画像を再生することができます。([お気に入り機能](P29)が[ON]で設定済みの画像があるときのみ)

## 1 撮影/再生切換スイッチを[▶]にし、[MODE]を押す

## 2 [お気に入り再生]をタッチする

# 動画/音声付き写真を見る

再生モード: [▶]

- 本機で再生できる動画/音声付き写真のファイル形式はQuickTime Motion JPEGまたはAVCHDです。
- 本機で再生できるAVCHD形式の動画は、本機で撮影した[AVCHD]動画および当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影したAVCHD形式([AVCHD Lite]を含む)の動画のみです。

## 動画

### 動画アイコン([ QVGA ]など)が付いた画像を選び、[ ▶ ]をタッチして再生する

- 再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
  例)1時間2分30秒のとき:1h2m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。

[MOTION JPEG]
動画アイコン

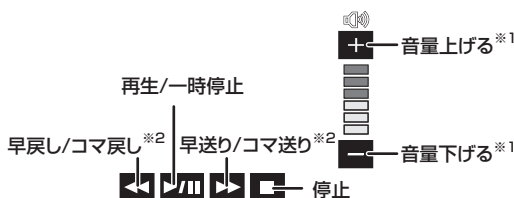
動画記録時間

[AVCHD]
動画アイコン

動画記録時間

### ■ 動画再生中の操作

**1** 画面をタッチしてコントロールパネルを表示する
- 約2 秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

**2** コントロールパネルをタッチして操作する

※ 1 ズームレバーでも音量を調整することができます。
※ 2 一時停止中のみ操作でき、以下のアイコンが表示されます。
コマ戻し:[ ◀II ]　コマ送り:[ II▶ ]

●早送り/早戻し再生について
・再生中に[ ▶▶ ]をタッチすると早送り再生([ ◀◀ ]をタッチすると早戻し再生)になります。
もう一度[ ▶▶ ]/[ ◀◀ ]をタッチすると、早送り/早戻し速度が速くなります。
(画面表示が ▶▶ から ▶▶▶ に変わります)
・[ ▶/II ]をタッチすると、通常再生に戻ります。
・大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

お知らせ
●本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM(付属)のソフトウェア「QuickTime」または「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」をご使用ください。
●パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG動画は、画質が粗くなったり、本機で再生できない場合があります。

## 音声付き写真

### 音声アイコン([ ♪ ])が付いた写真を選び、[ ▶ ]をタッチして再生する

●音声付き写真の作成方法は、[音声記録](P98)をお読みください。

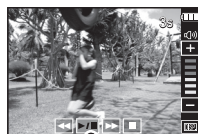
お知らせ
●スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの[スピーカー音量](P25)をお読みください。
●他機で撮影された音声付き写真は本機で再生できない場合があります。

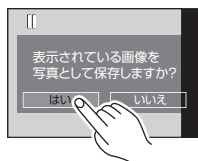
# 動画から写真を作成する

再生モード：[▶]

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

## 1 動画再生中に [▶/II] をタッチする

●動画が一時停止されます。

## 2 [ 保存 ] をタッチする

## 3 [はい] をタッチする

## 4 [ ■ ] をタッチして終了する

### 記録画素数

記録画素数は以下のとおりです。

| [MOTION JPEG] | 記録画素数 |
|---|---|
| [HD] / [WVGA] | 2 M (16:9) |
| [VGA] / [QVGA] | 0.3 M (4:3) |

| [AVCHD (1080i)] | 記録画素数 |
|---|---|
| [FSH] / [FH] | 2 M (16:9) |

| [AVCHD (720p)] | 記録画素数 |
|---|---|
| [SH] / [H] | 2 M (16:9) |

●[クオリティ] は [ ] になります。
●動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。

お知らせ

●他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。

# 再生メニューを使う

再生モード：▶

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

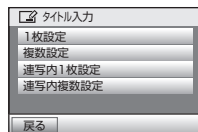
- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]または[傾き補正]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをおすすめします。

## タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P113)で撮影画像に焼き込むことができます。(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)

### 1 再生メニューから[タイトル入力]を選ぶ

### 2 項目を選び、タッチする

- [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選んだときは、連写グループを選び、手順**3**へ進んでください。

### 3 文字を入力したい画像を選ぶ

- すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

[1 枚設定]　　　[複数設定]

**[1 枚設定] 選択時**

**1　画面を水平にドラッグして画像を選ぶ**

**2　[決定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)

**[複数設定]選択時**

**1　画像をタッチして選ぶ(繰り返す)**

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**2　[実行]をタッチする**

### 4 文字を入力する(P100)

### 5 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [ 終了 ]をタッチしてメニューを終了します。

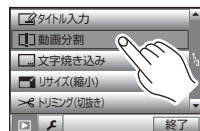
**お知らせ**

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 動画、プロテクトされた画像、他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

再生モード：▶

## 動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにおすすめです。**分割すると、元に戻すことができません。**

**1** 再生メニューから[動画分割]を選ぶ

**2** 画面を水平にドラッグして分割編集したい動画を選び、[決定]をタッチする

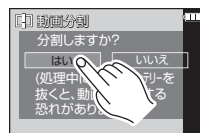
- 画像を選ぶ方法は42ページをお読みください。
- 動画が再生されます。

**3** 分割したい位置で[▶/II]をタッチする

- 動画が一時停止されます。
もう一度[▶/II]をタッチすると、続きから動画が再生されます。

**4** [✂]をタッチする

**5** [はい]をタッチする

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失する恐れがあります。

**6** [戻る]をタッチしてメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

### お知らせ

- 他機で撮影された動画は分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- [MOTION JPEG]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。[カレンダー検索]や[モード別再生]の[MOTION JPEG]で表示することをおすすめします。
- [AVCHD]動画の場合、画像の順番は変わりません。
- 以下の場合、動画分割はできません。
  - ・[お気に入り]設定された動画
  - ・プロテクトされた動画
  - ・撮影時間が短い動画

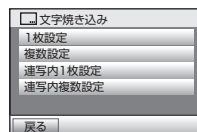
再生メニューの設定方法はP23へ

## 文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。[記録画素数が[3M]より大きい画像はリサイズ(縮小)されます]

### 1 再生メニューから[文字焼き込み]を選ぶ

### 2 項目を選び、タッチする

- [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選んだときは、連写グループを選び、手順**3**へ進んでください。

### 3 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[1枚設定]　　[複数設定]

**[1枚設定]選択時**

**1　画面を水平にドラッグして画像を選ぶ**

**2　[決定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)

**[複数設定]選択時**

**1　画像をタッチして選ぶ(繰り返す)**

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**2　[実行]をタッチする**

### 4 焼き込む項目を選ぶ

### 5 設定を選び、タッチする

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| [撮影日時] | [OFF]<br>[日付]: 年月日を焼き込みます。<br>[日時]: 年月日時分を焼き込みます。 |
| [名前] | [OFF]<br>[ ] (個人認証):[個人認証]で登録された名前を焼き込みます。<br>[ / ](赤ちゃん/ペット):<br>シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。 |
| [旅行先] | [OFF]<br>[ON]: [旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。 |
| [トラベル日付] | [OFF]<br>[ON]: [トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。 |
| [タイトル] | [OFF]<br>[ON]: [タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。 |

# 再生メニューを使う（つづき）

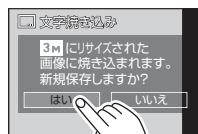
再生モード：[▶]

## 6 [決定]をタッチする

- 記録画素数が[3M]より大きい画像に文字焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。
  - ・[14M]/[10M]/[7M]/[5M] →[3M]（4:3）
  - ・[12.5M]/[9M]/[6M]/[4.5M]→[2.5M]（3:2）
  - ・[10.5M]/[7.5M]/[5.5M]/[3.5M]→[2M]（16:9）
  - ・[10.5M]/[7.5M]/[5.5M]/[3.5M] →[2.5M]（1:1）
- [顔認識]または[赤ちゃん/ペット]選択時、[月齢/年齢]も焼き込む場合は[はい]をタッチして手順**7**へ進んでください。

## 7 [はい]をタッチする

- 記録画素数が[3M]以下で撮影された画像の場合はリサイズ（縮小）されませんので、「新規保存しますか？」のメッセージだけが表示されます。

（例）

## 8 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

### お知らせ

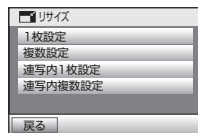
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- [0.3M]/[0.3M]/[0.2M]/[0.2M]の画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・動画
  - ・音声付き写真
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

## リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

### 1 再生メニューから[リサイズ(縮小)]を選ぶ

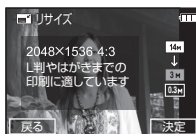
### 2 項目を選び、タッチする

- [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選んだときは、連写グループを選び、手順**3**へ進んでください。

### 3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]

**[1枚設定]選択時**

**1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)

**2 変更したいサイズをタッチして、[決定]をタッチする**

**[複数設定]選択時**

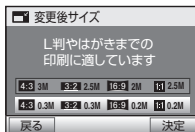
[複数設定]

**1 変更したいサイズをタッチして、[決定]をタッチする**

**2 画像をタッチして選ぶ(繰り返す)**

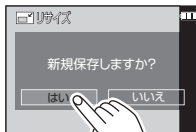
- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

**3 [実行]をタッチする**

応用・再生

### 4 [はい]をタッチする

### 5 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る※

※[複数設定]選択時は、自動的にメニュー画面に戻ります。

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

**お知らせ**

- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 動画、音声付き写真、文字焼き込みされた画像はリサイズ(縮小)できません。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

## ✂トリミング（切抜き）　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

### 1 再生メニューから[トリミング（切抜き）]を選ぶ

### 2 [1枚設定]または[連写内1枚設定]をタッチする

- [連写内1枚設定]を選んだときは、連写グループを選び、手順 **3** へ進んでください。

### 3 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は42ページをお読みください。

### 4 切り抜く部分を選ぶ

[🔍+]をタッチ：　拡大
[🔍−]をタッチ：　縮小
ドラッグ(P13)：　移動

- ズームレバーでも拡大または縮小をすることができます。

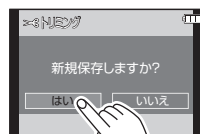
縮小　拡大

位置を移動

### 5 [決定]をタッチする

### 6 [はい]をタッチする

### 7 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

**お知らせ**

- トリミング（切抜き）を行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミング（切抜き）を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング（切抜き）できない場合があります。
- 動画、音声付き写真、文字焼き込みされた画像はトリミング（切抜き）できません。
- トリミング（切抜き）を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューの設定方法はP23へ

## 傾き補正

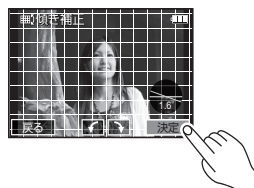
画像の微妙な傾きを修正することができます。

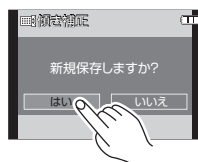
**1** 再生メニューから[傾き補正]を選ぶ

**2** [1枚設定]または[連写内1枚設定]をタッチする
- [連写内1枚設定]を選んだときは、連写グループを選び、手順 **3** へ進んでください。

**3** 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする
- 画像を選ぶ方法は42ページをお読みください。

**4** [ ]/[ ]をタッチして傾きを調整し、[決定]をタッチする

: 時計回りに回転します。
: 反時計回りに回転します。
- 最大 2°まで傾きを補正できます。

**5** [はい]をタッチする

**6** [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る
- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

お知らせ
- 傾き補正を行うと、画質が粗くなります。
- 傾き補正を行うと、元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- 他機で撮影された画像は傾き補正できない場合があります。
- 動画、音声付き写真、文字焼き込みされた画像は傾き補正できません。
- 傾き補正を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

# 再生メニューを使う（つづき）

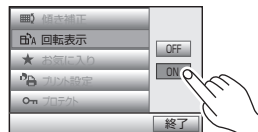
再生モード：▶

## 回転表示

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させることができます。

### 1 再生メニューから［回転表示］を選ぶ

### 2 ［ON］をタッチする

- ［OFF］に設定すると、画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については、42ページをお読みください。

### 3 ［終了］をタッチしてメニューを終了する

**お知らせ**

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。［Exifとは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです］
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。
- マルチ再生（P42）時は、回転表示されません。

## ★お気に入り

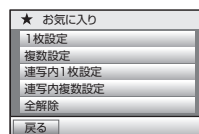
**セットアップメニューの［お気に入り機能］が［ON］のときのみ使えます。**

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみ再生する。（［お気に入り再生］）
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。（［★以外全消去］）
- 連写グループ再生時のアイコン表示について詳しくは、103ページの「連写グループ再生時の［お気に入り］/［プリント設定］/［プロテクト］ アイコン表示について」をお読みください。

### 1 再生メニューから［お気に入り］を選ぶ

### 2 項目を選び、タッチする

- ［連写内1枚設定］または［連写内複数設定］を選んだときは、連写グループを選び、手順**3**へ進んでください。
- ［全解除］選択時は、119 ページの「［お気に入り］設定を全解除する」をお読みください。

## 3 画像を選ぶ

- すでにお気に入りが登録されている画像には[★]が表示されます。

[１枚設定]　　[複数設定]

**[１枚設定]選択時**
**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)
- この手順を繰り返します。
- [解除]をタッチすると設定が解除されます。

**[複数設定]選択時**
**お気に入りに設定したい画像をタッチする**

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

## [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

### ■ [お気に入り]設定を全解除する

**1**　**手順2で[全解除]をタッチする**
**2**　**[はい]をタッチする**
**3**　**[終了]をタッチしてメニューを終了する**

- 設定済みの画像が１枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

**お知らせ**

- 999枚まで設定できます。
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全消去](P45)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。

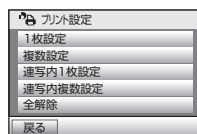
## プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー（P124）してから[プリント設定]の設定をしてください。
連写グループに[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

- 連写グループ再生時のアイコン表示について詳しくは、103ページの「連写グループ再生時の[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト] アイコン表示について」をお読みください。

### 1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

### 2 項目を選び、タッチする

- [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選んだときは、連写グループを選んで、手順**3**へ進んでください。
- [全解除]選択時は、121 ページの「[プリント設定]を全解除する」をお読みください。

### 3 画像を選ぶ

**[ 1 枚設定]選択時**
**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。
（画像は縮小して表示されます）

[ 1 枚設定]

[複数設定]

**[複数設定]選択時**
**プリント設定したい画像をタッチする**

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。

### 4 [▲]/[▼]をタッチしてプリント枚数を設定し、[決定]をタッチする

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。（一括設定することはできません）

### 5 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

再生メニューの設定方法はP23へ

## ■ [プリント設定]を全解除する

**1** 手順2で[全解除]をタッチする

**2** [はい]をタッチする

**3** [終了]をタッチしてメニューを終了する

● [プリント設定]で設定された画像が1枚もない場合は、[全解除]を選択できません。

## ■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

● お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で指定してください。
● 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
● 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

### お知らせ

● プリント枚数は0〜999枚まで設定できます。
● PictBridge対応のプリンターでは、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
● 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
● 動画はプリント設定できません。
● DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

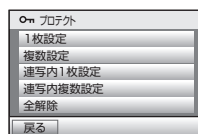
## プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

- 連写グループ再生時のアイコン表示について詳しくは、103ページの「連写グループ再生時の[お気に入り]/[プリント設定]/[プロテクト] アイコン表示について」をお読みください。

### 1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

### 2 項目を選び、タッチする

- [連写内1枚設定]または[連写内複数設定]を選んだときは連写グループを選び、手順3へ進んでください。
- [全解除]選択時は、下記の「[プロテクト]設定を全解除する」をお読みください。

### 3 画像を選ぶ

**[1枚設定] 選択時**

**画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする**

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）
- [解除]をタッチすると設定が解除されます。

[1枚設定]

[複数設定]

**[複数設定] 選択時**

**プロテクトしたい画像をタッチする。**

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。

### 4 [MENU]を数回押してメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

### ■ [プロテクト]設定を全解除する

**1 手順2で[全解除]をタッチする**
**2 [はい]をタッチする**
**3 [戻る]をタッチしてメニュー画面に戻る**
**4 [終了]をタッチしてメニューを終了する**

- 全解除中に[中止]をタッチすると、途中で全解除が中止されます。

**お知らせ**

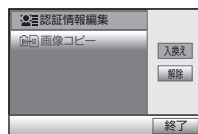
- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューの設定方法はP23へ

## 認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

### 1 再生メニューから[認証情報編集]を選ぶ

### 2 [入換え]または[解除]をタッチする

### 3 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は42ページをお読みください。
- 個人認証情報が登録されていない画像は選択できません。

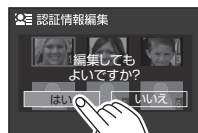
### 4 編集したい人物の名前をタッチする

- [解除]→手順**6**へ
- 個人認証情報が登録されていない人物は選択できません。

### 5 入れ換えたい人物の画像をタッチする

### 6 [はい]をタッチする

### 7 [戻る]をタッチしてメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生]の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

# 再生メニューを使う（つづき）

再生モード：▶

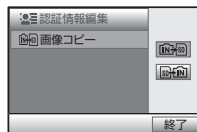
## 画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

**1** 再生メニューから[画像コピー]を選ぶ

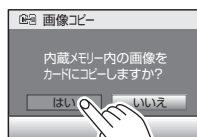
**2** 画像データのコピー方向をタッチする

[IN→SD]：内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順**4**へ

[SD→IN]：カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。→手順**3**へ

**3** 画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

- 画像を選ぶ方法は42ページをお読みください。

**4** [はい]をタッチする

- コピー中に[中止]をタッチすると、途中でコピーが中止されます。
- コピー中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。

**5** [戻る]をタッチしてメニュー画面に戻る

- [終了]をタッチしてメニューを終了します。
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーすると、自動的に再生画面に戻ります。

### お知らせ

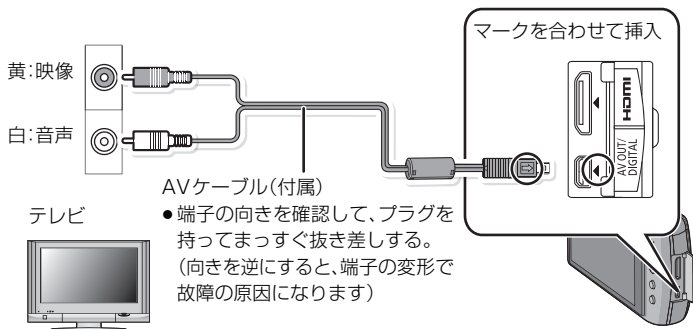
- [IN→SD]時、カードの空き容量が少ないと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー(約40 MB)より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- [IN→SD]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [SD→IN]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P145)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した画像のみコピーされます。(当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- [AVCHD]で撮影された動画はコピーできません。

# テレビで見る

再生モード：▶

## AV ケーブル(付属)を使って見る

準備：[TV画面タイプ](P29)を設定する。
本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

●端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする。(向きを逆にすると、端子の変形で故障の原因になります)

1. テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する
2. 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する
3. テレビの電源を入れ、外部入力にする
4. 本機の電源スイッチを[ON]にし、撮影/再生切換スイッチを[▶]にする

### お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。

応用・再生

他の機器との接続

## SDカードスロット付きテレビで見る

SDカードスロット付きテレビに、カードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

### お知らせ

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。その他の場合、動画を再生するときは、AVケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているテレビでなければ再生できません。

# テレビで見る（つづき）

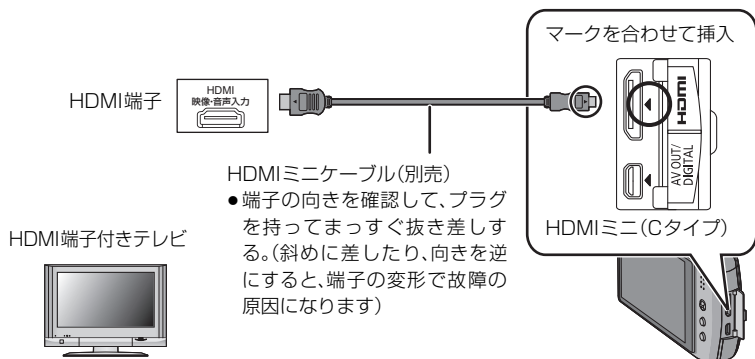
再生モード：▶

## HDMI端子付きテレビで見る

HDMIミニケーブル（別売）を使って本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続すると、高画質な画像や動画をテレビで楽しむことができます。

**HDMIとは**

HDMIはデジタル機器向けのインターフェースです。HDMI対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質･高音質で楽しむことができます。また、ビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）と接続すると連動操作（ビエラリンク）ができます。（P128）

準備：[HDMI出力解像度]（P29）を確認する。
本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

**1** テレビのHDMI端子にHDMIミニケーブルを接続する

**2** 本機の[HDMI]端子にHDMIミニケーブルを確実に接続する

**3** テレビの電源を入れ、HDMI入力に切り換える

**4** 本機の電源スイッチを[ON]にし、撮影/再生切換スイッチを[▶]にする

- [ビエラリンク]（P29）を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。（P128）

## ■ HDMI 出力中の操作

HDMI出力しているときは、本機の液晶モニターに[▲]/[▼]/[◀]/[▶]、[MENU/SET]、[ 🗑 ]、[DISPLAY]が表示されます。(液晶モニターに画像は表示されません)

- テレビに表示されるガイドに従って、操作してください。
- [MENU/SET]をタッチすると、テレビに再生モード選択画面が表示されます。
- HDMI出力しているときは、[MODE]ボタンまたは[MENU]ボタンを使っての操作は無効になります。

### お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売)をお使いください。
  ・品番:RP-CDHM15(1.5 m)、RP-CDHM30(3.0 m)
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもHDMI出力できません。
- HDMIミニケーブル接続時にUSB接続ケーブルを挿入すると、HDMI出力は解除され、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- テレビの取扱説明書もお読みください。
- 音声はステレオ(2ch)で再生されます。
- 使用できない機能があります。([タイトル入力]、[動画分割]、[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]、[傾き補正]、[認証情報編集]、[画像コピー]、画像複数選択など)

# テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

## ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う

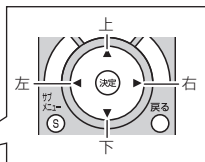
**ビエラリンク（HDMI）とは**

- 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2009年12月現在）

準備：［ビエラリンク］（P29）を［ON］に設定する。

**1** HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ（P126）

当社製テレビ（ビエラ）

**2** 本機の電源スイッチを［ON］にし、撮影/再生切換スイッチを［▶］にする

**3** テレビのリモコンで操作する

## ■ 使用できる機能

テレビのリモコンで操作します。

| | |
|---|---|
| マルチ再生 | **ビエラリンク使用時にはじめに表示されます**<br>▲/▼/◀/▶: 画像を選ぶ<br>[決定]: 1 画面表示へ進む<br>連写グループ内をマルチ再生する<br>(連写画像選択時)<br>[赤]: 再生するデータの種類を切り換える<br>[サブメニュー]: 再生モード選択画面を表示する<br>● 再生するデータの種類は、[全画像] → [📷] → [🎥] → [🎞] → [全画像]の順に切り換わります。<br>● 再生モード選択画面では、[通常再生]/[スライドショー]/[カテゴリー再生]/[カレンダー検索]/[お気に入り再生]のいずれかを選択できます。 |
| 1 画面表示<br><br>操作アイコン | **マルチ再生時に画像を選び、[決定]を押す**<br>◀/▶: 画像を送る<br>▲: 撮影情報を表示する<br>▼: マルチ再生に戻る<br>[決定]: 動画を再生する(動画選択時)/<br>連写画像を再生する(連写画像選択時)/<br>音声を再生する(音声付き写真選択時)<br>[赤]: スライドショーを開始する<br>[サブメニュー]: スライドショー設定画面へ進む<br>● 動画再生中は ◀/▶ で早戻し / 早送り、▼ で再生を終了します。 |
| スライドショー<br><br>操作アイコン | **1 画面表示時に[赤]を押す**<br>◀/▶: 画像を送る(動画再生時/一時停止時)<br>▼: スライドショーを終了し、1 画面表示に戻る<br>[決定]: 一時停止する<br>[サブメニュー]: スライドショー設定画面へ進む<br>● 動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。 |

### お知らせ

- 操作アイコン表示中に[戻る]を押すか、しばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  - ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[戻る]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1 以外に接続することをおすすめします。
- 本機の[ビエラリンク](P29)を[ON]に設定している場合は、本機の操作は制限されます。
- 接続したテレビ側のビエラリンク(HDMI)が働くように設定しておいてください。(設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください)
- ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク](P29)を[OFF]に設定してください。

# テレビで見る（つづき）

再生モード：▶

## ■ その他の連動操作について

**電源OFF**

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

**自動入力切換**

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、153ページをご確認ください。

**お知らせ**

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

VIERA Link

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- パソコンやプリンターと接続しているときは、HDMIミニケーブルを接続してもビエラリンクが働きません。
- ビエラリンク動作時、本機の[HDMI出力解像度]（P29）は自動的に判別されます。

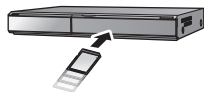
# 記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、AVCHD、Motion JPEG)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

## SDカードをレコーダーに入れてダビングする

**取り込み可能なファイル形式:** 写真 (JPEG)/ 動画 (AVCHD)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。

- [AVCHD]で撮影された動画は、AVCHDに対応していない機器(従来のDVDレコーダーなど)では再生できません。また、再生可能なAVCHD対応機器でも、ダビングができない機器もあります。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードに対応しているレコーダーでなければ再生できません。
- SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカードに対応しているレコーダーでなければ再生できません。
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

## AVケーブルを使って再生映像をダビングする

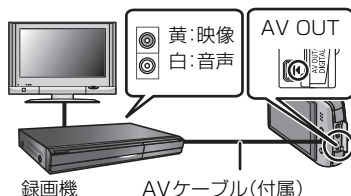
**取り込み可能なファイル形式:** 動画 (AVCHD、Motion JPEG)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン(AVCHD)対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

**1 本機と録画機をAVケーブル(付属)で接続する**

**2 本機で再生を始める**

**3 録画機で録画を始める**

- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

### お知らせ

- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P29)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

# 記録した写真や動画を残す（つづき）

## 「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使ってパソコンにコピーする

**取り込み可能なファイル形式：写真（JPEG）/動画（AVCHD、Motion JPEG）**

CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使ってパソコンに写真や[AVCHD]、[MOTION JPEG]で撮影した動画を取り込んだり、[AVCHD]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することなどができます。（P133）

またDVDへの画像書き込み、複数の写真をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真に合成やお好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成などができ、それらをDVDに保存することもできます。

**1　お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」をインストールする**

- 動作環境やインストールについて、詳しくは別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

**2　本機とパソコンを接続する**

- 接続のしかたについては、134 ページ「パソコンと接続する」をお読みください。

**3　「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って画像をパソコンにコピーする**

- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」の取扱説明書（PDF）をお読みください。

**お知らせ**

- 取り込んだ[AVCHD]動画に関するファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去、変更、移動をすると再生、編集などができなくなりますので、[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って取り込んでください。

# パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- **SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/**
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使うと便利です。
- CD-ROM（付属）のソフトウェアや動作環境、インストールなど詳しくは、**別冊の「パソコン接続編取扱説明書」**をお読みください。

## ■ 使用できるパソコン

<table>
<tr><th></th><th colspan="3">Windows</th><th>Macintosh</th></tr>
<tr><td></td><td>98/98SE</td><td>Me/2000</td><td>XP/Vista/7</td><td>OS 9/OS X</td></tr>
<tr><td>PHOTOfunSTUDIOは使える？</td><td colspan="2">使えません</td><td>使えます※1</td><td>使えません</td></tr>
<tr><td>[AVCHD]動画をパソコンに取り込める？</td><td colspan="2">取り込めません</td><td>取り込めます※2</td><td>取り込めません</td></tr>
<tr><td>USB接続ケーブルを使ってデジタルカメラの写真、[MOTION JPEG]動画をパソコンに取り込める？</td><td>取り込めません</td><td colspan="2">取り込めます</td><td>取り込めます<br>（OS 9.2.2/OS X<br>[10.1～10.6]）</td></tr>
</table>

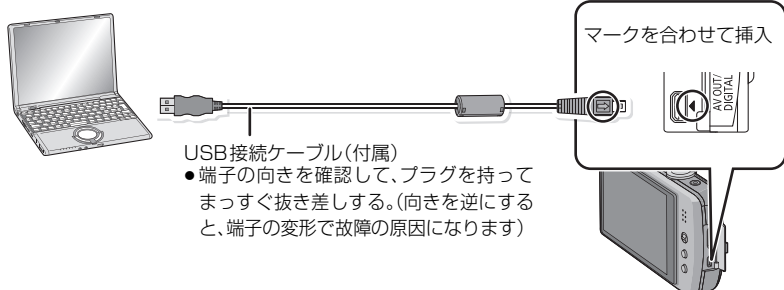
- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1　Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2　**[AVCHD]動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って取り込んでください。**

# パソコンと接続する（つづき）

## 写真、[MOTION JPEG]動画を取り込む（[AVCHD]動画以外）

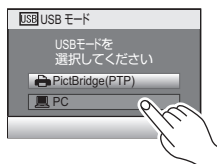
準備：本機とパソコンの電源を入れる。
　　　内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC4）を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」（P135）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊される恐れがあります。

### 1 USB接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

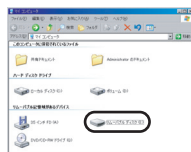
- **付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。**

### 2 [PC]をタッチする

- セットアップメニューで[USBモード]（P28）を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPC と接続します。接続のたびに設定する必要がないので、便利です。
- [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USBモード]を[PC]に設定し直してください。

USB USB モード
USBモードを
選択してください
PictBridge(PTP)
PC

### 3 「マイコンピュータ」にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックする

- Macintoshの場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます）

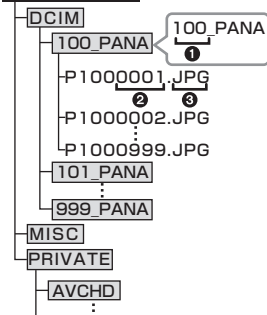
### 4 「DCIM」フォルダーをダブルクリックする

## 5 取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップする

### ■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

- パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
  アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

### お知らせ

- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 本機の電源を切ってからACアダプター(別売)を抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊される恐れがあります。

### ■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る(フォルダー構造)

- パソコンで加工したフォルダーや画像はカメラ本体で再生できません。
  パソコンからカードに画像を書き込む際には、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使うことをおすすめします。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG: 画像
MOV: Motion JPEG動画
MISC: DPOFプリント
お気に入り
AVCHD: AVCHD動画

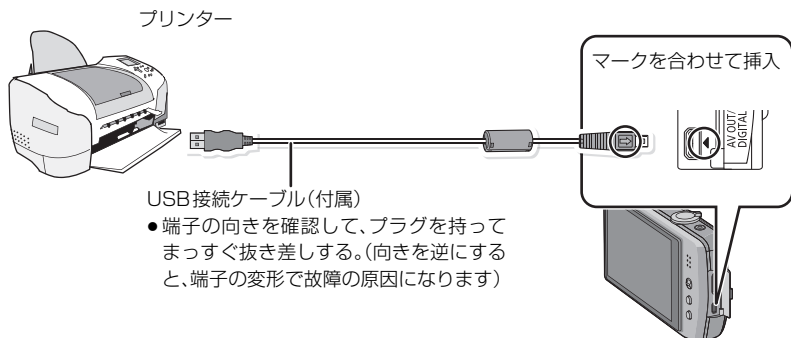
以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。
- セットアップメニューの[番号リセット](P28)実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合
  (他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

### ■ PTPモードで接続する (Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ)

[USBモード]を[PictBridge(PTP)]にしてください。
カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
- PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
- PTPモードでは [AVCHD] で撮影された動画は再生できません。

# プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
- 連写画像はグループとして表示されず、一覧表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

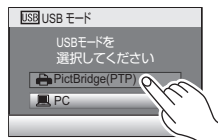
準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC5)およびDCカプラー(別売:DMW-DCC4)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

## 1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

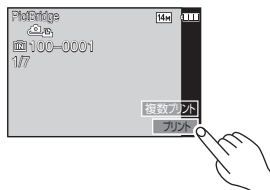
- プリンターと接続するとケーブル切断禁止アイコン[]が表示されます。[]表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。

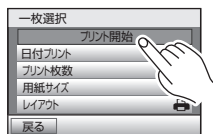
## 2 [PictBridge(PTP)]をタッチする

### お知らせ

- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをおすすめします。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 本機の電源を切ってからACアダプターを抜き差ししてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB接続ケーブルを抜き、カードを入れて(または取り出して)から接続し直してください。
- 動画はプリントできません。

## 画像を選んで1枚ずつプリントする

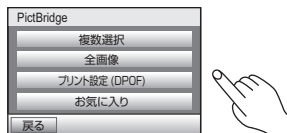
### 1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[プリント]をタッチする

- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)
- メッセージは約2秒後に消えます。

### 2 [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については138ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[中止]をタッチしてください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

## 複数の画像を選んでプリントする

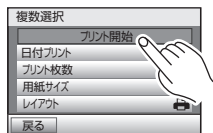
### 1 [複数プリント]をタッチする

### 2 設定したい項目をタッチする

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| **複数選択** | 複数の画像を選んでプリントします。<br>● スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。<br>● プリントしたい画像を選ぶと[🖶]が表示されます。(もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます)<br>● 選択が終了したら[設定]をタッチしてください。 |
| **全画像** | 保存されているすべての画像をプリントします。 |
| **プリント設定(DPOF)** | [プリント設定]で設定(P120)された画像のみをプリントします。 |
| **お気に入り**※ | [お気に入り]設定(P118)された画像のみをプリントします。 |

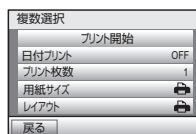
※[お気に入り機能]が[ON]で、設定済みの画像があるときのみ(P118)

### 3 [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については138ページをお読みください。
- 途中でプリントを中止するには[中止]をタッチしてください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

# プリントする（つづき）

## プリントの各種設定

**「画像を選んで1枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。**

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定（DPOF）]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

### 日付プリント

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| OFF | 日付プリントされません。 |
| ON | 日付プリントされます。 |

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、確認してください。
- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

### プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

### 用紙サイズ

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 🖶 | プリンターの設定が優先されます。 |
| L/3.5″×5″ | 89 mm×127 mm |
| 2L/5″×7″ | 127 mm×178 mm |
| はがき | 100 mm×148 mm |
| 16:9 | 101.6 mm×180.6 mm |
| A4 | 210 mm×297 mm |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| A3 | 297 mm×420 mm |
| 10×15cm | 100 mm×150 mm |
| 4″×6″ | 101.6 mm×152.4 mm |
| 8″×10″ | 203.2 mm×254 mm |
| レター | 216 mm×279.4 mm |
| カード | 54 mm×85.6 mm |

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

## レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (プリンターアイコン) | プリンターの設定が優先されます。 |
| (1面ふちなしアイコン) | 1面ふちなし印刷 |
| (1面ふちありアイコン) | 1面ふちあり印刷 |

| 項目 | 設定内容 |
|---|---|
| (2面アイコン) | 2面印刷 |
| (4面アイコン) | 4面印刷 |

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

### ■ レイアウト印刷について

**1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

**1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合**

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[(4面アイコン)]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

**お知らせ**

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

## 画像に日付を入れるには

**画像に日付を焼き込む**

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

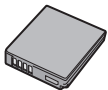
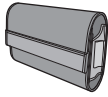
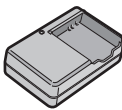
- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

**日付プリントを設定する**

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。(P121)

**お店に依頼する場合**

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

**自宅でプリントする場合**

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO 5.2 HD Edition」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

# 別売品のご紹介

| | |
|---|---|
| **品名:**<br>バッテリーパック<br>**品番:**<br>DMW-BCF10 |  |
| **品名:**<br>DCカプラー※<br>**品番:**<br>DMW-DCC4<br>**品名:**<br>ACアダプター※ <br>**品番:**<br>DMW-AC5<br>※ **DCカプラーとACアダプターは、必ずセットでお買い求めください。**<br>単独では使用できません。 |  |
| **品名:**<br>本革ケース<br>**品番:**<br>DMW-CX700 |  |
| **品名:**<br>ソフトケース<br>**品番:**<br>DMW-CP9 |  |
| **品名:**<br>ショルダーストラップ<br>**品番:**<br>DMW-SSTX1 |  |

| | |
|---|---|
| **品名:**<br>バッテリーチャージャー<br>**品番:**<br>DMW-BTC1 |  |
| **品名:**<br>HDMIミニケーブル<br>**品番:**<br>RP-CDHM15<br>RP-CDHM30 |  |
| **品名:**<br>SDメモリーカード<br>SDHCメモリーカード<br>SDXCメモリーカード |  |

記載の品番は2010年7月現在のものです。変更されることがあります。

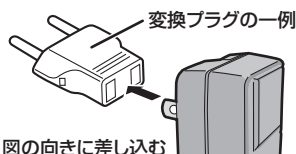
# 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

## ■ 変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

## ■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

| 北米 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アメリカ合衆国 | A | カナダ | A | ハワイ | A | | | | | | |
| ヨーロッパ | | | | | | | | | | | |
| イギリス | BF, B3 | イタリア | C | オーストリア | C,SE | オランダ | C,SE | ギリシャ | A,B, B3,C, SE | スイス | A,B, C,SE |
| スウェーデン | B,C, SE | スペイン | A,C, SE | デンマーク | C | ドイツ | A,C, SE | ノルウェー | C | ハンガリー | C |
| フィンランド | B,C | フランス | A,C, SE | ベルギー | B,C, SE | ロシア | A,C, SE | | | | |
| アジア | | | | | | | | | | | |
| インド | B,BF, B3,C | インドネシア | B,B3, C,SE | シンガポール | B,BF, B3 | タイ | A,BF, C | 大韓民国 | A,C, SE | 台湾 | A,C, O |
| 中華人民共和国 | すべて | フィリピン | A,O | ベトナム | A,BF, C, SE | 香港特別行政区 | B,BF, B3,C | マカオ特別行政区 | B,BF, B3,C | マレーシア | B,BF, B3,C |
| オセアニア | | | | | | | | | | | |
| オーストラリア | O | グァム島 | A | サイパン島 | A | トンガ | O | ニュージーランド | O | フィジー | A,B, C,O |
| 中南米 | | | | | | | | | | | |
| アルゼンチン | BF,C, SE | プエルトリコ | A,BF, C | ブラジル | A,C, SE | メキシコ | A,C, SE | | | | |
| 中東・アフリカ | | | | | | | | | | | |
| アラブ首長国連邦 | B,BF, B3 | エジプト | BF,B3, C,SE | クウェート | B,B3, C | トルコ | A,B, C,SE | 南アフリカ共和国 | B,BF, B3,C | モロッコ | A,C, SE |

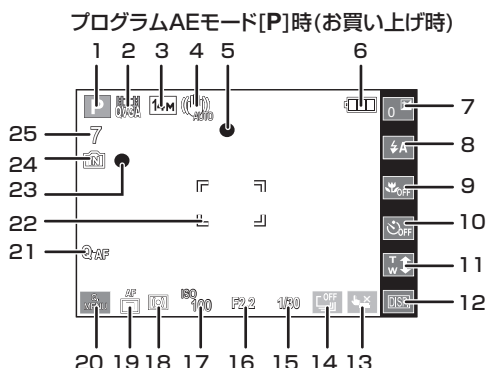
| タイプ | A | B | BF | B3 | C | SE | O |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アメリカンタイプ | U.K. タイプ | | | ヨーロピアンタイプ | | オーストラリアンタイプ |
| コンセント形状 | | | | | | | |
| プラグ形状 | 不要です | | | | | | |

## ■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

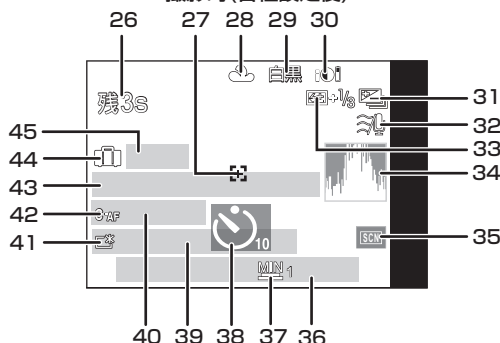
セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

# 液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

プログラムAEモード[P]時(お買い上げ時)

■ **撮影時**

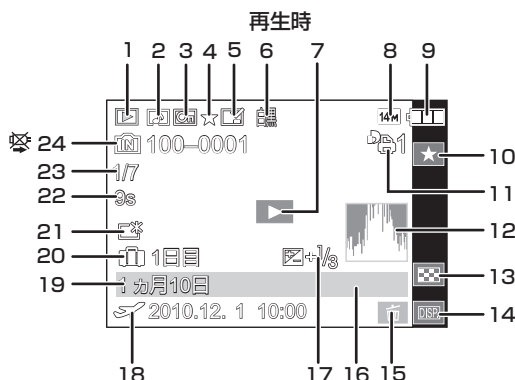
**1** 撮影モード
**2** 撮影モード(動画撮影時)(P75)
画質設定(P75)
**3** 記録画素数(P86)
**4** 手ブレ補正(P97)
手ブレ警告(P37):
**5** フォーカス(P37)
**6** バッテリー残量(P15)
**7** 露出補正(P59)
**8** フラッシュ(P48)
**9** マクロ(P52)
**10** セルフタイマー(P54)
**11** ズーム操作(P41)
**12** DISPLAY(P46)
**13** タッチシャッター(P38)
**14** 連写(P61)
**15** シャッタースピード(P37)
**16** 絞り値(P37)
**17** ISO感度(P88)/ISO感度上限設定(P89)
**18** 測光モード(P94)
**19** オートフォーカスモード(P91)
**20** クイックメニュー(P24)
**21** クイックAF(P94)
**22** AFエリア(P37)
**23** 記録動作
**24** 内蔵メモリー(P19)
カード(P19):(記録時のみ表示)
**25** 記録可能枚数(P160)
(残り枚数が100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます)

撮影時(各種設定後)

**26** 記録可能時間(P72):残XXhXXmXXs※1
**27** スポットAFエリア(P91)
スポット測光ターゲット(P94)
**28** ホワイトバランス(P89)
**29** カラーエフェクト(P96)
**30** 暗部補正(P95)
**31** オートブラケット(P60)
音声記録(P98):
**32** 風音低減(P99)
**33** フラッシュ発光量調整(P50)
**34** ヒストグラム表示(P47)
**35** シーンモード(P63)
**36** ズーム/EX光学ズーム(P40)/
iAズーム(P40)/
デジタルズーム(P40、96):
EZ iA ZOOM W T 1X
**37** 下限シャッター速度(P95)
**38** セルフタイマーモード(P54)
**39** 現在日時/旅行先設定(P85)※2:
**40** 月齢/年齢※3(P67)
**41** 液晶モード(P26)
液晶パワーセーブ(P27):
記録経過時間(P72):XXhXXmXXs※1
**42** コンティニュアス AF(P94)
AF補助光(P98):AF
**43** 名前※3(P67)
旅行先※2(P83)
**44** トラベル日付※2(P83)
**45** トラベル経過日数※2(P83)

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 電源を入れたとき/時計設定後/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
※3 シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]や[ペット]で電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

Q&A その他

# 液晶モニターの表示 （つづき）

再生時

## ■ 再生時

**1** 再生モード(P42)
**2** 画質設定(P75)：/
連写再生(P101)：
音声再生(P109)：
**3** プロテクト(P122)
**4** お気に入り表示(P118)
**5** 文字焼き込み済み表示(P113)
**6** カラーエフェクト(P96)
**7** 再生(動画・音声付き静止画)(P108)
連写再生(P101)
**8** 記録画素数(P86)
**9** バッテリー残量(P15)
**10** お気に入り(P118)
**11** プリント枚数(P120)
再生経過時間(P108)：XXhXXmXXs※1
**12** ヒストグラム表示(P47)
**13** マルチ再生(P42)
**14** DISPLAY(P46)
**15** 消去(P44)
**16** 撮影情報(P46)
**17** 露出補正(P59)
**18** 撮影日時/ワールドタイム(P85)
名前※2(P67)
旅行先※2(P83)
タイトル※2(P111)
**19** 月齢/年齢(P67)
**20** トラベル経過日数(P83)
**21** パワーLCDモード(P26)
液晶パワーセーブ(P27)：
**22** 動画記録時間(P108)：XXhXXmXXs※1
連写枚数(P101)
**23** 画像番号/トータル枚数
**24** フォルダー・ファイル番号(P135)
内蔵メモリー(P19)
ケーブル切断禁止アイコン(P136)

※1 hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

# メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

| メッセージ | 実行していただきたいこと |
|---|---|
| **このメモリーカードは書込み禁止スイッチが「禁止」になっています** | カードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。(P19) |
| **表示できる画像がありません** | 画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。 |
| **この画像はプロテクトされています** | 画像のプロテクトを解除してから(P122)消去をしてください。 |
| **消去できない画像があります/この画像は消去できません** | DCF規格に準拠していない画像は消去できません。<br>パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P30)してください。 |
| **設定枚数をこえました** | [複数消去](P45)、[お気に入り](P118)、[タイトル入力](P111)、[文字焼き込み](P113)、[リサイズ(縮小)](P115)の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。<br>設定枚数を減らしてから、もう一度操作を行ってください。<br>お気に入り設定が999枚を超えています。 |
| **この画像には設定できません** | DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。 |
| **内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています** | 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。<br>内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。 |
| **コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした** | 以下の画像はコピーできません。<br>●コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ)<br>●DCF規格に準拠していないファイル<br>また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。 |
| **内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか?** | パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P30)し直してください。<br>データは消去されます。 |
| **メモリーカードエラー・フォーマットしますか?** | 本機では使用できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P30)し直してください。 |
| **電源を入れ直してください/システムエラー** | レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 |

# メッセージ表示（つづき）

| メッセージ | 実行していただきたいこと |
| --- | --- |
| メモリーカードエラー<br>カードのパラメータが異常です/このカードは使用できません | 本機に対応したカードをお使いください。(P19)<br>●SDメモリーカード(8 MB～2 GB)<br>●SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)<br>●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB) |
| カードを入れ直してください/別のカードでお試しください | ●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。<br>●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| リードエラー/ライトエラー<br>カードを確認してください | ●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。<br>●カードが破壊されている可能性があります。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |
| カードの書込み速度不足のため記録を終了しました | ●[AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。<br>また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。<br>※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。<br>●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P30)することをおすすめします。<br>カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 |
| このカードは本機でフォーマットされていないため動画記録には適しません | パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合、書き込み速度が低下しているため、途中で動画撮影が終了する場合があります。そのときはバックアップをとり、本機でフォーマット(P30)してください。 |
| 放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません | ●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P30)してください。<br>●別のカードを入れてお試しください。 |

| メッセージ | 実行していただきたいこと |
|---|---|
| **フォルダーを作成できません** | 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。（P135）<br>パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P30)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。（P28） |
| **16:9TV用で出力します/<br>4:3TV用で出力します** | ●本機にAVケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU]を押してください。<br>●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。（P29）<br>●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。<br>USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。（P134、136） |
| **プリンタービジー<br>プリンターを確認してください** | プリンター側が印刷できない状態です。<br>プリンターを確認してください。 |
| **バッテリー残量が不足しています** | バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。 |
| **このバッテリーは使えません** | ●本機では認識できないバッテリーです。パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。<br>●バッテリーの端子部が汚れているため、認識できません。端子部のごみなどを取り除いてください。 |

# Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法(P148～154)をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの[設定リセット](P28)を行うと症状が改善する場合があります。**

## ■ バッテリー、電源について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 電源スイッチを[ON]にしても動作しない。 | ●バッテリーが正しい向きに入っていません。(P17)<br>●バッテリーが消耗しています。 |
| 電源スイッチを[ON]にしているのに、液晶モニターが消灯している。 | ●[エコモード]の[スリープモード](P27)が働いていませんか？<br>→シャッターボタンを半押しして、解除してください。<br>●バッテリーが消耗しています。 |
| 電源スイッチを[ON]にしてもすぐに切れる。 | ●バッテリーが消耗しています。<br>●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。<br>→[エコモード](P27)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。 |
| 電源が勝手に切れる。 | ●ビエラリンク(HDMI)対応のテレビとHDMIミニケーブル(別売)で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。<br>→ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。(P29) |
| 充電[CHARGE]ランプが点滅する。 | ●バッテリーが高温、あるいは低温になりすぎていませんか？その場合、充電時間が通常よりも長くなるか、充電が完了しない場合もあります。<br>●チャージャーやバッテリーの端子部が汚れていませんか？<br>→乾いた布でふき取ってください。 |

## ■ 撮影について

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 画像が撮れない。 | ●撮影/再生切換スイッチは[📷]に設定されていますか？(P31)<br>●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？<br>→不要な画像を消去して容量を増やしてください。(P44) |
| 撮影した画像が白っぽい。 | ●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。<br>→汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒(P12)を出した状態で固定し、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。 |
| 撮影した画像の周囲が暗くなる。 | ●W端付近で至近距離のフラッシュ撮影した画像ではありませんか？<br>→少しズームしてから撮影してください。(P40)<br>●シーンモードの[ピンホール]で撮影した画像ではありませんか？ |
| 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。 | →露出が正しく補正されているか確認してください。(P59)<br>●[下限シャッター速度]を速く設定すると暗く写りやすくなります。<br>→[下限シャッター速度](P95)を遅く設定してください。 |

## ■ 撮影について(つづき)

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。 | → オートブラケット(P60)、シーンモードの[フラッシュ連写](P69)、または連写(P61)を[OFF]に設定してください。 |
| ピントが合わない。 | ● 撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。<br>→ 被写体までの距離に応じたモードに設定してください。<br>● ピントが合う範囲から外れています。(P36)<br>● 手ブレや被写体ブレしています。(P37) |
| 撮影した画像がブレている。<br>手ブレ補正が効かない。 | → 暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P32)<br>→ 遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P54)を使って撮影してください。 |
| オートブラケット撮影ができない。 | ● 記録可能枚数が2枚以下ではありませんか? |
| 撮影した画像が粗い。<br>ノイズが出る。 | ● ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか?<br>(お買い上げ時は、ISO感度が[AUTO]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます)<br>→ ISO感度を低くしてください。(P88)<br>→ [画質調整]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P97)<br>→ 明るい場所で撮影してください。<br>● シーンモードの[高感度]に設定していませんか?高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。 |
| 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る。 | ● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。 |
| 撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。 | ● 蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。 |
| 撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。 | ● これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画撮影では記録されますが、写真には記録されません。<br>● 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをおすすめします。 |

# Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

## ■ 撮影について（つづき）

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **動画撮影が途中で止まる。** | ● [AVCHD]で動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。<br>また、[MOTION JPEG]で動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class6」以上のカードを使用してください。<br>※ SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。<br>● 使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。<br>→「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合やパソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P30)することをおすすめします。 |
| **被写体がゆがんで見える。** | ● 本機の撮像素子にMOSを使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 |
| **AFロックできない。<br>（動体追尾できない）** | ● 周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分を追尾AF枠に合わせるなど、被写体の特徴的な色の部分をAFロックしてください。(P93) |

## ■ レンズについて

| Q（質問） | A（回答） |
|---|---|
| **撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。** | ● ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。 |

## ■ 液晶モニターについて

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| 電源[ON]中に、液晶モニターが消える。 | ●[エコモード]の[スリープモード](P27)が働くと、液晶モニターが消灯します。[ただし、ACアダプター(別売:DMW-AC5)使用時を除く] |
| 液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。 | ●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。<br>●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| 室内で液晶モニターがちらつく。 | ●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。 |
| 液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。 | ●[パワーLCD]になっていませんか?(P26) |
| 液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。 | ●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。 |
| 液晶モニターにノイズが出る。 | ●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。 |

## ■ フラッシュについて

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| フラッシュが発光しない。 | ●[⊗]に設定していませんか?<br>→フラッシュモードを変更してください。(P48)<br>●オートブラケット(P60)、連写(P61)を設定しているときは、フラッシュは使用できません。 |
| フラッシュが複数回発光する。 | ●赤目軽減(P48)にしている場合は、2回発光します。<br>●シーンモードの[フラッシュ連写](P69)になっていませんか? |

# Q & A　故障かな？と思ったら（つづき）

## ■ 再生について

| Q(質問) | A(回答) |
| --- | --- |
| 再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。 | ●[回転表示](P118)を[ON]に設定しています。 |
| 再生できない。<br>撮影した画像がない。 | ●撮影/再生切換スイッチは[▶]に設定されていますか？(P42)<br>●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？<br>→カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。<br>●パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。<br>●[モード別再生]、[カテゴリー再生]または[お気に入り再生]になっていませんか？<br>→[通常再生]に設定してください。(P42) |
| フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。 | ●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？<br>●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか？<br>→このような画像を消去するには、フォーマット(P30)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください) |
| カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。 | ●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？(P20)<br>●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。 |
| 撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。 | ●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。<br>撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 |
| 撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。 | ●デジタル赤目補正([ ]、[ ]、[ ])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。<br>→フラッシュモードを[ ]、[ ]、[ ]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをおすすめします。(P98) |
| 画面に「サムネイル表示」と表示される。 | ●他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。 |
| 動画に「カチッ」という音が録音される。 | ●動画撮影中、本機はレンズの絞りを自動的に調整します。このときに「カチッ」という音がし、その音が動画に録音されることがありますが、異常ではありません。 |

## ■ テレビ、パソコン、プリンターについて

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。 | ●正しく接続されていますか？<br>→テレビの入力切換を外部入力にしてください。<br>●パソコンやプリンターと接続しているとき、[HDMI]端子からの出力はできません。<br>→本機をテレビにのみ接続してください。 |
| テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。 | ●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。 |
| テレビで動画の再生ができない。 | ●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？<br>→AVケーブル(付属)またはHDMIミニケーブル(別売)をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。(P125、126)<br>→[AVCHD] で撮影した動画は、AVCHD のロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。 |
| テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。 | →本機の[TV画面タイプ]を確認してください。(P29) |
| ビエラリンク(HDMI)が働かない。 | ●HDMIミニケーブル(別売)で正しく接続されていますか？(P126)<br>→HDMIミニケーブル(別売)が奥まで確実に入っていることを確認してください。<br>●本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？(P29)<br>→テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください)<br>→接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。<br>→本機の電源を入れ直してください。<br>→テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。(詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください) |
| パソコンに接続して画像を転送できない。 | ●正しく接続されていますか？<br>●パソコンが本機を正常に認識していますか？<br>→本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P28、134) |
| パソコンにカードが認識されない。(内蔵メモリーになっている) | →USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 |
| パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している) | →お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。<br>http://panasonic.jp/support/sd_w/<br>→接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。<br>→液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。 |
| プリンターに接続して、プリントができない。 | ●PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。<br>→本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P28、136) |
| プリントすると、画像の端が切れる。 | →トリミング(切抜き)や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください)<br>→お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。 |

# Q ＆ A　故障かな？と思ったら（つづき）

## ■ その他

| Q(質問) | A(回答) |
|---|---|
| シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。 | ●暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P98)が赤く点灯します。 |
| AF補助光が点灯しない。 | ●撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？(P98)<br>●明るい場所ではAF補助光は点灯しません。 |
| 本機が熱くなる。 | ●ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能·品質には問題ありません。 |
| レンズ部から「カチッ」と音がする。 | ●ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。 |
| 時計が合っていない。 | ●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。<br>→「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P20)時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00]の日付が記録されます。 |
| ズームを使って撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。 | ●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、これらは異常ではありません。 |
| ズームの動きが一瞬止まる。 | ●EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。 |
| ズームが最大倍率にならない。 | ●ズームマクロ(P53)に設定していませんか？<br>ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。 |
| ファイル番号が連続して記録されない。 | ●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。(P135) |
| ファイル番号がさかのぼって記録される。 | ●電源スイッチを[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー·ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源スイッチを[ON]にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。 |
| 月齢/年齢が正しく表示されない。 | ●時計設定(P20)または誕生日設定(P67)を確認してください。 |
| レンズ鏡筒が収納される。 | ●撮影モードから再生モードに切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が収納されます。 |
| タッチしたものと違うものが選択される。 | →タッチパネル調整(P30)を行ってください。 |
| 放置していたら、突然デモが表示される。 | ●これは本機の特長を紹介する自動デモです。[MENU]を押すと、元の画面に戻ることができます。 |

# 使用上のお願い

## 本機について

**本機を落としたり、ぶつけたりしない**
**また、本機に強い圧力をかけない**

- 強い衝撃が加わると、レンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

**磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う**

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーやACアダプター（別売：DMW-AC5）、DCカプラー（別売：DMW-DCC4）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

**電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない**

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

**付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。**
**また、コード、ケーブルは延長しないでください。**

**周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない**

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

## お手入れについて

**お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。**

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

# 使用上のお願い（つづき）

## 液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

**液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。**

## レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

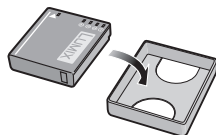
## バッテリーについて

**本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。**
**このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。**

### 使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーは、バッテリーケース（付属）に収納してください。

### 出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P141）

### バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

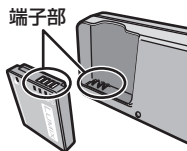
**不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

**使用済み充電式電池の届け先**
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

**使用済み充電式電池の取り扱いについて**
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

**本機で使用できるバッテリーについて**
- 専用バッテリー(DMW-BCF10)以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質･性能･安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質･性能･安全性などについては、その製造者が責任を負います。

## チャージャーについて

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

## カードについて

**カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない**
**また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない**
- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

**メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い**
**本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。**

**廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。**
**メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。**

# 使用上のお願い（つづき）

## 個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

### 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P28)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P124)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P30)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

**メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、157ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。**

## 長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH ～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

## 画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと本機のねじを損傷する恐れがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。
- DCカプラーおよびACアダプター接続時、三脚/一脚の種類によっては取り付けることができないものがあります。

**−このマークがある場合は−**

**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数･時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数･時間は変動します。

## ■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が 100000 枚以上の場合は、[+99999] と表示されます。

| 画像横縦比 | | 4:3 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録画素数 | | 14M | | 10M (EZ) | | 7M (EZ) | | 5M (EZ) | | 3M (EZ) | | 0.3M (EZ) | |
| クオリティ | | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ |
| 内蔵メモリー (約40 MB) | | 7 | 10 | 9 | 14 | 12 | 19 | 14 | 26 | 17 | 35 | 230 | 390 |
| カード | 512 MB | 83 | 120 | 110 | 160 | 135 | 210 | 160 | 280 | 200 | 380 | 2320 | 3770 |
| | 1 GB | 165 | 240 | 220 | 320 | 270 | 430 | 320 | 570 | 400 | 770 | 4640 | 7550 |
| | 2 GB | 340 | 490 | 440 | 660 | 550 | 870 | 650 | 1130 | 800 | 1530 | 8770 | 12290 |
| | 4 GB | 660 | 980 | 880 | 1290 | 1080 | 1720 | 1280 | 2230 | 1580 | 3010 | 17240 | 24130 |
| | 6 GB | 1010 | 1490 | 1330 | 1970 | 1650 | 2620 | 1950 | 3390 | 2410 | 4580 | 26210 | 36700 |
| | 8 GB | 1360 | 1990 | 1790 | 2640 | 2210 | 3500 | 2610 | 4540 | 3230 | 6130 | 35080 | 49120 |
| | 12 GB | 2050 | 3010 | 2700 | 3980 | 3330 | 5290 | 3940 | 6860 | 4870 | 9260 | 52920 | 74090 |
| | 16 GB | 2740 | 4010 | 3600 | 5310 | 4450 | 7050 | 5250 | 9150 | 6500 | 12350 | 70590 | 98830 |
| | 24 GB | 3980 | 5830 | 5230 | 7710 | 6460 | 10250 | 7630 | 13280 | 9440 | 17930 | 102500 | 143510 |
| | 32 GB | 5500 | 8050 | 7230 | 10650 | 8930 | 14160 | 10540 | 18350 | 13040 | 24780 | 141620 | 198260 |
| | 48 GB | 7580 | 11030 | 9840 | 14000 | 12140 | 18210 | 14000 | 22760 | 16550 | 28020 | 121420 | 182130 |
| | 64 GB | 10290 | 14970 | 13350 | 19010 | 16470 | 24710 | 19010 | 30890 | 22460 | 38020 | 164770 | 247150 |

| 画像横縦比 | | 3:2 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録画素数 | | 12.5M | | 9M (EZ) | | 6M (EZ) | | 4.5M (EZ) | | 2.5M (EZ) | | 0.3M (EZ) | |
| クオリティ | | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ | ▲▲▲ | ▲ |
| 内蔵メモリー (約40 MB) | | 7 | 11 | 10 | 15 | 12 | 21 | 14 | 27 | 18 | 36 | 250 | 390 |
| カード | 512 MB | 90 | 130 | 115 | 175 | 135 | 230 | 160 | 300 | 200 | 390 | 2510 | 3770 |
| | 1 GB | 180 | 270 | 230 | 350 | 270 | 460 | 320 | 600 | 410 | 790 | 5030 | 7550 |
| | 2 GB | 360 | 540 | 470 | 710 | 560 | 930 | 660 | 1180 | 820 | 1530 | 8770 | 12290 |
| | 4 GB | 720 | 1060 | 940 | 1400 | 1100 | 1820 | 1290 | 2320 | 1630 | 3010 | 17240 | 24130 |
| | 6 GB | 1100 | 1620 | 1430 | 2130 | 1680 | 2770 | 1970 | 3520 | 2470 | 4580 | 26210 | 36700 |
| | 8 GB | 1470 | 2170 | 1910 | 2850 | 2250 | 3720 | 2640 | 4720 | 3310 | 6130 | 35080 | 49120 |
| | 12 GB | 2230 | 3270 | 2890 | 4300 | 3390 | 5610 | 3980 | 7120 | 5000 | 9260 | 52920 | 74090 |
| | 16 GB | 2970 | 4370 | 3860 | 5740 | 4530 | 7480 | 5310 | 9500 | 6670 | 12350 | 70590 | 98830 |
| | 24 GB | 4320 | 6340 | 5600 | 8340 | 6580 | 10870 | 7710 | 13790 | 9690 | 17930 | 102500 | 143510 |
| | 32 GB | 5970 | 8770 | 7740 | 11520 | 9090 | 15010 | 10650 | 19060 | 13390 | 24780 | 141620 | 198260 |
| | 48 GB | 8470 | 12140 | 10710 | 15170 | 12560 | 19170 | 14570 | 24280 | 18210 | 30350 | 121420 | 182130 |
| | 64 GB | 11490 | 16470 | 14530 | 20590 | 17040 | 26010 | 19770 | 32950 | 24710 | 41190 | 164770 | 247150 |

| 画像横縱比 | | 16:9 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録画素数 | | 10.5M | | 7.5M (EZ) | | 5.5M (EZ) | | 3.5M (EZ) | | 2M (EZ) | | 0.2M (EZ) | |
| クオリティ | | | | | | | | | | | | | |
| 内蔵メモリー (約40 MB) | | 8 | 13 | 10 | 17 | 12 | 22 | 15 | 29 | 41 | 80 | 300 | 460 |
| カード | 512 MB | 100 | 150 | 125 | 195 | 140 | 250 | 165 | 310 | 450 | 860 | 3020 | 4310 |
| | 1 GB | 200 | 300 | 250 | 390 | 280 | 500 | 330 | 630 | 900 | 1720 | 6040 | 8630 |
| | 2 GB | 400 | 600 | 500 | 780 | 570 | 1000 | 680 | 1250 | 1800 | 3410 | 10240 | 15360 |
| | 4 GB | 800 | 1190 | 990 | 1540 | 1130 | 1970 | 1340 | 2460 | 3540 | 6700 | 20110 | 30170 |
| | 6 GB | 1220 | 1810 | 1510 | 2350 | 1730 | 3000 | 2030 | 3740 | 5390 | 10190 | 30580 | 45870 |
| | 8 GB | 1630 | 2430 | 2020 | 3140 | 2310 | 4020 | 2720 | 5010 | 7220 | 13640 | 40930 | 61400 |
| | 12 GB | 2460 | 3660 | 3060 | 4740 | 3490 | 6070 | 4110 | 7560 | 10890 | 20580 | 61740 | 92610 |
| | 16 GB | 3290 | 4890 | 4080 | 6330 | 4660 | 8100 | 5490 | 10080 | 14530 | 27450 | 82360 | 123540 |
| | 24 GB | 4780 | 7100 | 5920 | 9190 | 6760 | 11760 | 7970 | 14640 | 21100 | 39860 | 119590 | 179380 |
| | 32 GB | 6600 | 9810 | 8190 | 12700 | 9350 | 16250 | 11010 | 20230 | 29150 | 55070 | 165220 | 247830 |
| | 48 GB | 9100 | 13000 | 11030 | 16550 | 12560 | 20230 | 14570 | 24280 | 36420 | 60710 | 121420 | 182130 |
| | 64 GB | 12350 | 17650 | 14970 | 22460 | 17040 | 27460 | 19770 | 32950 | 49430 | 82380 | 164770 | 247150 |

| 画像横縱比 | | 1:1 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記録画素数 | | 10.5M | | 7.5M (EZ) | | 5.5M (EZ) | | 3.5M (EZ) | | 2.5M (EZ) | | 0.2M (EZ) | |
| クオリティ | | | | | | | | | | | | | |
| 内蔵メモリー (約40 MB) | | 9 | 14 | 12 | 19 | 14 | 26 | 17 | 34 | 36 | 72 | 300 | 460 |
| カード | 512 MB | 110 | 160 | 140 | 210 | 165 | 280 | 200 | 370 | 400 | 770 | 3020 | 4310 |
| | 1 GB | 220 | 320 | 280 | 430 | 330 | 570 | 400 | 740 | 800 | 1540 | 6040 | 8630 |
| | 2 GB | 450 | 660 | 570 | 860 | 660 | 1130 | 800 | 1460 | 1610 | 3070 | 10240 | 15360 |
| | 4 GB | 880 | 1290 | 1120 | 1690 | 1310 | 2230 | 1580 | 2870 | 3170 | 6030 | 20110 | 30170 |
| | 6 GB | 1340 | 1970 | 1710 | 2580 | 1990 | 3390 | 2410 | 4360 | 4820 | 9170 | 30580 | 45870 |
| | 8 GB | 1800 | 2640 | 2290 | 3450 | 2660 | 4540 | 3230 | 5840 | 6460 | 12280 | 40930 | 61400 |
| | 12 GB | 2720 | 3980 | 3460 | 5210 | 4020 | 6860 | 4870 | 8820 | 9740 | 18520 | 61740 | 92610 |
| | 16 GB | 3630 | 5310 | 4610 | 6950 | 5370 | 9150 | 6500 | 11760 | 13000 | 24700 | 82360 | 123540 |
| | 24 GB | 5270 | 7710 | 6700 | 10100 | 7790 | 13280 | 9440 | 17080 | 18880 | 35870 | 119590 | 179380 |
| | 32 GB | 7280 | 10650 | 9260 | 13960 | 10770 | 18350 | 13040 | 23600 | 26080 | 49560 | 165220 | 247830 |
| | 48 GB | 10110 | 14000 | 12560 | 18210 | 14570 | 22760 | 17340 | 28020 | 33110 | 60710 | 121420 | 182130 |
| | 64 GB | 13730 | 19010 | 17040 | 24710 | 19770 | 30890 | 23530 | 38020 | 44930 | 82380 | 164770 | 247150 |

# 記録可能枚数・記録可能時間（つづき）

## ■ 記録可能時間（動画撮影時）

| ファイル形式 | | AVCHD(1080i) | | AVCHD(720p) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 画質設定 | | FSH | FH | SH | H |
| 内蔵メモリー（約40 MB） | | 使用できません | | | |
| カード | 512 MB | 2 分 00 秒 | 3 分 00 秒 | 2 分 00 秒 | 3 分 00 秒 |
| | 1 GB | 6 分 00 秒 | 8 分 00 秒 | 6 分 00 秒 | 8 分 00 秒 |
| | 2 GB | 14 分 00 秒 | 18 分 00 秒 | 14 分 00 秒 | 18 分 00 秒 |
| | 4 GB | 29 分 00 秒 | 38 分 00 秒 | 29 分 00 秒 | 38 分 00 秒 |
| | 6 GB | 45 分 00 分 | 59 分 00 秒 | 45 分 00 分 | 59 分 00 秒 |
| | 8 GB | 1 時間 1 分 | 1 時間 20 分 | 1 時間 1 分 | 1 時間 20 分 |
| | 12 GB | 1 時間 33 分 | 2 時間 2 分 | 1 時間 33 分 | 2 時間 2 分 |
| | 16 GB | 2 時間 5 分 | 2 時間 44 分 | 2 時間 5 分 | 2 時間 44 分 |
| | 24 GB | 3 時間 3 分 | 3 時間 59 分 | 3 時間 3 分 | 3 時間 59 分 |
| | 32 GB | 4 時間 13 分 | 5 時間 31 分 | 4 時間 13 分 | 5 時間 31 分 |
| | 48 GB | 6 時間 12 分 | 8 時間 7 分 | 6 時間 12 分 | 8 時間 7 分 |
| | 64 GB | 8 時間 26 分 | 11 時間 1 分 | 8 時間 26 分 | 11 時間 1 分 |

| ファイル形式 | | MOTION JPEG | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 画質設定 | | HD | WVGA | VGA | QVGA |
| 内蔵メモリー（約40 MB） | | ― | ― | ― | 1 分 18 秒 |
| カード | 512 MB | 1 分 30 秒 | 3 分 50 秒 | 4 分 00 秒 | 11 分 10 秒 |
| | 1 GB | 3 分 30 秒 | 9 分 00 秒 | 9 分 20 秒 | 26 分 00 秒 |
| | 2 GB | 7 分 50 秒 | 19 分 30 秒 | 20 分 20 秒 | 56 分 40 秒 |
| | 4 GB | 15 分 50 秒 | 39 分 50 秒 | 41 分 20 秒 | 1 時間 54 分 |
| | 6 GB | 24 分 30 秒 | 1 時間 1 分 | 1 時間 3 分 | 2 時間 56 分 |
| | 8 GB | 33 分 00 秒 | 1 時間 22 分 | 1 時間 25 分 | 3 時間 57 分 |
| | 12 GB | 50 分 00 秒 | 2 時間 5 分 | 2 時間 10 分 | 6 時間 00 分 |
| | 16 GB | 1 時間 6 分 | 2 時間 47 分 | 2 時間 54 分 | 8 時間 2 分 |
| | 24 GB | 1 時間 37 分 | 4 時間 3 分 | 4 時間 13 分 | 11 時間 41 分 |
| | 32 GB | 2 時間 14 分 | 5 時間 37 分 | 5 時間 50 分 | 16 時間 10 分 |
| | 48 GB | 3 時間 18 分 | 8 時間 15 分 | 8 時間 35 分 | 23 時間 47 分 |
| | 64 GB | 4 時間 29 分 | 11 時間 13 分 | 11 時間 40 分 | 32 時間 19 分 |

- [AVCHD]で動画を連続で撮影できるのは、最大13時間3分20秒までです。画面には13時間3分20秒までしか表示されません。ただし、バッテリー残量によっては、撮影が途中で終了する場合があります。(P16)
- [MOTION JPEG]で動画を連続で撮影できるのは、最大2 GBまでです。画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

### お知らせ

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数･時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- ズームマクロ設定時またはシーンモードの[変身]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。

# 仕様

| | |
|---|---|
| 電源 | DC 5.1 V |
| 消費電力 | 1.4 W(撮影時)<br>1.0 W(再生時) |

| | |
|---|---|
| カメラ有効画素数 | 1410万画素 |
| 撮像素子 | 1/2.33型 MOSセンサー　総画素数1510万画素、原色カラーフィルター |
| レンズ | 光学5倍ズーム　f=4.3 mm～21.5 mm(35 mmフィルムカメラ換算:24 mm～120 mm)/F2.2(W端時)～F5.9(T端時) |
| デジタルズーム | 最大4倍 |
| EX光学ズーム | 最大10.5倍(300万画素 [3M]以下時) |
| フォーカス | 通常/AFマクロ/ズームマクロ<br>顔認識/追尾AF/11点/1点(H)/1点(タッチフォーカスエリア選択可能)/スポット |
| 撮影範囲 | 通常:50 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞<br>マクロ/インテリジェントオート:<br>3 cm(W端時)/1 m(T端時)～∞<br>シーンモード:上記撮影範囲と異なる場合あり |
| シャッターシステム | 電子シャッター連動メカニカルシャッター |
| 連写撮影 | 連写速度(連写枚数/最大記録画素数) |
| 　メカシャッター時 | 2コマ/秒(最大 100 枚/14M)、5コマ/秒(最大 100 枚 /14M)、10コマ/秒(最大 15 枚/14M) |
| 　電子シャッター時 | 40コマ/秒(最大 50 枚/5M)<br>60コマ/秒(最大 60 枚/3.5M) |
| 　動画撮影中 | 2コマ/秒(最大 40 枚/3.5M)、5コマ/秒(最大 40 枚/3.5M)<br>10コマ/秒(最大 40 枚/3.5M) |
| ISO感度<br>(標準出力感度) | オート/ インテリジェントISO/100/200/400/800/1600<br>シーンモードの[高感度]:1600～6400 |
| 最低照度 | 約 6 lx(iローライト時) |
| シャッタースピード<br>　写真 | 60秒～1/2000秒<br>シーンモードの[星空]:15秒、30秒、60秒 |
| ホワイトバランス | オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード/色温度設定 |
| 露出 | プログラムAE (P)、絞り優先AE (A)、シャッター優先AE (S)、マニュアル露出 (M)<br>露出補正 (1/3 EVステップ、−2 EV～+2 EV) |
| 測光方式 | マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光 |
| 液晶モニター | 3.0型TFT液晶(3:2)(約23万ドット)(視野率約100%)　タッチパネル |
| フラッシュ | 撮影可能範囲:約60 cm～約 7.4 m(W端、[ISO AUTO]設定時) |
| | オート/赤目軽減オート/強制発光(赤目軽減強制発光)/<br>赤目軽減スローシンクロ/発光禁止 |
| マイク | ステレオ |
| スピーカー | モノラル |

# 仕様（つづき）

| 記録メディア | 内蔵メモリー(約40 MB)/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード /SDXCメモリーカード |
|---|---|
| **記録画素数**<br>**写真** | 画像横縦比[4:3]設定時<br>4320×3240画素/3648×2736画素/3072×2304画素/2560×1920画素/2048×1536画素/640×480画素<br>画像横縦比[3:2]設定時<br>4320×2880 画素/3648×2432画素/3072×2048画素/2560×1712画素/2048×1360画素 /640×424画素<br>画像横縦比[16:9]設定時<br>4320×2432画素/3648×2056画素/3072×1728画素 /2560×1440画素/1920×1080画素 /640×360画素<br>画像横縦比[1:1]設定時<br>3232×3232画素/2736×2736 画素/2304×2304画素/1920×1920画素/1536×1536 画素 /480×480画素 |
| **動画** | AVCHD（音声付き）<br>[FSH] 設定時 1920×1080画素<br>（60i 記録※ / 約17 Mbps、カード使用時のみ）<br>[FH] 設定時 1920×1080画素<br>（60i 記録※ / 約13 Mbps、カード使用時のみ）<br>※イメージセンサーからの出力は 30コマ/秒です<br>[SH] 設定時 1280×720画素<br>（60p 記録 / 約17 Mbps、カード使用時のみ）<br>[H] 設定時 1280×720画素<br>（60p 記録 / 約13 Mbps、カード使用時のみ）<br>MOTION JPEG（音声付き）<br>[HD] 設定時 1280×720画素（30コマ/秒、カード使用時のみ）<br>[WVGA] 設定時 848×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ）<br>[VGA] 設定時 640×480画素（30コマ/秒、カード使用時のみ）<br>[QVGA] 設定時 320×240画素（30コマ/秒） |

| クオリティ(圧縮率) | ファイン/スタンダード |
|---|---|
| 記録画像ファイル形式<br>写真<br>音声付き写真<br>音声付き動画 | <br>JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠)/DPOF対応<br>JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠)+QuickTime<br>AVCHD/QuickTime Motion JPEG |
| インターフェース<br>デジタル<br>アナログビデオ<br>オーディオ | <br>USB 2.0(High Speed)<br>NTSCコンポジット<br>オーディオライン出力(モノラル) |
| 端子<br>AV OUT/DIGITAL<br>HDMI | <br>専用ジャック(8 pin)<br>miniHDMI C タイプ |
| 寸法 | 約 幅103.5 mm×高さ55.8 mm×奥行き24.5 mm(突起部除く) |
| 質量 | 約176 g(カード、バッテリー含む)<br>約155 g(本体) |
| 推奨使用温度 | 0 ℃～40 ℃ |
| 許容相対湿度 | 10%RH～80%RH |
| 言語切換 | なし(日本語のみ) |

専用バッテリーチャージャー: DE-A59A

| | |
|---|---|
| 定格入力 | AC100 V－240 V 50/60 Hz |
| 入力容量 | 15 VA |
| 定格出力 | DC 4.2 V 0.65 A |

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCF10

| | |
|---|---|
| 電圧/容量 | 3.6 V/940 mAh |

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは・・・

## ■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　（　　　）　　ー

お買い上げ日　　　　年　　月　　日

**修理を依頼されるときは・・・**

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（145～154ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|---|---|
| ●製品名 | デジタルカメラ |
| ●品　番 | DMC-FX700 |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

| | |
|---|---|
| 技術料 | 診断・修理・調整・点検などの費用 |
| 部品代 | 部品および補助材料代 |
| 出張料 | 技術者を派遣する費用 |

※**補修用性能部品の保有期間** 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

## ■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX(ルミックス)相談窓口 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
**Tokyo** (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**
パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

| 地区 | 窓口 | 電話番号 | 住所 |
|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 札 幌 | ☎(011)894-1251 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| | 旭 川 | ☎(0166)22-3011 | 旭川市2条通16丁目1166 |
| | 帯 広 | ☎(0155)33-8477 | 帯広市西20条北2丁目23-3 |
| | 函 館 | ☎(0138)48-6631 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） |
| 東北地区 | 青 森 | ☎(017)775-0326 | 青森市大字浜田字豊田364 |
| | 秋 田 | ☎(018)868-7008 | 秋田市外旭川字小谷地3-1 |
| | 岩 手 | ☎(019)645-6130 | 盛岡市厨川5丁目1-43 |
| | 宮 城 | ☎(022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山 形 | ☎(023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| | 福 島 | ☎(024)991-9308 | 郡山市亀田1丁目51-15 |
| 首都圏地区 | 栃 木 | ☎(028)689-2555 | 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 |
| | 群 馬 | ☎(027)254-2075 | 前橋市箱田町325-1 |
| | 茨 城 | ☎(029)864-8756 | つくば市筑穂3丁目15-3 |
| | 埼 玉 | ☎(048)728-8960 | 桶川市赤堀2丁目4-2 |
| | 千 葉 | ☎(043)208-6034 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 |
| | 東 京 | ☎(03)5477-9700 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 |
| | 山 梨 | ☎(055)222-5822 | 甲府市宝1丁目4-13 |
| | 神奈川 | ☎(045)847-9720 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 |
| | 新 潟 | ☎(025)286-0180 | 新潟市東区東明1丁目8-14 |
| 中部地区 | 石 川 | ☎(076)280-6608 | 金沢市玉鉾2丁目266番地 |
| | 富 山 | ☎(076)424-2549 | 富山市根塚町1丁目1-4 |
| | 福 井 | ☎(0776)21-0622 | 福井市問屋町2丁目14 |
| | 長 野 | ☎(0263)86-9209 | 松本市寿北7丁目3-11 |
| | 静 岡 | ☎(054)287-9000 | 静岡市駿河区高松2丁目24-24 |
| | 愛 知 | ☎(052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| | 岐 阜 | ☎(058)278-6720 | 岐阜市中鶉4丁目42 |
| | 高 山 | ☎(0577)33-0613 | 高山市花岡町3丁目82 |
| | 三 重 | ☎(059)254-5520 | 津市久居野村町字山神421 |
| 近畿地区 | 滋 賀 | ☎(077)582-5021 | 守山市水保町1166番地の1 |
| | 京 都 | ☎(075)646-2123 | 京都市南区上鳥羽中河原3番地 |
| | 大 阪 | ☎(06)7730-8888 | 大阪市城東区関目2丁目15-5 |
| | 奈 良 | ☎(0743)59-2770 | 大和郡山市筒井町800番地 |
| | 和歌山 | ☎(073)475-2984 | 和歌山市中島499-1 |
| | 兵 庫 | ☎(078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |

| 地区 | 拠点 | 電話番号 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| 中国地区 | 鳥 取 | ☎(0857)26-9695 | 鳥取市安長295-1 |
| | 米 子 | ☎(0859)34-2129 | 米子市米原4丁目2-33 |
| | 松 江 | ☎(0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| | 出 雲 | ☎(0853)21-3133 | 出雲市渡橋町416 |
| | 浜 田 | ☎(0855)22-6629 | 浜田市下府町327-93 |
| | 岡 山 | ☎(086)242-6236 | 岡山市北区田中138-110 |
| | 広 島 | ☎(082)295-5011 | 広島市西区南観音1丁目13-5 |
| | 山 口 | ☎(083)973-2720 | 山口市小郡下郷220-1 |
| 四国地区 | 香 川 | ☎(087)868-6388 | 高松市勅使町152-2 |
| | 徳 島 | ☎(088)624-0253 | 徳島市沖浜2丁目36 |
| | 高 知 | ☎(088)834-3142 | 高知市仲田町2-16 |
| | 愛 媛 | ☎(089)905-7544 | 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 |
| 九州地区 | 福 岡 | ☎(092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| | 佐 賀 | ☎(0952)26-9151 | 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 |
| | 長 崎 | ☎(095)830-1658 | 長崎市東町1919-1 |
| | 大 分 | ☎(097)556-3815 | 大分市萩原4丁目8-35 |
| | 宮 崎 | ☎(0985)63-1213 | 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 |
| | 熊 本 | ☎(096)367-6067 | 熊本市健軍本町12-3 |
| | 天 草 | ☎(0969)22-3125 | 天草市港町18-11 |
| | 鹿児島 | ☎(099)250-5657 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 |
| | 大 島 | ☎(0997)53-5101 | 奄美市名瀬朝仁町11-2 |
| 沖縄地区 | 沖 縄 | ☎(098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0510

# さくいん

## 会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/　携帯 

※このサービスはWEB限定のサービスです。

## お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！

| | |
|---|---|
| ■ 撮りかたのコツや新製品情報 | http://panasonic.jp/ |
| ■ サポート情報 | http://panasonic.jp/support/ |
| ■ 便利なLUMIX修理サービス | http://lumix.jp/repair/ |

"AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

## 愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

| こんな症状はありませんか | ・煙が出たり、異常なにおいや音がする<br>・映像や音声が乱れたり出ないことがある<br>・内部に水や異物が入った<br>・本体やチャージャーが破損した<br>・その他の異常や故障がある |
|---|---|

| ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町１番15号



H0710WT2100